

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(行政施設:庁舎)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
東勝楽丁庁舎	角館町東勝楽丁	除却	除却(R3 予定)
角館庁舎	角館町中菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
角館庁舎車庫棟	角館町中菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
角館中町庁舎	角館町中町	譲渡	譲渡
田沢湖庁舎	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖庁舎南側車庫	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖庁舎東側車庫	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖第2庁舎事務所	田沢湖生保内	除却	除却処分
田沢湖第2庁舎倉庫	田沢湖生保内	廃止	除却処分
田沢湖第2庁舎車庫・運転手控	田沢湖生保内	廃止検討	10年後解体処分を検討
神代出張所	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
西木庁舎	西木町上荒井	存続	機能維持のための修繕等実施
西木第2庁舎	西木町神荒井	存続	機能維持し、貸与
西木庁舎車庫	西木町上荒井	存続	機能維持のための修繕等実施
西木庁舎倉庫	西木町上荒井	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

新角館庁舎以外の田沢湖庁舎・西木庁舎は、大規模改修を令和2年度で終了することから、良質な行政サービスの維持と、来庁者の安全の確保を図るため、引き続き適正な維持管理を実施します。

田沢湖第2庁舎については、老朽化が著しいため、入居団体との調整を進め早い段階での解体を目指し、西木第2庁舎については、農業団体等へ貸与を実施します。

また、倉庫や車庫等については、利用頻度が高い施設は維持補修により存続を図り、利用頻度が低く老朽化が著しい施設は除却の方向で進めます。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	東勝楽丁庁舎	延床面積	2,590 ㎡
所在地	角館町東勝楽丁 1 9	建設年（耐用年数）	昭和 36 年（50 年）
複合施設名		経過年数	59 年
特記事項	※耐震化未実施	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	令和 3 年度取り壊しを予定

「基本的な方針の考え方」  
 令和 2 年度末に行政財産から普通財産に移行、所管課も角館市民センターから管財課となり、現在、管財課で令和 3 年度取り壊しに向け、作業を進めている。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	実施設計	5,084	
R 3	除却予定	107,300	工事費、監理業務
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		112,384	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	364	375	379	
運用コスト	9,937	9,776	9,393	
修繕コスト	916	262	152	
その他				
(合計)	11,217	10,413	9,924	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市役所角館庁舎	延床面積	4,071.65 m <sup>2</sup>
所在地	角館町中菅沢 81 番地 8	建設年（耐用年数）	令和 2 年 2020（60 年）
複合施設名		経過年数	0.25 年
特記事項	※地中熱利用設備	構造・階数	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上 2 階+PH

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	市の中核施設として運用
「基本的な方針の考え方」 適切な維持管理に努め、長期に渡り良好な状態を維持する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年以上】

適切な維持管理に努め、平均的な耐用年数以上の使用を目指す。
-------------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22	地中熱設備更新	96,000	
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		96,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	※8,972 千円／年
運用コスト	—	—	—	※20,331 千円／年
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市役所角館庁舎車庫棟	延床面積	852.43 m <sup>2</sup>
所在地	角館町中菅沢 81 番地 8	建設年（耐用年数）	令和 2 年 2020（60 年）
複合施設名		経過年数	0.25 年
特記事項	※消防分団小屋を併設	構造・階数	鉄骨造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	角館庁舎と一体管理
「基本的な方針の考え方」 適切な維持管理に努め、長期に渡り良好な状態を維持する。 なお、維持管理費については本体庁舎に含む。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年以上】

適切な維持管理に努め、平均的な耐用年数以上の使用を目指す。
-------------------------------

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	※本体庁舎に含む
運用コスト	—	—	—	※622 千円/年
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館中町庁舎	延床面積	265 ㎡
所在地	角館町中町 36	建設年（耐用年数）	昭和 46 年（50 年）
複合施設名		経過年数	49 年
特記事項	※耐震化未実施	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	譲渡（R3 予定）

「基本的な方針の考え方」

新角館庁舎が開設に伴い、中町庁舎の観光課、商工課、交流デザイン課が新角館庁舎に移転し、以降、中町庁舎の執務としての利用計画がないほか、建物の老朽化が著しいため、管財課に所管替えを予定している。なお、建物を含む譲渡について併せて検討する。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

除却等の実施まで、適切な維持管理を行う。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	271	271	273	
運用コスト	1,871	2,744	1,651	
修繕コスト		133		
その他				
(合計)	2,142	3,148	1,924	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖庁舎	延床面積	2,897 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 30	建設年（耐用年数）	昭和 47 年 1972（50 年）
複合施設名		経過年数	48 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化未実施	構造・階数	鉄筋コンクリート 3 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	耐震性能は強化されたが、バリアフリー化されていない
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討

「基本的な方針の考え方」  
 市の本庁舎として行政事務の中核施設となっている。  
 新角館庁舎及び西木庁舎と分庁舎方式を継続する方針となっている。この方針に基づき機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

今後 2 年で耐用年数を迎えることになるが、令和 2 年度に耐震補強及び屋根・外壁改修を行っている。機能維持の修繕を実施しながら 60 年（今後 12 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

4 管理上の課題等

・ボイラー式の暖房設備が老朽化し、本体、蒸気配管の改修が必要となっているが、天井、床下配管のため同改修は大規模、高額となる。FF 式暖房、外部灯油配管方式での更新を検討する。  
 ・一部会議室以外に冷房設備がなく、執務室へのエアコン等の設置を検討する。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、暖房設備更新、冷房設備設置（検討）、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	耐震化補強、屋根・外壁修繕	※174,350	工事、設計工事監理 済予定
R 3			
R 4	FF式暖房設備設置	50,000	実施設計、工事、設計工事監理
R 5	冷房設備設置	50,000	実施設計、工事、設計工事監理
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			※60年目
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		274,350	※R2 分除く

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,090	1,095	1,156	
運用コスト	12,342	12,900	12,863	
修繕コスト	596	506	977	コンセント、暖房配管
その他	4,126	950		受電設備、側溝工事
(合計)	18,154	15,451	14,996	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	170	178	183	自販機等設置

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖庁舎南側車庫棟	延床面積	539 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 36・34	建設年（耐用年数）	平成 6 年 1994（31 年）
複合施設名		経過年数	27 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	維持補修を行い機能の維持を図る。
<p>「基本的な方針の考え方」                  屋根部分の老朽化による応急補修を行ってきたが、大規模な改修工事が必要になっているが、最低限の補修を行い、当面の機能維持を図る。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

最低限の維持補修で機能の維持を確保するが、屋根部分の改修工事を行い今後 20 年間は維持したい。
--

4 管理上の課題等

屋根部分の防水補修が必要になっている。
---------------------

5 管理に関する実施方針

田沢湖庁舎における公用車等の保管庫として、他に代替施設がないため、維持補修を重ね長く存続させる。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	495	493	488	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	495	493	488	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖庁舎東側車庫棟	延床面積	256 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 46-2	建設年（耐用年数）	昭和 52 年 1977（31 年）
複合施設名		経過年数	44 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	最低限の維持補修で当分の間存続する。
<p>「基本的な方針の考え方」 老朽化しているが、除雪車等の入庫があり、新規の整備も難しいため、当面の間、維持補修を行い存続する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 54 年】

<p>入庫利用台数等の実績を踏まえ、今後の対応を検討する。最低でも 10 年間は維持したい。</p>
--

4 管理上の課題等

<p>多額の維持費も必要がなく、施設の安全性の確保のみに留意する必要がある。</p>
--

5 管理に関する実施方針

<p>老朽化は見られるが、除雪車等の保管施設として問題がないため、適切な維持管理を行う。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖第2庁舎 事務所	延床面積	1,382 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 39	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1987（38 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項		構造・階数	鉄骨構造、コンクリートブロック造、木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	老朽化が著しく、安全性からも維持管理が厳しい
基本的な方針	廃止	除却に向けた検討する。
「基本的な方針の考え方」 現在、利用している団体等の協議を進め、早い段階での解体を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

解体までの期限を 3 年を目標として調整する。
-------------------------

4 管理上の課題等

老朽化し、使用年数を延長するためには大規模な改修が必要である。
---------------------------------

5 管理に関する実施方針

入居団体等のある期間は、安全確保に努め、適切な維持管理に努める。
----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	808	823	832	
運用コスト	2,551	2,455	2,386	
修繕コスト	866	720	0	
その他	0	0	0	
(合計)	4,225	3,998	3,218	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	1,607	1,354	1,392	貸付け、光熱水費

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 11 月 6 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖第 2 庁舎 倉庫	延床面積	175 ㎡
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 39	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1987（38 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除却に向けた検討を行う
<p>「基本的な方針の考え方」                  基本的に第 2 庁舎の解体と合わせ解体を検討するが、田沢湖地区（庁舎に近い）に倉庫機能が不足する場合は改修し使用することも並行して検討を行う。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

特に補修を要する状況にまで至っていないが、倉庫内に保管している物品等を整理し、使用の可能性と解体を合わせて検討する。
--

4 管理上の課題等

老朽化のほかは特に課題等はない。
------------------

5 管理に関する実施方針

適切な管理に努める。
------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 11 月 6 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖第2庁舎 車庫・運転手控	延床面積	232 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 39	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1987（38 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項		構造・階数	鉄骨構造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止検討	当面は修繕により機能を維持。10 年後は除却を検討。
「基本的な方針の考え方」 使用に耐えうる期間はできるだけ公用車車庫及び倉庫としての機能を維持する。 ※なお、第 2 庁舎除却後の土地利用計画（譲渡含む）で存廃を含む検討を要する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 52 年】

耐用年数は過ぎているが、車庫及び倉庫として使用が可能であるため、修繕により今後 10 年間は機能を維持したい。その後は除却に向けた検討を進める。
--

## 4 管理上の課題等

老朽化は認められるが、継続した使用は可能であり、使用継続のための課題はない。
--

## 5 管理に関する実施方針

今後 10 年を目標に適切な管理に努める。
-----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 30 日

所管課（部署）	神代出張所
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	神代出張所	延床面積	598.58 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖神代字野中清水 292-1	建設年（耐用年数）	平成 7 年 1995（50 年）
複合施設名	田沢湖福祉医療センター	経過年数	25 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施する。
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>神代地区の住民が等しく快適な生活が営める環境をコンセプトに、適切な生活圏域を設定し神代地区の中央部に建設されている。高齢者の生きがい活動の場、地域行政の窓口、健康で心豊かな長寿社会と地域にねざした福祉の構築という考え方で存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

角館庁舎・西木庁舎に近い環境にあるため、今後の利用者数等の推移検証とともに、機能移転の可能性と仙北市社会福祉協議会への譲渡の可能性について検討する。
--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

建設されてから耐用年数の半分が経過したことになるが、経年劣化から各種色々な所で不具合が生じてきている状況である。機能維持のみの修繕とし目標を達成する。
---

4 管理上の課題等

特に空調関係でボイラーとエアコン関係の更新になると思われるが、指定管理で行われているデイサービス事業は土日、正月を除き毎日給湯ボイラーを使用している状況である。故障時部品等交換で今に至っているが、新しいものへの交換が急務と思われる。指定管理している団体と検討、協議する必要がある。
--

5 管理に関する実施方針

必要最低限の修繕等を実施し存続させるようにする。
--------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5	給湯用温水ボイラー更新	4,895	更新工事
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		4, 895	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,312	2,328	2,366	
運用コスト	6,115	5,879	5,839	
修繕コスト	1,734	523	442	
その他				
(合計)	10,161	8,730	8,647	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	916	890	834	手数料のみ

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	西木市民センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	西木庁舎	延床面積	1,561.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上荒井字古堀田 47	建設年（耐用年数）	昭和 50 年（50 年）
複合施設名		経過年数	45 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	必要に応じた修繕により機能維持を図る
「基本的な方針の考え方」 屋内間仕切り、水道配管更新、トイレ排水改修及び洋式化、屋上防水等の改修工事を実施し、機能維持を図る。		

## ※ 集約・複合化の検討について

新角館庁舎竣工による組織編成により、教育委員会組織が西木庁舎に配置される。

## ※ 公民連携の検討について

改修後の西木地域センター 1 階の一部を田沢湖・角館観光協会西木支部及び社会福祉法人はなさき仙北にそれぞれ事務所スペースとして貸し付けする。

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

今後は耐用年数等を考慮しながら、ハード機能維持に係る修繕及びソフト機能の改善を図りながら今後 10 以上の使用を検討する。

## 4 管理上の課題等

大規模改修中であり、管理上の課題等はない。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数以上の使用を目標に適切な管理を行う。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1, 808	2, 644	4, 334	
運用コスト	4, 392	4, 274	4, 163	
修繕コスト	745	14, 961	630	
その他				
(合計)	6, 945	21, 880	9, 128	西木庁舎・第2庁舎・開発センターを面積按分

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	西木市民センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	西木庁舎第 2 庁舎	延床面積	528.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上荒井字古堀田 47	建設年（耐用年数）	昭和 50 年（38 年）
複合施設名		経過年数	45 年
特記事項		構造・階数	鉄骨平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	機能維持（貸与）
「基本的な方針の考え方」 西木庁舎改修事業で屋根塗装を実施。令和 3 年度からは西木土地改良区事務所並びに仙北東森林組合西木支所事務所として貸し付けする。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

当該施設は、令和 3 年度より仙北市西木土地改良区及び仙北東森林組合西木支所の事務所スペースとして貸し付けする。
--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

耐用年数を考慮しながら、ハード機能維持等の修繕を図りながら今後 10 以上の使用を検討する。
--

## 4 管理上の課題等

現時点での課題等は見当たらない。
------------------

## 5 管理に関する実施方針

適切な維持管理に努め、目標使用年数以上の使用を目標に管理を行う。
----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	612	895	1,466	
運用コスト	1,486	1,446	1,409	
修繕コスト	252	5,062	213	
その他				
(合計)	2,350	7,402	3,088	面積按分数値

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	西木市民センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	西木庁舎車庫	延床面積	559.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上荒井字古堀田 47	建設年（耐用年数）	平成 4 年（31 年）
複合施設名		経過年数	28 年
特記事項		構造・階数	鉄骨平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 必要に応じた修繕等により、公用車車庫としての機能を維持する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

現状はハード面、ソフト面とも比較的良好な施設であるため必要に応じた修繕を行いながら今後 10 年以上の使用を検討する。

## 4 管理上の課題等

特に課題はない。

## 5 管理に関する実施方針

適切な維持管理に努める。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	西木市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木庁舎倉庫	延床面積	60.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上荒井字古堀田 47	建設年（耐用年数）	平成 4 年（31 年）
複合施設名		経過年数	28 年
特記事項		構造・階数	鉄骨平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討緒を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持を図る
「基本的な方針の考え方」 令和 3 年度より教育委員会書庫として活用する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設であるため修繕を図りながら今後 10 以上の使用を検討する。
--

4 管理上の課題等

特に課題となるものはない。
---------------

5 管理に関する実施方針

適切な管理に努め、最低でも使用目標年を目指す。
-------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画

「個別施設計画」(行政施設:消防施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
鎧畑消防ポンプ置場	田沢湖田沢	廃止	除却又は地域への譲渡検討
打野消防ポンプ置場	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢出張所前車庫	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
先達消防ポンプ置場	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
下高野消防ポンプ置場	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
高原消防ポンプ置場	田沢湖生保内	廃止	除却又は地域への譲渡検討
春山消防ポンプ置場	田沢湖田沢	廃止	施設現存のまま田沢財産区へ返納
石神消防ポンプ置場	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
造道消防ポンプ置場	田沢湖生保内	廃止	除却又は地域への譲渡検討
大沢消防ポンプ置場	田沢湖潟	存続	機能維持のための修繕等実施
田子ノ木消防ポンプ置場	田沢湖潟	廃止	除却又は地域への譲渡検討
中生保内下消防ポンプ置場	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
武蔵野消防ポンプ置場	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
武蔵野消防積載車庫	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
上滝沢消防ポンプ置場	田沢湖生保内	廃止検討	地域への譲渡検討
中生保内上消防積載車庫	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
駅前消防積載車庫	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
手倉野消防ポンプ置場	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
田向消防積載車庫	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
上堂田消防ポンプ置場	田沢湖生保内	廃止	除却に向けた検討
刺巻消防ポンプ置場	田沢湖刺巻	廃止	除却又は地域への譲渡検討
大道消防ポンプ置場	田沢湖刺巻	存続	機能維持のための修繕等実施
宮ノ前消防ポンプ置場	田沢湖生保内	廃止	除却又は地域への譲渡検討
大杉沢消防ポンプ置場	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
梅沢消防ポンプ置場	田沢湖梅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
神代消防積載車庫	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
小松消防ポンプ置場	田沢湖小松	存続(移転検討)	機能維持のための修繕等実

岡崎消防積載車庫	田沢湖岡崎	存続	機能維持のための修繕等実施
東前郷消防積載車庫	田沢湖角館東前郷	存続	機能維持のための修繕等実施
生田消防ポンプ置場	田沢湖神代	廃止	土地所有者へ譲渡検討
真崎消防ポンプ置場	田沢湖卒田	廃止	地域等への譲渡検討
荒町消防積載車庫	田沢湖卒田	存続	機能維持のための修繕等実施
六本杉消防積載車庫	西木町門屋	存続	機能維持のための修繕等実施
栃ノ木消防積載車庫	西木町西明寺	存続	機能維持のための修繕等実施
堀之内消防積載車庫	西木町小山田	存続	機能維持のための修繕等実施
八津消防ポンプ置場	西木町小山田	廃止	除却又は地域等への譲渡検討
小渕野消防積載車庫	西木町小渕野	存続	機能維持のための修繕等実施
山口消防積載車庫	西木町桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
菅谷消防ポンプ置場	西木町桧木内	廃止	除却又は地域等への譲渡検討
松葉消防積載車庫	西木町桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
上桧木内消防積載車庫	西木町上桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
戸沢消防ポンプ置場	西木町上桧木内	廃止	除却又は地域等への譲渡検討
小館消防ポンプ置場	角館町小館	存続	機能転用含む検討
小人町消防積載車庫	角館町小人町	存続	機能維持のための修繕等実施
山根町消防ポンプ置場	角館町山根町	廃止	除却検討
西勝楽町消防積載車庫	角館町西勝楽町	存続	機能維持のための修繕等実施
中菅沢消防ポンプ置場	角館町中菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
下川原消防積載車庫	角館町下川原	存続	機能維持のための修繕等実施
岩瀬本丁消防ポンプ置場	角館町岩瀬	存続	機能維持のための修繕等実施
西下夕野消防ポンプ置場	角館町岩瀬	廃止	除却又は地域等への譲渡検討
広久内消防積載車庫	角館町広久内	存続	機能維持のための修繕等実施
上中川原消防ポンプ置場	角館町広久内	譲渡	譲渡済み
下中川原消防ポンプ置場	角館町広久内	存続	機能維持のための修繕等実施
下夕町消防ポンプ置場	角館町広久内	廃止	焼失
堂ノ口消防ポンプ置場	角館町白岩	廃止	除却又は土地所有者へ譲渡検討
銭神消防ポンプ置場	角館町菌田	存続	機能維持のための修繕等実施
下花園消防ポンプ置場	角館町菌田	廃止	除却又は地域への譲渡検討
白岩前郷消防積載車庫	角館町白岩	存続	機能維持のための修繕等実施
碓消防ポンプ置場	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
町屋消防積載車庫	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
坂ノ下消防ポンプ置場	角館町八割	存続	機能維持のための修繕等実施

奥村消防ポンプ置場	角館町八割	廃止	除却
下延竹市消防ポンプ置場	角館町下延	廃止	除却又は地域への譲渡検討
下延消防積載車庫	角館町下延	存続	機能維持のための修繕等実施
桂渕消防ポンプ置場	角館町西長野	存続	機能維持のための修繕等実施
中泊消防積載車庫	角館町西長野	存続	機能維持のための修繕等実施
熊堂消防ポンプ置場	角館町西長野	廃止	譲渡済み
中川消防ポンプ置場	角館町川原	存続	機能維持のための修繕等実施
中村消防ポンプ置場	角館町小勝田	廃止	除却又は地域への譲渡検討
高屋消防積載車庫	角館町山谷川崎	存続	機能維持のための修繕等実施
川原若神子消防積載車庫	角館町川原	存続	機能維持のための修繕等実施
安久戸消防ポンプ置場	角館町川原	廃止	除却
雫田消防ポンプ置場	角館町山谷川崎	廃止	譲渡済み
黒森消防ポンプ置場	角館町山谷川崎	廃止	除却
黒沢消防ポンプ置場	角館町山谷川崎	存続	機能維持のための修繕等実施

### 3. 施設管理に関する基本的な方針

各分団に配置する消防施設については、適正配置と維持を基本としていますが、消防団員の減少傾向が著しい現状を踏まえ、各分団の負担を軽減するため、実情に即した廃止又は廃止の検討を進めます。

なお、地域で防災拠点等としての施設の活用を求めるような場合は、無償譲渡に向けた調整を行い、それ以外の場合は、基本的に解体するものとします。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 1 分団鎧畑消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	田沢字鎧畑 64-1	建設年（耐用年数）	平成 9 年（22 年）
複合施設名		経過年数	23 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	施設良好。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理費の減。
「基本的な方針の考え方」 ・消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

道路改良により、水力発電施設周辺地域交付金事業を活用し再設置している。 私有地に立地しているポンプ庫で、所有者が譲渡を望んだ場合又は地域で防災拠点としての活用希望がある場合は無償譲渡とし、それ以外は除却するものとする。
--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 1 分団打野消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	田沢字打野 7	建設年（耐用年数）	昭和 58 年（22 年）
複合施設名		経過年数	37 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設の奥行きが不足、団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 1 分団田沢出張所前車庫	延床面積	23 m <sup>2</sup>
所在地	田沢字大山 7	建設年（耐用年数）	平成 17 年（22 年）
複合施設名	田沢出張所車庫	経過年数	16 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	田沢出張所と併設、団員休憩室なし。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装、外壁の修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

その都度修繕を行い、適切な維持管理を図る。必要な場合は改築も検討していく。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 1 分団先達消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	田沢字先達 12-3	建設年（耐用年数）	昭和 60 年（22 年）
複合施設名		経過年数	35 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設の奥行きが不足、団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕・改築の検討が必要。
「基本的な方針の考え方」 ・小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕等を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装、外壁修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築、修繕が必要となる。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第1分団下高野消防ポンプ置場	延床面積	23 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字下高野 245-1	建設年（耐用年数）	昭和 55 年（22 年）
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	消防団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない地域拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装、外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築、修繕を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 1 分団高原消防ポンプ置場	延床面積	29 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字駒ヶ岳 2-16	建設年（耐用年数）	昭和 60 年（22 年）
複合施設名		経過年数	35 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	地域拠点として充分活用可能。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理費の減。
「基本的な方針の考え方」 廃止後の方針は、私有地に立地しているポンプ庫で、所有者が譲渡を望んだ場合又は地域で防災拠点としての活用希望がある場合は無償譲渡とし、それ以外は除却するものとする。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

土地については、財産区の所有地となっており、財産区へ返納。 建物については、地域防災拠点としての活用が認められることから、高原地区へ無償譲渡を検討している。
---

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。
--------------------

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 2 分団春山消防ポンプ置場	延床面積	12 m <sup>2</sup>
所在地	田沢字春山 140-12	建設年（耐用年数）	平成元年（34 年）
複合施設名		経過年数	31 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	ブロック造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	コンクリートブロック造り、耐久性に難あり。
基本的な方針	廃止	消防団員負担の軽減及び維持管理費の減。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

土地について、田沢財産区からの借入れのため、施設現存のまま土地を返納。 。
--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 2 分団石神消防ポンプ置場	延床面積	46 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字山根 279-2	建設年（耐用年数）	昭和 62 年（22 年）
複合施設名		経過年数	33 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	十分な広さがあるものの老朽化している。炊事可。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 ・小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。 目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
--

4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。 また、築 30 年を超えており、待機所の畳、炊事場の改築が必要。</p>
--

5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 2 分団造道消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字造道 27-78	建設年（耐用年数）	昭和 61 年（22 年）
複合施設名		経過年数	34 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	消防団員待機場所あり。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理費の減。
「基本的な方針の考え方」 ・消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

私有地に立地しているポンプ庫で、所有者が譲渡を望んだ場合又は地域で防災拠点としての活用希望がある場合は無償譲渡とし、それ以外は除却するものとする

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 2 分団大沢消防ポンプ置場	延床面積	46 m <sup>2</sup>
所在地	潟字前田 24-2	建設年（耐用年数）	昭和 54 年（22 年）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設の奥行きが不足、団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 2 分団田子ノ木消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	潟字頭無 196-1	建設年（耐用年数）	昭和 57 年（22 年）
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	出入口未舗装。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理費の減。
「基本的な方針の考え方」 ・消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

私有地に立地しているポンプ庫で、所有者が譲渡を望んだ場合又は地域で防災拠点としての活用希望がある場合は無償譲渡とし、それ以外は除却するものとする。
---

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

屋根、外壁が老朽化しており、改修が必要。
----------------------

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第2分団中生保内下消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字黒沢 146-5	建設年（耐用年数）	昭和 54 年（22 年）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	備品設置の棚及び畳の更新が必要。
基本的な方針	存続	積載車配備のため改修の実施・検討が必要。
「基本的な方針の考え方」 積載車が入っており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第2分団武蔵野消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字武蔵野 122-2	建設年（耐用年数）	昭和 57 年（22 年）
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	出入口の舗装が必要。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 2 分団武蔵野消防積載車庫	延床面積	46 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字武蔵野 105-292	建設年（耐用年数）	平成 2 年（22 年）
複合施設名		経過年数	30 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	車庫の広さもあり、団員休憩室、炊事を整備している。
基本的な方針	存続	機能維持のための維持・修繕が必要となる。
「基本的な方針の考え方」 消防活動の重要拠点であるため存続が必要。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第2分団上滝沢消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字上滝沢 138-1	建設年（耐用年数）	昭和 55 年（22 年）
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	出入口に段差があり。
基本的な方針	廃止検討	使用用途がなく、老朽化が激しいため。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止をする。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

土地は、市有地である事から、地域防災拠点として活用計画があれば、無償譲渡を検討したい。
---

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

地域との協議のため、今後 5 年を目途に調整したい。
----------------------------

## 4 管理上の課題等

小型ポンプ搬送時、軽トラックに積みやすいように大きな段差を付けリフトの役割を担わせているが、施設内にも入りづらくなっており、解体を予定している。
--

## 5 管理に関する実施方針

廃止するまでの期間は、適切に維持管理する。
-----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第2分団中生保内上消防積載車庫	延床面積	31 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字堂ノ前 36・20	建設年（耐用年数）	昭和 62 年（22 年）
複合施設名		経過年数	33 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	団員待機所有り、棚の整備が必要。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 3 分団駅前消防積載車庫	延床面積	51 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字水尻 57-8	建設年（耐用年数）	平成 14 年（22 年）
複合施設名		経過年数	18 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	1 階車庫、2 階団員待機所。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 ・救助資機材及び小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第3分団手倉野消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字大谷地 156・2	建設年（耐用年数）	昭和 53 年（22 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設の奥行きが不足、団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕・改修が必要。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 3 分団田向消防積載車庫	延床面積	46 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字田向 80-4	建設年（耐用年数）	昭和 60 年（22 年）
複合施設名		経過年数	35 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	広さもあり、団員休憩場所、炊事場有り。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を必要とする。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車が入っており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第3分団上堂田消防ポンプ置場	延床面積	8 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字上堂田 186-3	建設年（耐用年数）	昭和 61 年（22 年）
複合施設名		経過年数	34 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	個人所有車庫に隣接している。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理費の減。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

私有地に立地しているポンプ庫であるが、所有者が不在のため、地域から撤去を望まれている。今後除却処分に向けた実施計画の策定が必要。
--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。
--------------------

## 5 管理に関する実施方針

除却処分まで適切に管理を行う。
-----------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 3 分団刺巻消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	刺巻字刺巻 53-1	建設年（耐用年数）	昭和 31 年（22 年）
複合施設名		経過年数	64 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	国道沿いにあり、出入りに注意が必要な場所。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理の減。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

借地で有り、所有者が希望した場合は無償譲渡とし、それ以外は除却を行う。
-------------------------------------

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

屋根、外壁が老朽化しており改修が必要である。
------------------------

## 5 管理に関する実施方針

廃止までの期間、適切に維持管理を行う。
---------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 3 分団大道消防ポンプ庫	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	刺巻字大道 363	建設年（耐用年数）	平成 6 年（22 年）
複合施設名		経過年数	26 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設の奥行きが不足、団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第3分団宮ノ前消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字宮ノ前 27-14	建設年（耐用年数）	昭和 56 年（22 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	団員休息所あり。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理費の削減。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の管理が厳しく、負担軽減のため廃止を検討。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

財産区の所有地で有り、地域で防災拠点として活用する場合は無償譲渡とし、用途がない場合には除却とする。
--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

屋根、外壁が老朽化しており、改修等が必要となる。また、冬場の雪下ろしが必要となる。
---

5 管理に関する実施方針

廃止までの期間は、適切な維持管理に努める。
-----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 3 分団大杉沢消防ポンプ庫	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	生保内字武蔵野 84 - 43	建設年（耐用年数）	昭和 53 年（22 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設の奥行きが不足、団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。 目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。
--

4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。
--------------------

5 管理に関する実施方針

管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。
-------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団梅沢消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	梅沢字森ノ腰 244-1	建設年（耐用年数）	昭和 53 年（22 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設の奥行きが不足、団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団神代消防積載車庫	延床面積	46 m <sup>2</sup>
所在地	神代字野中清水 283-1	建設年（耐用年数）	昭和 59 年（22 年）
複合施設名		経過年数	36 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	広さはあるものの、団員休憩所はなし。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団小松消防ポンプ庫	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	小松字本町 28-3	建設年（耐用年数）	昭和 53 年（22 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	国道沿いである事と、住宅に密接している。
基本的な方針	存続	出入り時の危険回避と冬期雪対応で移転を検討
「基本的な方針の考え方」 各危険性を回避するため、施設の移転が必要と考えている。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。
--------------------

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。
-------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団岡崎消防積載車庫	延床面積	46 m <sup>2</sup>
所在地	岡崎字大屋敷 46-16	建設年（耐用年数）	昭和 63 年（22 年）
複合施設名		経過年数	32 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	広さもあり、団員待機所及び炊事場有り。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団東前郷消防積載車庫	延床面積	46 m <sup>2</sup>
所在地	角館東前郷字折橋 87-6	建設年（耐用年数）	平成 4 年（22 年）
複合施設名		経過年数	28 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	広さもあり、団員待機場及び炊事場有り。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団生田消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	神代字街道南 34-1	建設年（耐用年数）	昭和 59 年（22 年）
複合施設名		経過年数	36 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	屋根及び畳の入替が必要。
基本的な方針	廃止	団員負担の軽減及び維持管理費の削減。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

おばこ農協の敷地となっており、土地所有者が希望した場合は、無償譲渡としたい。
--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

屋根及び外壁が老朽化しており、改修が必要。
-----------------------

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団真崎消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	卒田字蟹沢口 72-3	建設年（耐用年数）	平成 7 年（22 年）
複合施設名		経過年数	25 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理の削減。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

土地が市有地のため、地域で防災拠点とする場合は無償譲渡とし、個人が必要とする場合は有償とする。
---

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

定期的な、屋根塗装・外壁修繕を要する。
---------------------

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団荒町消防積載車庫	延床面積	52 m <sup>2</sup>
所在地	卒田字荒町 53-2	建設年（耐用年数）	平成 8 年（22 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	広さもあり、団員休憩室及び炊事場有り。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 5 分団六本杉消防積載車庫	延床面積	41 m <sup>2</sup>
所在地	門屋字六本杉 72-2	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	1 皆：車庫、2 皆：団員待機場所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 積載車（軽トラック）が入っており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 5 分団栃ノ木消防積載車庫	延床面積	81 m <sup>2</sup>
所在地	西明寺字小山寺 161	建設年（耐用年数）	平成 7 年 2 月（22 年）
複合施設名		経過年数	25 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	車庫の広さあり、2 皆が団員待機場所、炊事場を確保。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 5 分団堀之内消防積載車庫	延床面積	41 m <sup>2</sup>
所在地	小山田字堀之内 93	建設年（耐用年数）	平成 2 年 10 月（22 年）
複合施設名		経過年数	30 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	車庫の広さあり、2 皆に団員待機場所、炊事場あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 5 分団八津消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	小山田字八津 270-5	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	出入口の舗装なし。
基本的な方針	廃止	分団員の負担軽減及び維持管理費の削減。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

私有地に立地しているポンプ庫で、地域防災拠点としている活用する場合は無償譲渡とし、私的活用の場合は有償、活用がない場合は除却とする。
--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁の維持管理が必要となる。
-------------------------

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 5 分団小淵野消防積載車庫	延床面積	81 m <sup>2</sup>
所在地	小淵野字小淵野 173-4	建設年（耐用年数）	平成 5 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	27 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	車庫の広さあり、2 皆に団員待機場所、炊事場あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 6 分団山口消防積載車庫	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	桧木内字山口 83-5	建設年（耐用年数）	平成 15 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	17 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	車庫の広さあり、2 皆に団員待機場所、炊事場あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 6 分団菅谷消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	桧木内字菅谷 23-2	建設年（耐用年数）	平成 12 年頃（22 年）
複合施設名		経過年数	20 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	プレハブ造り。
基本的な方針	廃止	分団員の負担軽減及び維持管理費の削減。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

防火水槽の上にある。 私有地に立地しているポンプ庫で、地域防災拠点としている活用する場合は無償譲渡とし、私的活用の場合は有償、活用がない場合は除却とする。
--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁の維持管理が必要となる。
-------------------------

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 6 分団松葉消防積載車庫	延床面積	69 m <sup>2</sup>
所在地	桧木内字松葉 135-2	建設年（耐用年数）	平成 9 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	23 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	車庫の広さあり、2 皆に団員待機場所、炊事場あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第6分団上桧木内消防積載車庫	延床面積	55 m <sup>2</sup>
所在地	上桧木内字大地田 48-1	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 8 月（22 年）
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	1 皆：書庫、2 皆：団員待機場所、炊事場があるが、2 皆への階段が使用不能。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防分団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 6 分団戸沢消防ポンプ置場	延床面積	46 m <sup>2</sup>
所在地	上桧木内字西下戸沢 239-2	建設年（耐用年数）	平成 3 年 11 月（22 年）
複合施設名		経過年数	29 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	1 皆：ポンプ置場、2 皆：団員控え所、炊事場あり。
基本的な方針	廃止	団員減少により、廃止で進めている。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止で進めている。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

地域防災拠点としている活用する場合は無償譲渡とし、私的活用の場合は有償、活用がない場合は除却とする。
--

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装・外壁の維持管理が必要となる。
-------------------------

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 7 分団小館消防ポンプ置場	延床面積	33 m <sup>2</sup>
所在地	小館 32-3	建設年（耐用年数）	平成 15 年 7 月（22 年）
複合施設名		経過年数	17 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	プレハブ建築。
基本的な方針	存続	角館地区で、消防訓練大会等があり、倉庫としての活用を検討中。
「基本的な方針の考え方」 消防署敷地にある、水防倉庫だけでは手狭であるため第 2 倉庫として活用を検討している。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

その都度修繕を行い、適切な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 7 分団小人町消防積載車庫	延床面積	19 m <sup>2</sup>
所在地	小人町 1	建設年（耐用年数）	昭和 62 年 12 月 22 年）
複合施設名		経過年数	33 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	待機所なし。
基本的な方針	存続	機能維持のため必要に応じて修繕が必要。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第7分団山根町消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	山根町 17	建設年（耐用年数）	昭和 54 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	防火水槽の上に設置。
基本的な方針	廃止	団員負担軽減及び維持管理の削減。
<p>「基本的な方針の考え方」                  消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討するが、防火水槽上に設置されているため、他への譲渡はできない。施設は除却を検討。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

土地所有者に対して施設が必要かどうかを確認したところ、活用しないと伺っており施設は除却の予定だが、底地が防火水槽のため、土地については引き続き借受が必要。

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第7分団西勝楽町消防積載車庫	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	西勝楽町 3	建設年（耐用年数）	昭和 58 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	37 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	待機所なし。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 7 分団中菅沢消防ポンプ庫	延床面積	30 m <sup>2</sup>
所在地	中菅沢 78-9	建設年（耐用年数）	令和 2 年 11 月（34 年）
複合施設名	角館庁舎車庫	経過年数	0 年
特記事項	耐震あり	構造・階数	鉄骨平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	角館庁舎車庫と併設、団員待機所なし。
基本的な方針	存続	機能維持を継続する。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 7 分団下川原消防積載車庫	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	下川原 345-1	建設年（耐用年数）	昭和 48 年 7 月（22 年）
複合施設名		経過年数	47 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	待機所なし。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第7分団岩瀬本丁消防ポンプ置場	延床面積	17 m <sup>2</sup>
所在地	岩瀬 156-1	建設年（耐用年数）	昭和 46 年 3 月（22 年）
複合施設名		経過年数	49 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	団員待機場所として活用可能。
基本的な方針	存続	分団拠点として継続。
「基本的な方針の考え方」 消防活動の重要拠点として存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第7分団西下夕野消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	岩瀬下夕野 284-2	建設年（耐用年数）	昭和 52 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	43 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好。
基本的な方針	廃止	消防団員維持管理の負担軽減を図る。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

土地が市有地のため、地域で防災拠点とする場合は無償譲渡とし、個人が必要とする場合は有償とし、その他は除却を行う。
--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

定期的な、屋根塗装・外壁修繕を要する。
---------------------

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 8 分団広久内消防積載車庫	延床面積	33 m <sup>2</sup>
所在地	広久内舟場 8	建設年（耐用年数）	平成 24 年 7 月（22 年）
複合施設名		経過年数	8 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	奥行きあり、団員待機所あり。
基本的な方針	存続	機能維持のための必要に応じて修繕を実施する。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配置しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 4 分団上中川原消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	広久内上中川原 91-2	建設年（耐用年数）	平成 6 年（22 年）
複合施設名		経過年数	26 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面、ソフト面とも良好。
基本的な方針	廃止	消防団員の個人負担軽減のため。
「基本的な方針の考え方」 令和 2 年 6 月に土地所有者と協議し、譲渡済。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

私有地に立地していたため無償譲渡している。

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 8 分団下中川原消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	広久内舟場 8	建設年（耐用年数）	昭和 61 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	34 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	団員待機所なし。
基本的な方針	存続	機能維持のため必要に応じて修繕を実施する。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配置しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第8分団下夕町消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	広久内下夕町 50-1	建設年（耐用年数）	昭和 63 年 11 月（22 年）
複合施設名		経過年数	31 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価		令和元年 11 月の火災により焼失
基本的な方針	廃止	焼失
「基本的な方針の考え方」 火災により焼失したため、元の状態に戻し返還した。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第8分団堂ノ口消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	白岩堂野口 105-2	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	屋根の錆、側面の波トタンの錆が激しい。
基本的な方針	廃止	老朽化が激しいため。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しいことと老朽化が激しいため廃止する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

土地が借地のため、個人が必要とする場合は無償譲渡とするが、その他は除却とする。
---

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

屋根の葺き替え、外壁の改修を要する。
--------------------

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 8 分団銭神消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	藪田銭神 16-1	建設年（耐用年数）	平成 4 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	28 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	奥行きあり、団員待避所なし。
基本的な方針	存続	機能維持のため必要に応じて修繕を実施する。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第8分団下花園消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	藪田久保 7-2	建設年（耐用年数）	昭和 59 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	36 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好。
基本的な方針	廃止	消防団員維持管理の負担軽減を図る。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

土地が借地のため、個人又は地域が防災拠点とする場合は無償譲渡とする。 その他の場合は除却を行う。
---

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

定期的な、屋根塗装・外壁修繕が必要。
--------------------

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第8分団白岩前郷消防積載車庫	延床面積	28 m <sup>2</sup>
所在地	白岩前郷 60-2	建設年（耐用年数）	昭和 42 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	存続	機能維持のため新築を予定。
「基本的な方針の考え方」 現在の場所では積載車の出入りにも支障があることと、老朽化が激しいことから地域内への移転新築を計画する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>53 年が経過していることと、積載車の出入りに支障があることから新築移転を検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

その都度修繕を行い、適切な維持管理を図る。
-----------------------

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 9 分団碇消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	雲然 140-1	建設年（耐用年数）	平成 3 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	29 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	屋根・外壁の錆が目立つ、必要に応じて改修が必要。
基本的な方針	存続	機能維持のため必要。
「基本的な方針の考え方」 積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>その都度修繕を行い、適切な維持管理を図る。管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
--

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 9 分団町屋消防積載車庫	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	雲然下町屋 115	建設年（耐用年数）	平成 10 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	22 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	奥行きあり。
基本的な方針	存続	機能維持のため必要に応じて補修等が必要。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第9分団坂ノ下消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	八割坂ノ下 70	建設年（耐用年数）	平成 10 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	22 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	待機所なし。
基本的な方針	存続	機能維持のため必要に応じて補修等を実施。
「基本的な方針の考え方」 積載車を配備予定、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。 目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
--

4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 9 分団奥村消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	八割大沢 8-1	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	奥行きなし。
基本的な方針	廃止	消防団員維持管理の負担軽減を図る。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止とし、施設については除却に向けた作業を進める。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

老朽化が進み、定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。
---------------------------

## 5 管理に関する実施方針

解体実施までは、適切な維持管理を図る。
---------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第9分団下延竹市消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	下延竹市 8	建設年（耐用年数）	平成 12 年 1 月（22 年）
複合施設名		経過年数	20 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	屋根塗装が必要。
基本的な方針	廃止	消防団員維持管理の負担軽減を図る。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減のため廃止とする。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

土地が借地のため、個人が必要とする場合又は地域の防災拠点とする場合は無償譲渡とした い。なお、その他は除却を行う。
--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

定期的な、屋根塗装・外壁修繕を要する。
---------------------

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 9 分団下延消防積載車庫	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	下延上川原 246	建設年（耐用年数）	平成 25 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	7 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	広さ、奥行きあり、団員待機所の代替えとしてコミュニティセンターあり。
基本的な方針	存続	必要に応じて、機能維持のための修繕等を行う。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。
----------------------

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 9 分団桂淵消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	西長野桂淵 129-2	建設年（耐用年数）	平成 7 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	25 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	広さ、奥行きあり、団員待機所なし。
基本的な方針	存続	必要に応じて、機能維持のための修繕等を行う。
「基本的な方針の考え方」 積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。</p> <p>目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
---

## 4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 9 分団中泊消防積載車庫	延床面積	18 m <sup>2</sup>
所在地	西長野中泊 149-1	建設年（耐用年数）	平成 22 年 11 月（22 年）
複合施設名		経過年数	10 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	広さ、奥行きあり、団員待機所なし。
基本的な方針	存続	必要に応じて、機能維持のための修繕等を行う。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 9 分団熊堂消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	西長野熊堂 86-1	建設年（耐用年数）	昭和 43 年 9 月（22 年）
複合施設名		経過年数	52 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	防火水槽の上に設置、マンホールはシャッター手前。
基本的な方針	廃止	土地所有者へ譲渡。
「基本的な方針の考え方」 令和元年 3 月に土地所有者と協議し、譲渡済。防火水槽用地として土地借地は継続する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 10 分団中川消防ポンプ置場	延床面積	33 m <sup>2</sup>
所在地	川原寺前 28-3	建設年（耐用年数）	昭和 51 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	44 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	水防倉庫と併用している。
基本的な方針	存続	機能維持のための改修等の検討が必要。
「基本的な方針の考え方」 積載車を配備予定、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域防災に欠かせない拠点施設であり、機能維持の修繕等を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

そ管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 10 分団中村消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	小勝田中村 44	建設年（耐用年数）	昭和 63 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	32 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	施設は良好。
基本的な方針	廃止	消防団員維持管理の負担軽減を図る。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

土地が借地のため、個人又は地域で防災拠点とする場合は無償譲渡とし、その他は除却を行う。
---

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

定期的な、屋根塗装・外壁修繕を要する。
---------------------

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 10 分団高屋消防積載車庫	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	山谷川崎高屋 266-3	建設年（耐用年数）	平成 2 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	30 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	広さ、奥行きあり、団員待機所なし
基本的な方針	存続	必要に応じて、機能維持のための修繕等を行う。
「基本的な方針の考え方」 積載車が入っており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。 目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
--

4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。</p>
-----------------------------

5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 10 分団川原若神子消防積載車庫	延床面積	17 m <sup>2</sup>
所在地	川原若神子 25-3	建設年（耐用年数）	昭和 42 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	屋根・外壁の老朽化が激しい、団員待機所なし。
基本的な方針	存続	機能維持のため必要に応じて修繕を実施する。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備しており、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

地域防災に欠かせない施設拠点であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根の塗装・外壁の修繕を要する。

## 5 管理に関する実施方針

管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 10 分団安久戸消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	川原安久戸 54-1	建設年（耐用年数）	昭和 60 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	35 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	老朽化が激しい。
基本的な方針	廃止	団員の管理負担軽減のため廃止する。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止の方向。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

防火水槽上に施設があり、個人への譲渡には向かない、施設の老朽化が著しく除却の方向。
---

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 10 分団雫田消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	山谷川崎雫田 11-2	建設年（耐用年数）	昭和 51 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	44 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	屋根の塗装が必要
基本的な方針	廃止	消防団員の負担軽減を図る。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の維持管理軽減のため廃止を進めた。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

令和 2 年 6 月に土地所有者と協議し、譲渡済。

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	第 10 分団黒森消防ポンプ置場	延床面積	10 m <sup>2</sup>
所在地	山谷川崎黒森 279-2	建設年（耐用年数）	昭和 50 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	45 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	基礎部分に不安がある。
基本的な方針	廃止	消防団員の維持管理負担軽減のため廃止。
「基本的な方針の考え方」 消防団員の減少により全施設の維持管理が難しく、負担軽減するため廃止の方向。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

杉の大木に挟まれた、道路法面に設置されており、防災拠点としても不向きと考えており除却を進める。
---

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

定期的な屋根塗装、外壁の改修が必要となる。
-----------------------

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合防災課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	第 10 分団黒沢消防ポンプ置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	山谷川崎黒沢 173-2	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 12 月（22 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	耐震化未実施	構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	広さ、奥行きあり、団員待機所なし。
基本的な方針	存続	機能維持のための必要に応じて改修等を図る。
「基本的な方針の考え方」 小型ポンプ付積載車を配備、消防活動の重要拠点であるため存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>地域防災に欠かさない拠点施設であり、機能維持の修繕を行いながら 50 年以上の使用を目標とする。 目標使用年数経過後は、その後の存続について検討する。</p>
--

4 管理上の課題等

<p>定期的な屋根塗装・外壁修繕を要する。</p>
---------------------------

5 管理に関する実施方針

<p>管轄消防団へ維持管理を任せている、必要に応じて改築・改修を実施する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	24	24	24	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24	24	24	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(行政施設:その他の施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
市民バス車庫	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
旧仙北農業共済組合北部支所	角館町上菅沢	廃止検討	除却処分(10年後以降)
佐藤家住宅	角館町岩瀬	廃止検討	除却処分(10年後以降)
旧田沢湖高原スキー場管理棟	田沢湖生保内	除却	除却済み
田沢湖除雪車格納庫	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
西明寺除雪センター	西木町西明寺	存続	機能維持のための修繕等実施
旧にこにこ幼稚園	西木町門屋	除却	除却済み
漆原車庫	西木町門屋	除却	除却処分を検討
漆原倉庫	西木町門屋	廃止	除却処分を検討
特別豪雪地帯克雪管理センター	西木町桧木内	除却	機能移転を検討
上桧木内除雪センター	西木町上桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

除雪関連施設については、一部を除き、適切な維持補修を行い存続に努めます。  
また、老朽化が著しく他の施設に機能移転が可能な施設については、解体に向けた調整を進めます。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	市民バス車庫	延床面積	31 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 39	建設年（耐用年数）	平成 12 年 2000（60 年）
複合施設名		経過年数	19 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 地域公共交通「たっこちゃんバス」の保管場所として、修繕等を行い維持する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切な維持管理に努め、できる限り長い年数の使用を目指す。
------------------------------

## 4 管理上の課題等

特に課題はない。
----------

## 5 管理に関する実施方針

適切な管理に努める。
------------

## 6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13	大規模改修	7,750	
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		7,750	

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	30	18	1	賃金・保険料
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	30	18	1	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	旧仙北農業共済組合北部支所	延床面積	331 m <sup>2</sup>
所在地	角館町上菅沢 222-1	建設年（耐用年数）	昭和 57 年（15 年）
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	※耐震化不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	廃止検討	今後、10 年以上をかけて廃止（解体）に向けて検討する。
「基本的な方針の考え方」 現在、当該施設は、桜まつりや産業祭等の行事の時に使用するテントや机、折りたたみ椅子等が保管されている倉庫として活用しているため、修繕を継続しながら当面 10 年ほどは存続していく。しかしながら施設は老朽化しており、今後、10 年以上をかけて廃止（解体）についても併せて検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 48 年】

倉庫として修繕をしながら今後 10 年以上使用する。
----------------------------

## 4 管理上の課題等

建物災害共済保険は角館市民センターで予算化しているが、当該施設を使用しているのは観光課のため、観光課に所管替えをしたい。
--

## 5 管理に関する実施方針

当該施設を角館市民センターから観光課に所管替えをし、適切な維持管理を図る。
---------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	11	11	15	
修繕コスト				
その他				
(合計)	11	11	15	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	佐藤家住宅	延床面積	195 m <sup>2</sup>
所在地	角館町岩瀬町 29	建設年（耐用年数）	昭和 56 年（24 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	※耐震化不要	構造・階数	木造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	廃止検討	今後、10 年以上をかけて廃止（解体）を検討
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>当該施設は、「角館まちづくり地域運営体」の拠点施設となっており、中心市街地活性の役割も担っている施設でもあるため、修繕を継続しながら 10 年以上存続していく。</p> <p>しかしながら、建物は老朽化しており、今後 10 年以上かけて廃止（解体）について併せて検討していく。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 49 年】

老朽化が顕著なため、10 年を目途に解体を目指す。
---------------------------

## 4 管理上の課題等

「角館まちづくり地域運営体」に貸しており、「角館町まちづくり地域運営体」で適正に管理しているため特に課題はなし。
--

## 5 管理に関する実施方針

「角館まちづくり地域運営体」で、今後も適正に管理するよう依頼する。
-----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	7	7	8	
修繕コスト				
その他				
(合計)	7	7	8	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	261	338	334	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧田沢湖高原スキー場管理棟	延床面積	225 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字駒ヶ岳 地内	建設年（耐用年数）	昭和 36 年 1961（不明）
複合施設名		経過年数	59 年
特記事項	平成 30 年解体済み	構造・階数	木造 2 階 1 棟木造 1 階 4 棟

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	平成 30 年解体済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	10	4	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	10	4	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖除雪車格納庫	延床面積	101 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖神代字野中清水 283-2	建設年（耐用年数）	H6（31年）
複合施設名		経過年数	26年
特記事項		構造・階数	鉄骨構造

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 冬期交通維持のための施設として今後も修繕を実施しながら存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 36 年】

機能維持のための必要最小限の修繕等を実施しながら、今後 10 年以上の使用を目標とする。
--

## 4 管理上の課題等

管理上の課題はない。
------------

## 5 管理に関する実施方針

適切な維持管理を継続する。
---------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	96	27	0	
その他				
(合計)	96	27	0	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	-	-	-	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	西明寺除雪センター	延床面積	526 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字塞ノ神 48-1	建設年（耐用年数）	S63（31年）
複合施設名		経過年数	32年
特記事項	地盤沈下	構造・階数	鉄骨構造

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 冬期交通維持のための施設として今後も修繕を実施しながら存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 42 年】

帰納維持のための必要最小限の修繕等を実施しながら、今後 10 年以上の使用を目標とする。
--

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	33	33	33	
運用コスト	141	122	124	
修繕コスト				
その他				
(合計)	174	155	157	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	-	-	-	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧にこにこ幼稚園	延床面積	707.99 m <sup>2</sup>
所在地	西木門屋字漆原 地内	建設年（耐用年数）	昭和 42 年 1967（不明）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項	平成 30 年解体済み	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	平成 30 年解体済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	10	10	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	10	10	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	西木市民センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	漆原車庫	延床面積	77.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字漆原 88-2	建設年（耐用年数）	昭和 45 年（31 年）
複合施設名		経過年数	50 年
特記事項		構造・階数	鉄骨平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	廃止	屋根の老朽化が進んでいるので廃止に向けて検討する
<p>「基本的な方針の考え方」          現在、総合防災課の資材倉庫（消防、水防等）として活用されているが、屋根の老朽化が進んでおり廃止に向けて検討する。廃止後は除却を予定。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 51 年】

維持管理には大規模な改修が必要であり、担っている役割の機能移転について、今後、他の部署と調整を進める。

## 4 管理上の課題等

機能維持には多額の費用が必要である。

## 5 管理に関する実施方針

機能を他の施設に移転する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	解体工事	650	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		650	

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	西木市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	漆原倉庫	延床面積	66.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字漆原 88-2	建設年（耐用年数）	昭和 45 年（31 年）
複合施設名		経過年数	50 年
特記事項		構造・階数	鉄骨平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	廃止	除却予定
「基本的な方針の考え方」 現在担っている施設の役割を他の施設に機能移転する調整を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

今後、10 年間で廃止に向けた調整を地域・利用者と協議を進める。
----------------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根塗装	300	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		300	

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	桧木内出張所
---------	--------

1 施設の概要・沿革

施設名称	特別豪雪地帯克雪管理センター	延床面積	422 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町桧木内字松葉 290-2	建設年（耐用年数）	昭和 51 年 1976（ 38 年）
複合施設名		経過年数	44 年
特記事項	2 階貸付	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	使用不可の為、一部除却を検討
「基本的な方針の考え方」 車庫部分以外は利用実態がないため、車庫部分を残し廃止、除却に向けた調整を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 54 年】

車庫部分以外は改修が必要であり、車庫部分については 10 年を目途に維持利用する。
---

4 管理上の課題等

特に問題はない
---------

5 管理に関する実施方針

除雪車の専用スペースのみ維持する。
-------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	24	24	24	
運用コスト	63	62	67	
修繕コスト				
その他				
(合計)	87	86	91	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	上桧木内除雪センター	延床面積	111 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字中泊 43-1	建設年（耐用年数）	H10（31年）
複合施設名		経過年数	22年
特記事項		構造・階数	鉄骨構造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 冬期交通維持のための施設として今後も修繕を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 32 年】

機能維持のための必要最小限の修繕等を実施しながら、今後 10 年以上の使用を目標とする。
--

4 管理上の課題等

特になし
------

5 管理に関する実施方針

冬期除雪の基幹的施設であり、適切な管理による長期利用を図る。
--------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	81	75	79	
修繕コスト				
その他				
(合計)	81	75	79	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	-	-	-	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(子育て支援施設:幼稚園・保育所)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
角館こども園(旧角館保育園)	角館町中菅沢	譲渡	譲渡予定(R4 法人へ)
角館西保育園	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
白岩小百合保育園	角館町白岩	存続	機能維持のための修繕等実施
中川保育園	角館町川原	除却	10年を目途に統廃合を目指し、以降は除却を検討
田沢幼稚園	田沢湖田沢	除却	除却
にこにここども園(旧にこにこ保育園)	西木町門屋	譲渡	譲渡済み(R2 実施)
にこにここども園倉庫	西木町門屋	譲渡	譲渡済み(R2 実施)
ひのきないこども園(旧ひのきない保育園)	西木町桧木内	譲渡	譲渡済み(R2 実施)
ひのきないこども園倉庫	西木町桧木内	譲渡	譲渡済み(R2 実施)

3. 施設管理に関する基本的な方針

地域との協議で市直営での存続が求められている一部の施設以外は、基本的に法人化を進めます。

また、老朽化が著しい施設で大規模改修が見込まれる施設については、学校の空き教室利用の可能性も含め地域との調整を進めます。

【個別票】

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館こども園（旧角館保育園）	延床面積	1,770.63 ㎡
所在地	角館町中菅沢 91-1	建設年（耐用年数）	平成 17 年 2005（22 年）
複合施設名		経過年数	15 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	木一部鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	譲渡	R 4 年度に法人へ譲渡予定
「基本的な方針の考え方」 法人へ譲渡予定となっている。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

R 4 年度に法人へ譲渡予定
----------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 17 年】

施設譲渡までの期間を 2 年とし、良好な施設移譲を進める。
-------------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

施設の譲渡までに、不具合箇所等の補修を行い、良好な状態で譲渡を行う。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	ホール非常用排煙窓開閉器修繕 キュービクル塗装補修	※1,320 308	予定
R 3	不具合箇所補修	※3,000	予定
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		3,000	※R2 分除く

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	391	391	391	
運用コスト	74,272	75,009	72,068	
修繕コスト	374	874	856	
その他	292	870		
(合計)	75,329	77,144	73315	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	19,496	18,973	15,611	保育料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	角館西保育園	延床面積	360 m <sup>2</sup>
所在地	角館町雲然田中 437-2	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981 ( 47 年)
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化未実施	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 保育所として市直営を継続する方針となっている。将来的にはあり方を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

今後 8 年で耐用年数を迎えることになるが、令和 2 年度にトイレ改修を行っている。機能維持の修繕を実施しながら 50 年（今後 11 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

## 4 管理上の課題等

・全体的に老朽化し、今後外壁塗装の改修が必要となってくる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	トイレ改修工事 門扉改修 排水管改修	6,270 288 300	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			※50年目
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		6,858	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	118	123	187	
運用コスト	19,112	18,224	20,204	
修繕コスト	618	244	258	
その他	2,407	324	0	
(合計)	22,255	18,915	20,649	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	2,337	2,913	1,463	保育料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	白岩小百合保育園	延床面積	450 m <sup>2</sup>
所在地	角館町白岩上西野 93-1	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980 ( 47 年)
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化未実施	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 保育所として市直営を継続する方針となっている。将来的にはあり方を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

今後 7 年で耐用年数を迎えることになるが、機能維持の修繕を実施しながら 50 年（今後 10 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

## 4 管理上の課題等

- ・ 全体的に老朽化し、今後外壁塗装の改修が必要となってくる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			※50年目
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	108	123	187	
運用コスト	19,857	21,045	20,178	
修繕コスト	898	932	257	
その他	2,252			
(合計)	23,115	22,100	20,622	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	4,209	4,461	2,857	保育料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	中川保育園	延床面積	300.3 m <sup>2</sup>
所在地	角館町川原羽黒堂 324-1	建設年（耐用年数）	昭和 58 年 1983 ( 34 年)
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	鉄骨 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	除却	機能維持のための修繕し、今後 10 年以内目途に統廃合し解体を検討する
「基本的な方針の考え方」 保育所として市直営を継続する方針となっている。統廃合後は解体する。 土地は借地で、解体後、賃貸借契約解除する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

入所児童の減少に伴い、今後 10 年以内目途に統廃合を検討する。

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 48 年】

既に耐用年数を超えているが、令和 2 年度にホール屋根改修を行っている。機能維持の修繕を実施しながら 48 年（今後 10 年）の使用を目標とする。保育園統廃合後は、解体する。

## 4 管理上の課題等

・全体的に老朽化し、今後内壁塗装の改修が必要となってくる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	ホール屋根改修	300	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			※48年目
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		300	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	118	123	187	
運用コスト	16,398	13,593	12,834	
修繕コスト	142	21	582	
その他			99	
(合計)	16,658	13,737	13,702	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	1,311	1,157	316	保育料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 30 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢幼稚園	延床面積	370 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字高屋 140-4	建設年（耐用年数）	昭和 63 年 1988（22）
複合施設名		経過年数	32 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除去に向けた検討をする。
「基本的な方針の考え方」 現在使用していない施設のため、早い段階での除却に向けた検討を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 32 年】

解体目標期間を 5 年以内とする。
-------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

解体までの期間は、適切な維持管理を行う。
----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7	解体		
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	23	23	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	23	23	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

1 施設の概要・沿革

施設名称	にこにこ子ども園（旧にこにこ保育園）	延床面積	1,143.32 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字六本杉 2-1	建設年（耐用年数）	平成 18 年 2006 （ 22 年）
複合施設名		経過年数	15 年
特記事項		構造・階数	木 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価		
基本的な方針	譲渡済み	R 2 年度に法人（はなさき仙北）へ譲渡済み 「基本的な方針の考え方」

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	492	470	315	
運用コスト	5,250	5,109	5,510	
修繕コスト	1,010	295	217	
その他	777		21	
(合計)	7,529	5,874	6,063	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	6,294	6,191	5,063	保育料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	にこにこ子ども園倉庫（旧にこにこ保育園）	延床面積	49.57 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字六本杉 2-1	建設年（耐用年数）	平成 18 年 2006 ( 22 年)
複合施設名		経過年数	15 年
特記事項		構造・階数	木 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価		
基本的な方針	譲渡済み	R 2 年度に法人（はなさき仙北）へ譲渡済み 「基本的な方針の考え方」

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		0	※R2 分除く

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

1 施設の概要・沿革

施設名称	ひのきないこども園（旧ひのき ない保育園）	延床面積	594.15 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桜木内字高屋 137	建設年（耐用年数）	平成 15 年 2003 （ 22 年）
複合施設名		経過年数	17 年
特記事項		構造・階数	木鉄骨 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価		
基本的な方針	譲渡済み	R 2 年度に法人（はなさき仙北）へ譲渡済み 「基本的な方針の考え方」

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	697	839	386	
運用コスト	4,770	4,500	4,379	
修繕コスト	2,028	271	551	
その他			9,866	エアコン設備更新
(合計)	7,495	5,610	15,182	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	2,858	3,323	1,582	保育料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	ひのきないこども園倉庫（旧ひのきない保育園）	延床面積	34.78 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桜木内字高屋 137	建設年（耐用年数）	平成 17 年 2005 （ 15 年）
複合施設名		経過年数	17 年
特記事項		構造・階数	木鉄骨 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価		
基本的な方針	譲渡済み	R 2 年度に法人（はなさき仙北）へ譲渡済み 「基本的な方針の考え方」

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(子育て支援施設:児童館)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
角館児童館	角館町中菅沢	除却検討	10年後廃止、除却検討
武蔵野児童館	田沢湖生保内	譲渡検討	地元への譲渡検討
男坂児童館	田沢湖生保内	譲渡検討	地元への譲渡検討
先達野児童館	田沢湖生保内	譲渡検討	地元への譲渡検討
北卒田児童館	田沢湖卒田	除却	除却処分(R2実施)
荒川尻児童館	田沢湖神代	廃止検討	地元との協議実施
東前郷児童館	田沢湖角館東前郷	除却	除却済み(H29実施)

3. 施設管理に関する基本的な方針

角館児童館は放課後児童の拠点として現在利用されていますが、少子化が進む中、その推移を見据えながら、学校の空き教室利用が可能な場合は、解体に向けた検討を進めます。  
児童館については、可能な限り地元への譲渡の方向で調整を進めます。

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	角館児童館	延床面積	1,197.9 m <sup>2</sup>
所在地	角館町中菅沢 2-1	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980 ( 47 年)
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	※耐震化OK	構造・階数	鉄筋コンクリート 2階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	除却	機能維持のための修繕しながら、10 年程度使用後に廃止し、 除却を検討する
<p>「基本的な方針の考え方」 放課後児童クラブ、放課後デイサービス、子育て支援サービスで共同利用しており、10 年程度市直営として存続させる。廃止後は除却を検討する。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

少子化が進み、角館小学校に空き教室が増えたら、空き教室を利用して放課後児童クラブ移転を検討する。

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

RC 造で大きすぎて、維持管理を考えると地域への譲渡は難しいと思われる。

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 51 年】

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

## 4 管理上の課題等

ドレンヒータの故障チェックが冬季間に必要

## 5 管理に関する実施方針

必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	19	19	19	消火設備点検
運用コスト	11,653	12,659	13,147	灯油代、火災保険料
修繕コスト	959	150	159	
その他			2,503	ブロック塀撤去
(合計)	12,631	12,828	15,828	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	1,705	1,763	1,824	放課後児童クラブ 利用料、あるく使 用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	武蔵野児童館	延床面積	102.46 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 105-30	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1978 ( 22 年)
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	※耐震化未実施	構造・階数	木 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	譲渡検討	地域への譲渡を検討する
「基本的な方針の考え方」 町内会と協力して存続させ、将来的には地域への譲渡を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

町内会が管理してくれている。
----------------

## ※ 民間等への譲渡の検討について

将来的には地域への譲渡を検討する。
-------------------

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
-------------------------------------

## 4 管理上の課題等

5～10 年ごとの屋根塗装が必要。町内会が管理してくれていて、必要最低限の修繕をしていく。
---

## 5 管理に関する実施方針

当面、町内会と協力して管理。
----------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5	屋根塗装	200	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15	屋根塗装	200	
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		400	※R2 分除く

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	6	6	6	火災保険料
修繕コスト		181		軒雪害
その他				
(合計)	6	187	6	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	男坂児童館	延床面積	66.1 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字街道ノ上 6-3	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980 ( 22 年)
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	※耐震化未実施	構造・階数	木 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	譲渡検討	地域への譲渡を検討する
「基本的な方針の考え方」 町内会と協力して存続させ、将来的には地域への譲渡を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

町内会が管理を行っている。
---------------

## ※ 民間等への譲渡の検討について

将来的には地域への譲渡を検討する。
-------------------

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
-------------------------------------

## 4 管理上の課題等

町内会が管理してくれていて、必要最低限の修繕をしていく。
------------------------------

## 5 管理に関する実施方針

町内会と協力して維持管理していく。
-------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	6	6	6	火災保険料
修繕コスト				
その他				
(合計)	6	6	6	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	先達野児童館	延床面積	83.45 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字下高野 61-19	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 1982 ( 22 年)
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項		構造・階数	木 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	譲渡検討	地域への譲渡を検討する
「基本的な方針の考え方」 町内会と協力して存続させ、将来的には地域への譲渡を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

町内会が管理を行っている。
---------------

## ※ 民間等への譲渡の検討について

将来的には地域への譲渡を検討する。
-------------------

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
-------------------------------------

## 4 管理上の課題等

町内会が管理してくれていて、5 年一度程度屋根塗装のためのペンキなどを現物支給する。
--

## 5 管理に関する実施方針

町内会と協力して維持管理していく。
-------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5	屋根塗装	30	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10	屋根塗装	30	
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15	屋根塗装	30	
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20	屋根塗装	30	
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25	屋根塗装	30	
R 26			
R 27			
合 計		150	※R2 分除く

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	6	6	26	火災保険料、屋根ペンキ代
修繕コスト				
その他				
(合計)	6	6	26	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	北卒田児童館	延床面積	66.1 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖卒田字上真崎野 360-3	建設年（耐用年数）	昭和 51 年 1976 ( 22 年)
複合施設名		経過年数	44 年
特記事項		構造・階数	木 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価		
基本的な方針	解体	R2 年度解体済
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		0	※R2 分除く

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	78	78	78	保険、管理謝礼
修繕コスト				
その他				
(合計)	78	78	78	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	荒川尻児童館	延床面積	66.1 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖神代字戸伏松原 455	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980 ( 22 年)
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	※耐震化未実施	構造・階数	木 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ハード面は良好だが、ソフト面が良好でない施設
基本的な方針	廃止検討	今後地元と廃止に向けた協議が必要
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>今後町内会と協力して廃止に向けた協議が必要であるが、現在児童館と児童公園敷地 4,068 m<sup>2</sup> は地元町内会が無償で冬囲いや、建物維持管理、草刈り作業を行っており、市では建物火災保険料しか負担していない。</p> <p>廃止後は地元町内会は維持管理しない方針で、ほ場の中心に位置しており、近隣のほ場にカメ虫発生などで迷惑を掛けないためには、頻繁な草刈り作業や除草剤散布作業を実施する必要があり、児童館廃止後は経費の大幅増大が見込まれる。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

<p>地元町内会が無償で冬囲いや、建物維持管理、草刈り作業を行っている。</p> <p>廃止後は地元町内会は維持管理しない方針。</p>
--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

<p>以前の意向聞き取りでは、地元町内会はすべて会館を持っており、譲渡を希望する町内会は無かった。</p>
---

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

<p>目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。</p>
--

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	6	6	6	火災保険料
修繕コスト				
その他				
(合計)	6	6	6	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	子育て推進課
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	東前郷児童館	延床面積	66.1 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖角館東前郷字折橋 87-3	建設年（耐用年数）	昭和 48 年 1973 ( 22 年)
複合施設名		経過年数	47 年
特記事項	H29 年度解体撤去済	構造・階数	木 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価		
基本的な方針	解体	H29 年度解体済
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	43			保険、電気料
修繕コスト				
その他	3,445			解体工事費
(合計)	3,488			

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(保健・福祉施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
旧角館町老人福祉センター	角館町雲然	除却	除却済み(H29実施)
和ごみの家老いの国(田町サービスセンター)	角館町田町上丁	譲渡検討	福祉施設としての譲渡検討
角館保健センター	角館町大風呂	除却	除却済み(H30実施)
仙北市福祉センター	角館町小勝田	譲渡	社会福祉協議会等への譲渡検討
田沢湖サービスセンター	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖健康増進センター	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖老人憩の家 老松荘	田沢湖岡崎	除却	除却処分を検討
田沢湖保健センター	田沢湖生保内	廃止検討	耐用年数経過後、除却検討
西木保健センター	西木町門屋	機能転用	コミュニティセンター機能へ
仙北市健康管理センター	角館町中菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
介護老人保健施設にしき園	西木町門屋	存続	機能維持のための修繕等実施
介護老人保健施設にしき園車庫	西木町門屋	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

在宅福祉を進めるために必要な介護施設については、存続とし機能維持に努めるほか、恒常的に施設を利用している民間事業者等の場合は、事業の継続を伴う譲渡について協議を進めます。

また、介護老人保健施設にしき園については、民間への譲渡に向けた調整を進めてきていましたが、施設の運営形態を含め、引き続き民間への譲渡について検討を進めます。

保健施設については、健康増進施設としての機能を保全するため適正な管理を図ります。

なお、老朽化が著しく大規模な改修が求められている田沢湖保健センターについては、耐用年数までに10年以上あり、かつ補助事業による整備のため、今後の施設のあり方を含む検討を進めます。なお、老朽化が著しく、安全の確保が難しい施設については、その役割を他の施設への移転を図り、解体処分を進めます。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧角館町老人福祉センター	延床面積	668 m <sup>2</sup>
所在地	角館町雲然荒屋敷 地内	建設年（耐用年数）	昭和 42 年 1967（50 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項	平成 29 年解体済み	構造・階数	鉄筋コンクリート造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	除却	平成 29 年除却済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	和の家老いの国（田町デイサービスセンター）	延床面積	165 m <sup>2</sup>
所在地	角館町田町上丁 35-1	建設年（耐用年数）	平成 12 年 2000（24 年）
複合施設名		経過年数	20 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	譲渡検討	福祉関連機関への譲渡を検討
<p>「基本的な方針の考え方」          社会福祉に役立ててほしいという内容で寄付を受けた経緯があり、現在、社会福祉協議会の運営するデイサービスセンターとして利用されているが、本年度末で返還したい旨の状況があり、使用見込みがない場合は、福祉関連機関への譲渡を検討する。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

近接する情報センターでの利活用が可能かの検討と併せ、民間への譲渡を検討する。
--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 24 年】

基本方針を定め、実行に移す期間を 4 年としてその間は何らかの利用を行う。
---------------------------------------

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	6	6	6	建物共済
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	6	6	6	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館保健センター	延床面積	305 m <sup>2</sup>
所在地	角館町大風呂 1-1	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980（50 年）
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	平成 30 年除却済み	構造・階数	コンクリート鉄筋造 2階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	除却	平成 30 年除却済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	13	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	社会福祉課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市福祉センター	延床面積	773 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市角館町小勝田間野 54-5	建設年（耐用年数）	昭和 54 年 1979（50 年）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	※耐震化未実施	構造・階数	RC 構造 2 階建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	施設の改善・維持に莫大なコストがかかるため
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>地域福祉の中核を担っている社会福祉協議会が主に使用している。建物や設備の老朽化が進んでおり、設備更新や修繕、一部解体などに費用がかかっている。平成 30 年度に大規模な空調設備更新を実施している。社会福祉協議会への譲渡を目標に協議を進めていく。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

土地・建物を含めて仙北市社会福祉協議会への譲渡を検討する。
-------------------------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

今後 9 年で耐用年数経過となるが、空調設備更新や老朽化した外灯・車庫の解体など、施設の機能維持のための費用を投じてきた。耐用年数経過後も目標使用年数まで存続させることは十分可能である。
---

4 管理上の課題等

施設内のトイレがすべて和式トイレであるため、洋式トイレ化を要望されている。ボランティアセンターやヘルパーの研修会も実施しており、下肢に障害のある方などに不便が生じている。
---

5 管理に関する実施方針

社会福祉協議会側と譲渡に関する協議を重ね、近年中の譲渡を目指したい。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	トイレ改修工事	2,800	実施設計、工事費用 社協側にも費用負担を求めている。
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		2,800	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	273	98	154	浄化槽保守点検
運用コスト	1,345	104	104	電気料(一部)、火災保険料、アスベスト調査(H29)
修繕コスト				
その他		18,748	1,697	空調設備改修工事(H30)車庫解体工事(R1)他
(合計)	1,598	18,950	1,955	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	3	3	3	自販機設置分
【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	長寿支援課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖デイサービスセンター	延床面積	933 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖神代字野中清水 292 番地 1	建設年（耐用年数）	平成 7 年 1995 年 ( 50 年)
複合施設名	ほっとぴあ	経過年数	26 年
特記事項	※指定管理施設	構造・階数	鉄筋コンクリート 平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を必要に応じて今後も実施
「基本的な方針の考え方」 指定管理施設として令和 2 年 7 月 1 日から令和 7 年 6 月 30 日までの協定を仙北市社会福祉協議会と締結した。 今後もデイサービスセンターとしての需要が見込まれるため、存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

耐用年数の使用を目標とする。
----------------

## 4 管理上の課題等

現在のところ、特に問題はない
----------------

## 5 管理に関する実施方針

仙北市田沢湖デイサービスセンターの管理運営に関する協定書に基づき市と指定管理者双方で適正に管理する。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	5,649	5,630	5,262	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保健課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市田沢湖健康増進センター	延床面積	838 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市田沢湖生保内字浮世坂 20	建設年（耐用年数）	平成 14 年 2002 年 (50 年)
複合施設名		経過年数	18 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート (RC)

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 市の健康増進施設として、通常の維持管理を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

経過年数が 18 年であるが、今のところ大きな修繕等は不要と思われるため、通常の維持管理を実施しながら、目標使用年数を目指す。
---

4 管理上の課題等

経過年数が 18 年であるが、通常の維持管理を実施し、将来的に必要となった場合は最低限度の修繕等を行っていく。
---

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、施設内の設備点検や清掃などの維持管理を徹底しての運営を図る。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,301	1,985	2,047	
運用コスト	1,840	2,128	1,800	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	4,141	4,113	3,847	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	800	800	800	健康教室等

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	長寿支援課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖老人憩いの家 老松荘	延床面積	169 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖岡崎字内村 97-1	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1978 年 ( 22 年)
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項		構造・階数	木造 平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面・ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	廃止に向けて地元の利用者と検討（5 年以内の除却）
「基本的な方針の考え方」 現在は老人憩いの家として地元の老人クラブを中心に利用されているが、既に 40 年以上経過して建物自体が古くなっており、安全面も考慮して廃止（除却）に向け検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

平成 27 年度に畳の改修、平成 29 年に内壁・外壁の修繕、平成 30 年に漏水の修繕を行っている。 建物の老朽化により修繕しながらの維持にも限界があると考えられるため、今後 5 年を目途に廃止に向けて検討する。
--

## 4 管理上の課題等

修繕を何度か行っているが建物自体が古く、今後数年のうちに大規模な改修が必要になると考えられる。
---

## 5 管理に関する実施方針

仙北市田沢湖老人憩いの家老松荘の管理に関する覚書に基づき管理する。
-----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	131	131	139	
運用コスト	60	157	53	電気・水道等
修繕コスト	611			外壁・内壁等
その他	201			老松荘支障木伐採
(合計)	1,003	288	192	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保健課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市田沢湖保健センター	延床面積	525 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30	建設年（耐用年数）	昭和 58 年度（50 年）
複合施設名		経過年数	37 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート（RC）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ハード面は良好だが、ソフト面が良好でない施設
基本的な方針	廃止検討	耐用年数経過後廃止（除却）を検討する。
<p>「基本的な方針の考え方」                  ボイラー利用不可、配管の老朽化で上下水道使用不可などが原因で、設置目的と利用実態が乖離している状況にあり、耐用年数経過後は廃止し、除却の可能性を検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

耐用年数までは最低限の維持管理を図るが、一部改修工事（防水等工事）を優先する必要がある。
--

4 管理上の課題等

・ボイラーまわり配管等の老朽化により暖房設備が使用不可となっている。また、冬季間の対応としては、FF 式暖房機を使用しているほか、雨漏りが深刻である。このため、本来の目的を担うためには大規模改修が必要になる。
--

5 管理に関する実施方針

耐用年数までは、最低限の維持補修を行い、設置当時の機能を田沢湖健康増進センターに移管するなどを検討する。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	208	208	209	
運用コスト	71	69	31	
修繕コスト	0	197	31	雨漏り修理等
その他	0	0	0	
(合計)	279	474	271	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	20	20	20	常任委員会等

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保健課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市西木保健センター	延床面積	501 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町門屋字屋敷田 84	建設年（耐用年数）	昭和 59 年度（50 年）
複合施設名		経過年数	36 年
特記事項	避難所	構造・階数	鉄筋コンクリート（RC）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ハード面は良好だが、ソフト面が良好でない施設
基本的な方針	転用	公民館機能へ転用
「基本的な方針の考え方」 設置目的と利用実態が乖離のため、令和 3 年度よりコミュニティーセンター機能へ転用する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

目標使用年数まで 14 年であり、令和 3 年度よりコミュニティーセンター機能へ転用する。 漏水やトイレ不具合等で過去に修繕したこともあるため、現状の状態を維持して運用する。
--

4 管理上の課題等

H29 年度には漏水修繕を実施、また最近ではトイレ不具合（水が止まらない）等が度々発生しているため、水回り設備についての配慮が必要と考えられる。
--

5 管理に関する実施方針

令和 3 年度よりコミュニティーセンター機能へ転用する。目標使用年数までは、最近多いトイレ不具合等の注意をしつつ、その他必要最低限の修繕を実施する。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			※コミュニティーセンター機能へ転用
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	675	730	626	
運用コスト	1,149	1,063	1,240	
修繕コスト	542	275	16	漏水、トイレ修繕等
その他	0	0	0	
(合計)	2,366	2,068	1,882	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	400	400	400	どれみの会等

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保健課
---------	-----

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市健康管理センター	延床面積	670 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市角館町中菅沢 77-28	建設年（耐用年数）	平成 6 年度（38 年）
複合施設名		経過年数	26 年
特記事項	避難所	構造・階数	鉄骨造（S）

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 市の健診事業及び健康増進事業等の中核施設を担っている。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 38 年】

目標使用年数まで 12 年あるが、平成 30 年度及び令和元年度に屋根の改修工事を行っている。そのほか、機能維持のための修繕を実施しながら、目標使用年数を目指す。

## 4 管理上の課題等

建築されてから 26 年目の建物で、施設内で老朽化が目立ってきている。トイレの水流や換気扇、調理台の電気設備、正面玄関錠等に不具合があり、限られた予算内で優先順位を決めながら、修繕等により維持管理に努める。

## 5 管理に関する実施方針

健診や健康増進事業等に対して支障がないように施設の適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	383	387	356	
運用コスト	2,882	2,871	2,703	
修繕コスト	109	199	115	
その他	93	7,116	490	屋根改修工事等
(合計)	3,467	10,573	3,664	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,000	1,000	1,000	健診、健康増進事業等

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	にしき園
---------	------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市介護老人保健施設にしき園	延床面積	2,998.81 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字屋敷田 1 0 0	建設年（耐用年数）	平成 6 年（50 年）
複合施設名		経過年数	26 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ソフト面が良好ではない
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 適切な維持管理に努め、市直営での運営を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

検討を行ったが整わなかった。
----------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

令和元年度、2 年度に屋根防水改修工事を施工。令和 3 年度は外壁改修工事を予定している。修繕をしながら 50 年以上の使用又は存続中の使用を目標とする。
---

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備が老朽化してきており、修繕で対応してきている。</li> <li>・配水管の老朽化が原因で手洗い、水洗トイレ等水廻りの漏水が多発してきているので改修が必要である。</li> <li>・大型洗濯機、乾燥機などの高額なものは不具合をその都度修理しているが、レンタルに移行することで負担が軽くなるのではないかと検討している。介護職員の不足で現場は疲弊している。</li> </ul>
--

5 管理に関する実施方針

需要が見込まれる介護施設であり、今後の運営方針が未確定ではあるが、必要不可欠な施設であり、維持修繕や設備更新を段階的に実施する。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	屋根防水改修 2 期工事	37,262	工事費、設計等委託料
R 3	外壁改修工事	未定	工事費、設計等委託料、アスベスト除去工事
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			50年目
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,228	2,406	2,484	
運用コスト	26,220	26,277	25,323	
修繕コスト	3,811	2,173	4,359	
その他	370,658	376,041	383,413	
(合計)	402,917	406,897	415,579	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料等収入	400,317	379,797	369,979	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	35,170	33,906	32,969	令和元年度より通所サービス休止

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	にしき園
---------	------

1 施設の概要・沿革

施設名称	介護老人保健施設にしき園車庫	延床面積	100.41 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字屋敷田 100	建設年（耐用年数）	平成 6 年（31 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	
基本的な方針	存続	機能維持（にしき園療養棟と同じ）
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 31 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			31 年目
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(医療施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
国民健康保険田沢診療所・車庫	田沢湖田沢	除却	除却処分を実施
国民健康保険神代診療所	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
西明寺診療所	西木町門屋	存続	機能維持のための修繕等実施
にしき歯科クリニック	西木町門屋	存続	公設民営を継続
田沢湖歯科診療所	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

医療施設については、適切な維持管理に努め、地域の医療を担う基幹施設として存続するものとし、地域の安全・安心な医療サービスの提供が継続できるよう計画的な改築や改修を行います。  
なお、既に機能を廃止している田沢診療所については、解体します。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 30 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	国民健康保険田沢診療所・車庫	延床面積	210 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢高屋 137-1	建設年（耐用年数）	昭和 54 年 1979（24）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	令和元年度廃止	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除去に向けた検討をする。
「基本的な方針の考え方」 現在使用していない施設のため、早い段階での除却に向けた検討を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 44 年】

除却までの期間を 3 年とする。
------------------

4 管理上の課題等

無人施設（空き家状態）であり、雪下ろし、冬囲い作業のほか、火災保険等の継続加入を要する。
--

5 管理に関する実施方針

解体までは適切な管理に努める。
-----------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5	解体		
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト				
修繕コスト	—	—	—	
その他	11,000	6,800	2,553	補助金
(合計)	11,000	6,800	2,553	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 11 月 24 日

所管課（部署）	神代診療所
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	神代診療所	延床面積	449 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖神代字野中清水 292-2	建設年（耐用年数）	平成 7 年 2013 （50 年）
複合施設名	田沢湖福利医療センター	経過年数	26 年
特記事項		構造・階数	RC・1F

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	修繕しながら機能維持を実施
「基本的な方針の考え方」 神代出張所・神代診療所・デイサービス（社協）の三施設の複合施設であり、庁舎（建物）管理は神代出張所とし、引き続き存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

R2 年、待合室の天井から雨漏りし、修繕を行っている。今後も修繕しながら機能維持を目指す。
---

4 管理上の課題等

小破修繕は多少あるが、今後、老朽化が進み大規模な改修も見込まれるが、現在のところでは特に問題はない。
--

5 管理に関する実施方針

神代地域の身近な診療施設であり、地域医療の維持のため適切な維持管理を行う。
---------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	待合室天井の雨漏り修繕	462	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		462	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他	36,700	45,100	48,300	補助金
(合計)	36,700	45,100	48,300	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	6,566	6,492	6,078	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保健課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市西明寺診療所	延床面積	370 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町門屋字道目木 319-1	建設年（耐用年数）	平成 16 年度（24 年）
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項		構造・階数	木造（W・1F）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」                  市のへき地診療所として、地域医療に貢献をしている。建築されてから 16 年が経過しているが、いまのところ目立つ老朽化などは特にないため、現状の機能を維持したまま運営できるよう存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 24 年】

目標使用年数まで 8 年あるが、平成 30 年度に屋根を塗装している。その他施設の適切な維持管理を実施しながら、目標使用年数を目指す。
---

4 管理上の課題等

いまのところ目立った老朽化は無いが、万が一、施設修繕が必要となった際は、地域医療へ支障をきたさぬよう、迅速に対応する必要がある。そのほか施設の維持管理を徹底しながら、診療所を運営する。
--

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、施設内設備の維持管理を徹底しながら、地域医療を継続して行える環境を維持する。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	488	468	473	
運用コスト	9,512	10,248	9,392	
修繕コスト	0	552	942	引込計器盤取替等
その他	0	0	0	
(合計)	10,000	11,268	10,807	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	13,000	13,000	13,000	診療

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保健課
---------	-----

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	にしき歯科クリニック	延床面積	203 ㎡
所在地	仙北市西木町門屋字道目木 319-1	建設年（耐用年数）	平成 16 年度（24 年）
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項	公設民営（全部貸付）	構造・階数	木造（W）

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	公設民営による運営を継続
「基本的な方針の考え方」 公設民営としての運営を継続する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 24 年】

公設民営の建物として、目標使用年数を目指して運営。
---------------------------

## 4 管理上の課題等

いまのところ目立った老朽化は無し。
-------------------

## 5 管理に関する実施方針

公設民営の建物として、目標使用年数を目指して運営。
---------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保健課
---------	-----

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市田沢湖歯科診療所	延床面積	152 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市田沢湖生保内字浮世坂 20	建設年（耐用年数）	平成 14 年度（50 年）
複合施設名	市立田沢湖病院	経過年数	18 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート (RC・1F)

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 市の歯科診療施設として、適切な維持管理を実施する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

公設民営化の可能性について検討を行う。
---------------------

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

経過年数が 18 年であるが、今のところ大きな修繕等は不要と思われるため、適切な維持管理を実施しながら、目標使用年数を目指す。
---

## 4 管理上の課題等

経過年数が 18 年であるが、適切な維持機能に努め、大きな問題はないが待合室の狭隘などで十分な感染予防が難しい状況にある。
---

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、施設内の設備点検や清掃などの維持管理を徹底しての運営を図る。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	351	299	310	
運用コスト	5,082	4,775	5,667	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	5,433	5,074	5,977	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	6,000	6,000	6,000	歯科診療

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(ごみ・し尿処理施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
環境保全センター	角館町菌田	譲渡	広域組合へ譲渡済み
汚泥再生処理センター	角館町菌田	譲渡	広域組合へ譲渡済み
角館一般廃棄物最終処分場	角館町	譲渡	広域組合へ譲渡済み
田沢湖一般廃棄物最終処分場	田沢湖生保内	譲渡	広域組合へ譲渡済み
西木一般廃棄物最終処分場	西木町	譲渡	広域組合へ譲渡済み

3. 施設管理に関する基本的な方針

譲渡後は、広域組合管理となり、一元的な運営管理が行われる。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市民生活課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	環境保全センター	延床面積	6,254 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市角館町藪田	建設年（耐用年数）	（ 年）
複合施設名		経過年数	年
特記事項		構造・階数	

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	大規模な改修によりハード・ソフトとも良好
基本的な方針	譲渡	広域組合へ譲渡
「基本的な方針の考え方」 広域組合での管理運営とする。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	436,688	1,125,375		

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市民生活課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	汚泥再生処理センター	延床面積	2,817 m <sup>2</sup>
所在地	角館町菌田	建設年（耐用年数）	（ 年）
複合施設名		経過年数	年
特記事項		構造・階数	

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	良好
基本的な方針	譲渡	広域組合へ譲渡
「基本的な方針の考え方」 広域組合での運営管理とする。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	159,968	172,353		

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市民生活課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館一般廃棄物最終処分場	延床面積	1,057 m <sup>2</sup>
所在地	角館町	建設年（耐用年数）	（ 年）
複合施設名		経過年数	年
特記事項		構造・階数	

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	良好
基本的な方針	譲渡	広域組合へ譲渡
「基本的な方針の考え方」 広域組合での管理運営とする。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	151,880	160,287		3 地区合計

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市民生活課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖一般廃棄物最終処分場	延床面積	450 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内	建設年（耐用年数）	（ 年）
複合施設名		経過年数	年
特記事項		構造・階数	

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	良好
基本的な方針	譲渡	広域組合へ譲渡
「基本的な方針の考え方」 広域組合での運営管理とする。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市民生活課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木一般廃棄物最終処分場	延床面積	779 m <sup>2</sup>
所在地	西木町	建設年（耐用年数）	（ 年）
複合施設名		経過年数	年
特記事項		構造・階数	

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	良好
基本的な方針	譲渡	広域組合へ譲渡
「基本的な方針の考え方」 広域組合での運営管理とする。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画

「個別施設計画」(農業施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
大覚野牧場(家畜衛生舎)	西木町上桧木内	廃止・縮小	事業規模の推移による方針検討
大覚野牧場(家畜避難舎)	西木町上桧木内	廃止・縮小	事業規模の推移による方針検討
大覚野牧場(乾燥舎)	西木町上桧木内	廃止・縮小	事業規模の推移による方針検討
大覚野牧場(格納庫)	西木町上桧木内	廃止・縮小	事業規模の推移による方針検討
大覚野牧場管理棟格納庫事務所	西木町上桧木内	廃止・縮小	事業規模の推移による方針検討
大覚野牧場(機械格納庫)	西木町上桧木内	廃止・縮小	事業規模の推移による方針検討
仙北市堆肥センター管理棟	西木町小山田	存続	機能維持のための修繕等実施
仙北市堆肥センター処理棟	西木町小山田	存続	機能維持のための修繕等実施
仙北市堆肥センター脱臭棟	西木町小山田	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

大覚野牧場は、長く畜産振興の重責を担ってきていますが、畜産農家・飼育頭数の減少傾向が続いている状況にあり、事業の在り方と合わせ、事業の廃止や規模縮小などについて、中長期的視点からの検討を進めます。

堆肥センターは、家畜排泄物処理の負担軽減、畜産環境の整備、良質な堆肥生産のための拠点施設であり、施設運営も良好であることから、適切な維持管理を行い存続させるものとします。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	大覚野牧場家畜衛生舎	延床面積	136 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字坂本 389-1	建設年（耐用年数）	S46 1971（15年）
複合施設名	市営大覚野牧場	経過年数	46年
特記事項		構造・階数	木造・平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	耐用年数を経過し老朽化
基本的な方針	廃止・縮小検討	事業規模の推移により方向性検討
「基本的な方針の考え方」 畜産農家・頭数の減少傾向が続き、事業の在り方と併せ、事業の廃止・規模縮小について検討を進める。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 56 年】

国事業を活用した草地整備計画（R3～R6）が進行していることを踏まえ、今後 10 年以上使用することを目標として管理運営を継続していく。

## 4 管理上の課題等

耐用年数を経過し老朽化が進んでいるため、著しい劣化が生じた際には、最低限の維持管理上の修繕等が必要となる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根破損部補修		R 3 当初予算のため見積徴収
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	大覚野牧場家畜避難舎	延床面積	152 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字坂本 389-1	建設年（耐用年数）	S48 1973（31 年）
複合施設名	市営大覚野牧場	経過年数	44 年
特記事項		構造・階数	鉄骨・平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	耐用年数を経過し老朽化
基本的な方針	廃止・縮小検討	事業規模の推移により方向性検討
「基本的な方針の考え方」 畜産農家・頭数の減少が続く、事業の在り方と併せ、事業の廃止・規模縮小について検討を進める。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 54 年】

国事業を活用した草地整備計画（R3～R6）が進行していることを踏まえ、今後 10 年以上使用することを目標として管理運営を継続していく。

## 4 管理上の課題等

耐用年数を経過し老朽化が進んでいるため、著しい劣化が生じた際には、最低限の維持管理上の修繕等が必要となる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	大覚野牧場乾燥舎	延床面積	76 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字坂本 389-1	建設年（耐用年数）	S46 1971（15年）
複合施設名	市営大覚野牧場	経過年数	46年
特記事項		構造・階数	木造・平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	耐用年数を経過し老朽化
基本的な方針	廃止・縮小検討	事業規模の推移により方向性検討
「基本的な方針の考え方」 畜産農家・頭数の減少傾向が続き、事業の在り方と併せ、事業の廃止・規模縮小について検討を進める。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 56 年】

国事業を活用した草地整備計画（R3～R6）が進行していることを踏まえ、今後10年以上使用することを目標として管理運営を継続していく。

## 4 管理上の課題等

耐用年数を経過し老朽化が進んでいるため、著しい劣化が生じた際には、最低限の維持管理上の修繕等が必要となる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根塗装		R 3 当初予算のため見積徴収
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	大覚野牧場格納庫	延床面積	79 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字坂本 389-222	建設年（耐用年数）	S56 1981（15年）
複合施設名	市営大覚野牧場	経過年数	36年
特記事項		構造・階数	木造・平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	耐用年数を経過し老朽化
基本的な方針	廃止・縮小検討	事業規模の推移により方向性検討
「基本的な方針の考え方」 畜産農家・頭数の減少傾向が続き、事業の在り方と併せ、事業の廃止・規模縮小について検討を進める。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 46年】

国事業を活用した草地整備計画（R3～R6）が進行していることを踏まえ、今後 10 年以上使用することを目標として管理運営を継続していく。

## 4 管理上の課題等

耐用年数を経過し老朽化が進んでいるため、著しい劣化が生じた際には、最低限の維持管理上の修繕等が必要となる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	大覚野牧場管理棟格納庫事務所	延床面積	104 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字坂本 389-222	建設年（耐用年数）	H10 1998（24 年）
複合施設名	市営大覚野牧場	経過年数	20 年
特記事項		構造・階数	木造・二階建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	耐用年数経過前
基本的な方針	廃止・縮小検討	事業規模の推移により方向性検討
「基本的な方針の考え方」 畜産農家・頭数の減少傾向が続き、事業の在り方と併せ、事業の廃止・規模縮小について検討を進める。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

国事業を活用した草地整備計画（R3～R6）が進行していることを踏まえ、今後 10 年以上使用することを目標として管理運営を継続していく。

## 4 管理上の課題等

施設そのものは耐用年数経過前であるためハード面は良好な状態であるが、今後老朽化が進んだ際には維持管理上の修繕等が必要となる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	7,399 円	6,563 円	6,709 円	
修繕コスト				
その他				
(合計)	7,399 円	6,563 円	6,709 円	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	4,512 円	3,824 円	3,458 円	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
放牧頭数	116 頭	107 頭	86 頭	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	大覚野牧場機械格納庫	延床面積	48 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字坂本 389-222	建設年（耐用年数）	H16 2004（31年）
複合施設名	市営大覚野牧場	経過年数	13年
特記事項		構造・階数	鉄骨・平屋建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	耐用年数経過前
基本的な方針	廃止・縮小検討	事業規模の推移により方向性検討
「基本的な方針の考え方」 畜産農家・頭数の減少傾向が続き、事業の在り方と併せ、事業の廃止・規模縮小について検討を進める。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 31 年】

国事業を活用した草地整備計画（R3～R6）が進行していることを踏まえ、今後 10 年以上使用することを目標として管理運営を継続していく。

## 4 管理上の課題等

施設そのものは耐用年数経過前であるためハード面は良好な状態であるが、今後老朽化が進んだ際には維持管理上の修繕等が必要となる。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市堆肥センター 管理棟	延床面積	20.66 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町小山田字高野 94-9	建設年（耐用年数）	H29 2017 年（24 年）
複合施設名		経過年数	3 年
特記事項		構造・階数	木造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	現在、修繕の必要なし、機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」  仙北市の畜産環境を整備するするための付帯施設となっている。  畜産農家の家畜排泄物処理の負担軽減、畜産環境の整備、良質な堆肥生産を行っているため、今後軽度の修繕を実施しながら存続させる。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

仙北市に類似施設がない。

## ※ 公民連携の検討について

## ※ 民間等への譲渡の検討について

堆肥センターの利用状況を見極めながら、直営・指定管理を検討。

## ※ 国・県協働の検討について

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 31 年】

仙北市堆肥センター 処理棟・脱臭棟の付帯施設のため、脱臭棟の耐用年数 31 年を目標使用年数とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

## 4 管理上の課題等

建築後、間もないため、大規模修繕は不要。耐用年数経過後は、状況を踏まえ修繕を検討。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、暖房設備更新、冷房設備更新、必要最低限の修繕等を実施し、適切な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市堆肥センター 処理棟	延床面積	2,804.76 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町小山田字高野 94-9	建設年（耐用年数）	H30 2018 年（15 年）
複合施設名		経過年数	2 年
特記事項		構造・階数	木造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のため修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」  仙北市の畜産環境を整備するするための施設となっている。  畜産農家の家畜排泄物処理の負担軽減、畜産環境の整備、良質な堆肥生産を行っており、現状の設備を修繕を実施しながら存続させる。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

仙北市に類似施設がない。

## ※ 公民連携の検討について

## ※ 民間等への譲渡の検討について

堆肥センターの利用状況を見極めながら、直営・指定管理を検討。

## ※ 国・県協働の検討について

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 31 年】

仙北市堆肥センター 脱臭棟 一体化施設のため、脱臭棟の耐用年数 31 年を目標使用年数とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

## 4 管理上の課題等

機械に対し、劣悪な環境（粉塵の飛散等）であることから、機械の突発的な故障が想定されること。

## 5 管理に関する実施方針

各設備の定期修繕、突発的な故障の修繕の実施。  
施設の老朽化に対応するための予防修繕の実施。

## 6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	209	275	H30 より稼働
運用コスト	1,248	9,294	9,444	人件費含む
修繕コスト	—	260	—	
その他	—	—	—	
(合計)	1,248	9,763	9,719	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
堆肥販売	—	433	2,946	
散布手数料	—	—	77	
使用料	—	530	587	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
延堆肥購入者	—	32	230	
畜産農家	—	10	9	

## 【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市堆肥センター 脱臭棟	延床面積	173.8 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町小山田字高野 94-9	建設年（耐用年数）	H30 2018 年（31 年）
複合施設名		経過年数	3 年
特記事項		構造・階数	S 造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	現在、修繕の必要なし、機能維持
「基本的な方針の考え方」 仙北市の畜産環境を整備するするための付帯施設となっている。 畜産農家の家畜排泄物処理の負担軽減、畜産環境の整備、良質な堆肥生産を行っているため、今後軽度の修繕を実施しながら存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

仙北市に類似施設がない。

## ※ 公民連携の検討について

## ※ 民間等への譲渡の検討について

堆肥センターの利用状況を見極めながら、直営・指定管理を検討。

## ※ 国・県協働の検討について

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 31 年】

仙北市堆肥センター 脱臭棟の耐用年数 31 年を目標使用年数とする。  
目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

## 4 管理上の課題等

建築後、間もないため、大規模修繕は不要。耐用年数経過後は、状況を踏まえ修繕を検討。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適切な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(産業施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
角館中心市街地活性化センター	角館町上新町	廃止検討	10年後除却方針について協議継続
田沢湖活性化センター	田沢湖田沢	廃止検討	機能移転後、除却を検討
西木農林水産物直売食材供給施設「むらっこ物産館」	西木町西明寺	譲渡検討	運営形態を民間団体との協議を実施
林業総合センター	西木町桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
活性化施設「かたくり館」	西木町小山田	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

「むらっこ物産館」については、地域活性化と農家所得向上のための施設であり、適切な維持管理に努める一方、施設運営については、民間団体等への譲渡について検討します。

補助事業による整備施設や継続した施設利用のある施設については、適切な維持補修を図ることとし、老朽化が著しく大規模な改修の必要が見込まれる施設については、耐用年数や利用団体との調整を行い、他施設への機能移転を含む検討を行い、将来的には解体を進めます。

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 14 日

所管課（部署）	商 工 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館町中心市街地活性化支援センター	延床面積	485 m <sup>2</sup>
所在地	角館町上新町 43-1	建設年（耐用年数）	昭和 52 年（50 年）
複合施設名		経過年数	43 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハート面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	廃止検討	10 年後除却

「基本的な方針の考え方」  
 中心市街地活性化を図り市民の利便性を図るための施設として、国補助事業を活用して設置。施設管理は指定管理者制度を適用し、仙北市商工会が行っている。  
 コロナ禍により同センターを訪れ経営相談や申請書類調製などの需要が多くなり、施設利用頻度と施設の存在意義は高いが、建築経過年数及び耐用年数を考慮し具体的方針を 10 年後除却とし、目標使用年数については指定管理団体と十分な協議のうえ設定するものとする。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 53 年】

仙北市商工会との協議のうえ、目標使用年数を設定する必要あり。
--------------------------------

4 管理上の課題等

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根修繕が喫緊の課題。</li> <li>・トイレは現在和式のため、洋式化の要望を受けている。</li> </ul> |
|--|

5 管理に関する実施方針

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要最小限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。</li> </ul> |
|--|

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	交流ホール内仮設事務スペース設置	4,686	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		4,686	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	4	4	5	
修繕コスト	73	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	77	4	5	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	232	115	64	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	2,800	1,807	1,057	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	田沢出張所
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖活性化センター	延床面積	2,303 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字高屋 166-5	建設年（耐用年数）	昭和 59 年 1984（47 年）
複合施設名		経過年数	36 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート+鉄骨 3 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	廃止検討	機能を他施設への移転について検討を進める
「基本的な方針の考え方」 利用団体と協議しながら、現在の機能を他施設【田沢交流センター】へ移行し、廃止とする。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

機能維持の修繕を実施しながら 50 年（今後 14 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、廃止に向けた検討を進める。
--

## 4 管理上の課題等

施設の機能維持には、大規模改修費が必要になる。
-------------------------

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	127	131	132	
運用コスト	668	794	584	
修繕コスト				
その他				
(合計)	795	925	716	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	244	行政財産使用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木農林水産物直売食材供給施設 「むらっこ物産館」	延床面積	198 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字瀧尻 119	建設年（耐用年数）	H12 2000（24 年）
複合施設名		経過年数	20 年
特記事項		構造・階数	木造・1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	譲渡検討	運営形態検討を継続
<p>「基本的な方針の考え方」                  地域の活性化、農家の所得向上につながる施設であることから、適切な機能維持に努めるものとし、運営形態については民間団体等への譲渡も含む検討を進める。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

適切な運営を進めながら、民間等へ譲渡の可能性について検討する。
---------------------------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

補助事業で建設していることや、建物の現状から耐用年数以上は使用する。目標使用年数経過後も機能維持に努める。
---

4 管理上の課題等

木造建築で傷みもみられ、計画的な補修等が求められている。
------------------------------

5 管理に関する実施方針

指定管理協定書に基づき、適切な管理を行う。
-----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	17	17	17	
運用コスト	1,548	1,667	1,577	
修繕コスト	1,365	4	80	
その他	0	0	0	
(合計)	2,930	1,688	1,674	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	411	411	411	施設利用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	105,732	101,691	102,813	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	西木林業総合センター	延床面積	257 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桧木内字松葉 232	建設年（耐用年数）	H13 2001（22 年）
複合施設名	桧木内診療所	経過年数	19 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	木造 2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ハード面は良好だが、ソフト面が良好でない施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 週に 1 度、施設の一部を桧木内診療所として開放している。 耐用年数が近づいているため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 29 年】

耐用年数まで 3 年残っている。施設の状態を確認しながら、修繕を行い存続させる。
--

## 4 管理上の課題等

冷暖房設備が不調のため、使用頻度の高い 1 階の設備のみ更新している。2 階は利用状況を考慮しながら更新時期を検討する。
--

## 5 管理に関する実施方針

診療所の機能を維持するため、1 階の設備更新を最優先で行う。
--------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	189	22	22	
運用コスト	457	451	517	
修繕コスト	25	108		
その他				
(合計)	671	581	539	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	1	1	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	20	15	0	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市活性化施設「かたくり館」	延床面積	438 m <sup>2</sup>
所在地	西木町小山田字八津 249-1	建設年（耐用年数）	H18 2006（22 年）
複合施設名		経過年数	15 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	木造 1 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  当施設は春のかたくり、秋の西明寺栗シーズンにおける観光の中核施設である。                  管理自体も指定管理による民間委託となっているため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

耐用年数まで 7 年残っている。施設の状態を確認しながら、修繕等を行い存続させる。
---

4 管理上の課題等

外壁の老朽化が顕著となってきている。計画的な修繕を検討する。
--------------------------------

5 管理に関する実施方針

観光の中核施設として、適正な維持管理を続けていく。
---------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他	3,100	3,100	3,211	指定管理料
(合計)	3,100	3,100	3,211	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	
【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	23,516	25,704	22,129	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(観光・レクリエーション施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
観光情報センター角館駅前蔵	角館町上菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
憩いの湯角館スタシオン	角館町上菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
駅前ポケットパーク	角館町上菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
角館町西宮家	角館町田町上丁	存続	機能維持のための修繕等実施
角館森林総合利用施設総合案内センター休憩所ほか	角館町西長野	存続	機能維持のための修繕等実施
花葉館	角館町西長野	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖観光情報センター「フォレイク」	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
市民浴場東風の湯	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
自然ふれあい温泉館	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
工房の館	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
縄文の森交流広場コテージ	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖畔管理事務所	田沢湖田沢	廃止検討	他施設への機能移転検討、除却
田沢湖畔管理事務所倉庫	田沢湖田沢	廃止検討	他施設への機能移転検討、除却
田沢湖畔キャンプ場管理棟	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖キャンプ場バンガローほか(12棟)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
総合交流ターミナル施設店舗(ハートハーブ・ハーブ館)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
総合交流ターミナル施設店舗(ハートハーブ・グラスハウス)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢交流センター(プール)	田沢湖田沢	除却	除却に向けた検討実施
田沢交流センター(プール専用更衣室)	田沢湖田沢	除却	除却に向けた検討実施

西木温泉ふれあいプラザクリ オン	西木町門屋	存続	機能維持のための修繕等実施
紙風船館	西木町上桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
かたまえ山森林公園管理事 務所ほか	西木町西明寺	存続	機能維持のための修繕等実施
かたまえ山森林公園コテージ (9棟)	西木町西明寺	存続	機能維持のための修繕等実施
かたまえ山森林公園バンガロ ー(6棟)	西木町西明寺	存続	機能維持のための修繕等実施
西木森林学習交流館(森の学 校)	西木町西明寺	存続	機能維持のための修繕等実施
思い出の潟分校	田沢湖潟	存続	機能維持のための修繕等実施

### 3. 施設管理に関する基本的な方針

レクリエーション施設・観光施設は、観光産業を担う重要な施設であり、時代のニーズに沿った施設機能の充実を図り、適切な維持管理に努めます。

なお、少子化・人口減少などから、今後、利用頻度が見込まれない老朽施設については、他施設への機能移転を検討するほか廃止に向けた調整を進めます。

温泉施設については、大規模な改修を行うなど計画的な維持補修を行い、施設の長期利用に努めます。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	観光情報センター角館駅前蔵	延床面積	282 ㎡
所在地	角館町上菅沢 397 番 2	建設年（耐用年数）	平成 8 年 1996（22 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面では良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のため修繕を検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  市の玄関口の 1 つとして、角館駅前にある施設となっている。                  令和元年度は女子トイレの洋式化改修工事を実施しており、観光案内の拠点として、継続的な維持管理に取組み存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

耐用年数を過ぎており、維持管理に苦慮しているところである。 継続的な維持管理とともに、修繕や改修を検討する必要がある。
--

4 管理上の課題等

自動ドアが耐用年数を超えており、故障した場合には部品の手配が困難である。
--------------------------------------

5 管理に関する実施方針

設備の総合的な修繕や改修を検討する必要がある。
-------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	9,297	9,379	9,798	
修繕コスト	740	551		
その他	5,141	2,521	1,517	R1 トイレ洋式化 改修工事
(合計)	15,178	12,451	11,315	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	40,536	44,652	33,042	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	憩いの場角館スタシオン	延床面積	132 m <sup>2</sup>
所在地	角館町上菅沢 394 番 2	建設年（耐用年数）	平成 9 年 1997（22 年）
複合施設名		経過年数	23 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面では良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のため修繕を検討
「基本的な方針の考え方」 市の玄関口の 1 つとして、角館駅前にある施設となっている。 内陸縦貫鉄道 角館駅の付近に位置する休憩所として、維持管理継続的に取組み存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 34 年】

耐用年数が後 1 年迫る状況であり、継続的維持管理はもちろんのこと、修繕計画の策定も視野に入れなければならない
---

4 管理上の課題等

西日が差し込み、温度上昇が激しいためブラインド等の設置を検討課題とする 冬期は、隙間風が酷くサッシの更新も課題とする
---

5 管理に関する実施方針

上記問題に対応し、適正な維持管理に努める。
-----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				駅前蔵経費に含む
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				駅前蔵経費に含む

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				駅前蔵経費に含む

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	駅前ポケットパーク	延床面積	110 m <sup>2</sup>
所在地	角館町上菅沢 394 番 2	建設年（耐用年数）	平成 9 年 1997（22 年）
複合施設名		経過年数	23 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面では良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のため修繕を検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  市の玄関口の 1 つとして、角館駅横にある施設となっている。                  内陸縦貫鉄道及び JR 東日本の角館駅付近に位置する公衆トイレとして、維持管理継続的に組み存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

耐用年数が後 1 年迫る状況であり、継続的維持管理はもちろんのこと、修繕計画の策定も視野に入れなければならない
---

4 管理上の課題等

特に、観光シーズンの施設内の清掃に相当の気遣いを要する。
------------------------------

5 管理に関する実施方針

角館駅乗降客及び市内観光を目的とする観光客の利便性の確保を目的に、清潔さを保ち、文化と歴史の美しいまちというイメージを大切に維持管理を行う。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				駅前蔵経費に含む
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				駅前蔵経費に含む

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				駅前蔵経費に含む

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	商工課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館西宮家	延床面積	1,045 m <sup>2</sup>
所在地	角館町田町上丁 11	建設年（耐用年数）	平成 10 年 1998（24 年）
複合施設名		経過年数	22 年
特記事項		構造・階数	木造・1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハート面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	屋根修繕を要検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  商業振興と角館外町地区の活性化を図るための中心施設として設置。                  施設管理は指定管理者制度を適用し、(株)西宮家が行っている。                  施設の一部を J R 東日本秋田支社に貸付し、借主がホテル営業中。当面修繕しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

<p>市街における重要拠点施設であり、指定管理者と協議しながら、50 年（今後 28 年）程度を目標に、引き続き現在の役割を継続する。</p>
---

4 管理上の課題等

<p>古民家的な風情のある建物である一方、小破修繕を要する機会が増えてきている現状がある。</p>
---

5 管理に関する実施方針

<p>必要最小限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。</p>
----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	維持管理費、指定管理料
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	5,427	5,427	5,515	指定管理料
(合計)	5,427	5,427	5,515	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	61,522	60,247	54,190	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館森林総合利用施設総合案内センター休息所ほか	延床面積	192 m <sup>2</sup>
所在地	角館町西長野古米沢 367-2	建設年（耐用年数）	H2 1990（24 年）
複合施設名		経過年数	31 年
特記事項		構造・階数	木造平屋建て 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕等を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  施設の利用者は、主に隣接しているグランドゴルフ場の利用者となっているが、使用頻度が高く施設を良好な状態に保つため、今後も修繕等を行い存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 36 年】

耐用年数より 7 年経過しているが、修繕等を行いながら 36 年（今後 5 年）以上の使用を目標とし、目標使用年数経過後は存続について再検討する。
---

4 管理上の課題等

耐用年数から数年経過しており、今後も修繕等が発生することが考えられる。
-------------------------------------

5 管理に関する実施方針

施設の状態を維持することにより、隣接するグランドゴルフ場や花葉館の利用量が維持されることにつながるため、適正な管理を続けていく。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	女子トイレ改修	1,250	設計、工事
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			※36年目
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,250	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	14	14	10	建物共済
修繕コスト				
その他	2,200			屋根塗装
(合計)	2,214	14	10	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	6,967 人	6,542 人	6,867 人	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	花葉館	延床面積	4,281 ㎡
所在地	角館町西長野古米沢 30-19	建設年（耐用年数）	H8 1996（47 年）
複合施設名		経過年数	25 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 一部 2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕等を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  温泉がある宿泊施設は、観光産業を土台とする仙北市において重要な施設である。                  設備的な観点から、利用者に不満を与えぬよう施設を良好な状態に保つため、今後も修繕等を行い存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

耐用年数まで 22 年残っている。耐用年数の使用を目標とし、修繕等を行いながら存続させる。
---

4 管理上の課題等

建築から 25 年経過してることで設備等が老朽化してきており、交換・更新等を必要とするものが増加している。今後も修繕等が発生することが大いに考えられるため、計画的な交換・更新等の検討を続ける。
--

5 管理に関する実施方針

施設や設備の状態を維持することにより、利用量の低下を防ぎ、維持・増加されることにつながるため適正な管理を続けていく。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	屋根塗装、高圧電気機器更新 等	16,546	設計、工事 済予定
R 3	屋根塗装、ポンプ入替 等	18,300	設計、工事
R 4	システム更新、ポンプ修繕 等	16,000	設計、工事
R 5	新源泉調査測量設計 等	7,000	調査測量設計
R 6	新源泉削井工事 等	125,000	工事
R 7	源泉改修工事 等	16,000	工事
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		198, 846	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	15,552	15,552	15,840	指定管理料
(合計)	15,552	15,552	15,840	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	126,097 人	136,663 人	134,426 人	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖観光情報センター 「フォレイク」	延床面積	992 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字男坂 68 番	建設年（耐用年数）	平成 8 年 1996（50 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設
基本的な方針	存続	令和 2 年度トイレ洋式化改修工事実施・トイレ前廊下床張替
「基本的な方針の考え方」 田沢湖駅内にある観光案内所となっている。 令和 2 年度にトイレ洋式化改修工事やトイレ前廊下床張替工事を行うことでハード面の改善が進む。今後も継続的に維持管理に努める。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

耐用年数が 2 年に迫る状況だが、令和 2 年度に改修が進んだため、今後も継続的に維持修繕を図る
--

4 管理上の課題等

竜巻発生器の不調
----------

5 管理に関する実施方針

観光基幹施設として、適正な維持管理に努める
-----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	トイレ洋式化ほか	2,283	改修工事
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		2,283	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	16,900	16,900	17,213	指定管理料
(合計)	16,900	16,900	17,213	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	53,801	46,110	64,304	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保健課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市民浴場「東風の湯」	延床面積	441 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市田沢湖生保内字武蔵野 111-8	建設年（耐用年数）	平成 12 年 2000（22 年）
複合施設名		経過年数	20 年
特記事項	指定管理	構造・階数	木造（W・1F）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	
<p>「基本的な方針の考え方」                  市の指定管理施設として、市民浴場の役割を担っている。                  建築してから 20 年目であり、施設の仕様からも設備の故障・不具合が多いため、限られた予算で、優先順位を決めて修繕等対応する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

<p>耐用年数まで 2 年であり、温泉施設でもあることから設備の故障・不具合が多い。                  機能維持の修繕を実施しながら、建設時の市民の健康維持に努め、目標使用年数を目指す。</p>
---

4 管理上の課題等

<p>令和元年度は外部給水管の破損復旧修繕、令和 2 年度は温泉揚湯ポンプ・空調設備交換工事を実施しており、小規模な修繕から、大規模な工事まで行っている。設備の不具合が多いため、限られた予算で、優先順位を決めて修繕等を行い、施設を運用する。</p>
--

5 管理に関する実施方針

<p>目標使用年数までは、施設内の設備点検、設備不具合などの修繕、場合によっては大規模改修などを行い、市民の健康維持施設としての機能を維持する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	・温泉揚湯ポンプ交換工事 ・空調設備交換工事 ・三方弁交換修繕	1,140 1,260 50	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		2,450	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	12,343	12,343	12,571	指定管理料
(合計)	12,343	12,343	12,571	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	40,000	38,000	39,000	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	自然ふれあい温泉館	延床面積	634 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字上菅沢 2-16	建設年（耐用年数）	平成 18 年 2006（22 年）
複合施設名	火山防災ステーション・駒ヶ岳 情報センター	経過年数	14 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面では良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能改善のため改修を検討
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>秋田駒ヶ岳麓に位置する温泉施設であり、駒ヶ岳バス路線の発着場所であるほか、火山防災ステーション・駒ヶ岳情報センターとの複合施設で、近年、登山客が増加するなど、この地域の拠点施設であることから、適切な管理のもと引き続き利用者の利便性の向上に努める。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 22 年】

<p>当面、耐用年数までを目標に維持管理に努めるほか、以降については、計画的な維持補修に努め、利用者への確かな情報と併せ、快適な時間を過ごせる施設運営を実施する。</p>
---

4 管理上の課題等

<p>内風呂が木質のため、床等のぬめりが落ちにくく、維持管理に苦慮している。</p>
--

5 管理に関する実施方針

<p>複合施設の役割を引き続き担うため適切な維持管理を行うほか、快適な時間を過ごすため内風呂等を改修し、適正な維持管理を図る。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	床張替	999	脱衣所床張替工事
R 3	内風呂更新	12,000	内風呂改修工事
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		12,999	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他	1,381	1,381	1,407	指定管理料
(合計)	1,381	1,381	1,407	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	16,874	16,336	17,134	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	工房の館	延床面積	132 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字潟前 地内	建設年（耐用年数）	平成16年 2004（15年）
複合施設名		経過年数	16年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1階

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 田沢湖地区のレジャー施設として、縄文の森交流広場に隣接する施設となっている。 令和3年度から指定管理者更新のため利用計画を見直し、利活用の可能性を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 20年】

田沢湖地区のレジャー施設として、縄文の森交流広場に密接に関連する施設であり、メイン施設と併せた施設運営を行う。
---

4 管理上の課題等

施設管理上の課題等は特にない。
-----------------

5 管理に関する実施方針

縄文の森交流広場と周辺施設との連携を図り、利活用の向上を図る。
---------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	6	6	6	
修繕コスト				
その他				
(合計)	6	6	6	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				統計なし

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	縄文の森交流広場コテージ	延床面積	85 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字潟前 63 番 2	建設年（耐用年数）	平成 16 年 2004（17 年）
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設
基本的な方針	存続	外壁の改修を計画
<p>「基本的な方針の考え方」                  田沢湖地区のレジャー施設として、県営田沢湖オートキャンプ場に隣接する施設となっている。ハード面、ソフト面ともに良好であることから、適切な維持管理を継続的に取り組む。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

田沢湖畔観光拠点エリアの一角を担う施設であり、適切な維持管理に努める。
-------------------------------------

4 管理上の課題等

外壁の塗装に傷み痛みが見られる
-----------------

5 管理に関する実施方針

木造施設であり早い段階で塗装等の対応をし、適正な維持管理に努める。
-----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	6,842	6,277	7,248	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖畔管理事務所	延床面積	93 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字春山 150 番 1	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（24 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設
基本的な方針	廃止検討	他施設への機能移転検討
「基本的な方針の考え方」 機能移転のための備品の整理や他部署との調整を行い廃止（除却）に向けた作業を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 44 年】

5 年を目途に廃止への可能性と機能移転施設について検討する。
--------------------------------

4 管理上の課題等

特に問題はない。
----------

5 管理に関する実施方針

維持管理に問題はなく、当面は現在の機能を維持し、併せて他施設への機能移転を模索する。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	9	9	9	火災保険料
修繕コスト				
その他				
(合計)	9	9	9	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖畔管理事務所倉庫	延床面積	53 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字春山 150 番 1	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（15 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設
基本的な方針	廃止検討	他施設への機能移転検討
「基本的な方針の考え方」 機能移転のための備品の整理や他部署との調整を行い廃止（除却）に向けた作業を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 44 年】

5 年を目途に廃止への可能性と機能移転施設について検討する。
--------------------------------

4 管理上の課題等

特に問題はない。
----------

5 管理に関する実施方針

維持管理に問題はなく、当面は現在の機能を維持し、併せて他施設への機能移転を模索する。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1	1	1	火災保険料
修繕コスト				
その他				
(合計)	1	1	1	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖キャンプ場管理棟ほか	延床面積	180 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字春山 150 番 1	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（20 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	炊事場改修工事やトイレの新設を計画、機能維持
「基本的な方針の考え方」 田沢湖地区のレジャー施設として、中心的な施設となっている。 屋根等の劣化が著しいことから、改修をしながら継続的な維持管理に努める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

耐用年数を超えているため、劣化の経過を観察する必要がある
------------------------------

4 管理上の課題等

屋根の劣化が著しく、吹き替え等の改修をしなければ躯体にも影響を与えてしまう。
--

5 管理に関する実施方針

令和 3 年度の当初予算に計上予定しており、継続的で適正な維持管理に努める
---------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根改修ほか	30,000	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		30,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	1,708	1,708	1,740	指定管理料
(合計)	1,708	1,708	1,740	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	3,826	6,277	7,248	

【個別票】

更新日：令和 2 年 11 月 16 日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖キャンプ場バンガローほか（12 棟）	延床面積	260 ㎡
所在地	田沢湖田沢字春山 150 番 1	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（20 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	屋根塗装工事を計画
「基本的な方針の考え方」 田沢湖地区のレジャー施設として、中心的な施設となっている。 屋根等の劣化が著しいことから、改修をしながら継続的な維持管理に努める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

耐用年数を超えているため、劣化の経過を観察する必要がある
------------------------------

4 管理上の課題等

屋根の劣化が著しく、吹き替え等の改修をしなければ躯体にも影響を与えてしまう。
--

5 管理に関する実施方針

令和 3 年度の当初予算に屋根改修費を計上予定しており、継続的で適正な維持管理に努める
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根改修ほか	30,000	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		30, 000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				管理棟ほか経費に含む
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				管理棟ほか収入に含む

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				管理棟ほか収入に含む

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	総合交流ターミナル施設 (ハート・ハーブ館)	延床面積	1,782 ㎡
所在地	仙北市田沢湖田沢字瀧前 78	建設年(耐用年数)	H9 1997 (38 年)
複合施設名		経過年数	23 年
特記事項		構造・階数	鉄筋構造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  地域の自然農業体験及び農村固有の文化等を総合的に活用し、都市と農村の交流を基盤として必要な施設である。                  機能維持のための修繕にかなりの費用を要するが、修繕等を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度導入済み。
--------------

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 38 年以上】

機能維持のための修繕をしながら、今後 15 年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、建物や利用状況を見ながらその後方針を決定する。
---

4 管理上の課題等

現在、全面的な屋根塗装の修繕工事が必要である。更に空調設備の更新も年次計画で行っている。また、利便性を図るため来客者用のトイレの様式化が必要である。 施設の規模が大きいため、建物の老朽化による修繕が必要となることが予測される。
--

5 管理に関する実施方針

利便性を考慮し、補修経費の抑制を図りながら、修繕の検討が必要である。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	給湯配管漏水修繕	100	
	給水配管漏水修繕	100	
	非常警報設備交換修繕	121	
	自家発電設備据置鉛蓄電池交換修繕	297	
R 3	屋根塗装工事	13,324	
	空調設備更新工事	10,832	
	トイレ様式化改修工事設計監理	902	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		25,676	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	4,384	4,384	4,465	指定管理料
(合計)	4,384	4,384	4,465	
【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	
【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	66,704	66,718	58,352	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	総合交流ターミナル施設 (ハート・ハープガラスハウス館)	延床面積	623 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市田沢湖田沢字瀧前 78	建設年(耐用年数)	H9 1997 (38年)
複合施設名		経過年数	23年
特記事項		構造・階数	鉄筋構造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  地域の自然農業体験及び農村固有の文化等を総合的に活用し、都市と農村の交流を基盤として必要な施設である。                  機能維持のための修繕等を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度導入済み。
--------------

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 38年以上】

機能維持のための修繕をしながら、今後15年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、建物や利用状況を見ながらその後方針を決定する。
---

4 管理上の課題等

降雪による屋根破損の被害や、経年劣化等による修繕が見込まれる。
---------------------------------

5 管理に関する実施方針

利便性を考慮し、補修経費の抑制を図りながら、修繕の検討が必要である。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		25,676	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

※維持管理経費等の状況は、10-6 総合交流ターミナル施設（田沢湖ハート・ハーブ）に含めて記載。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	田沢出張所
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢交流センター（プール）	延床面積	441 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字大山 7	建設年（耐用年数）	平成 3 年 1991（15 年）
複合施設名		経過年数	29 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	廃止検討	除却に向けた検討を始める
「基本的な方針の考え方」 人口減少の中、利用頻度等を検証し、除却に向けた検討を地域を含めた作業を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 39 年】

今後 10 年以内の利用状況、改修等の有無等を検証し除却を含む検討を行う。
---------------------------------------

4 管理上の課題等

特になし
------

5 管理に関する実施方針

今後 10 年の利用頻度と維持費、改修の有無を検証し、除却に向けた検討を進める。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	74	74	80	
運用コスト	76	82	86	
修繕コスト	51		80	給水管、取水口バルブ修繕
その他	4,798			プールろ過器修繕
(合計)	4,999	156	246	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	228	213	245	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	田沢出張所
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢交流センター（プール更衣室）	延床面積	54 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字大山 7	建設年（耐用年数）	平成 3 年 1991（47 年）
複合施設名		経過年数	29 年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	廃止検討	除却に向けた検討を始める
「基本的な方針の考え方」 人口減少の中、利用頻度等を検証し、除却に向けた検討を地域を含めた作業を進める。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 39 年】

今後 10 年以内の利用状況、改修等の有無等を検証し除却を含む検討を行う。
---------------------------------------

## 4 管理上の課題等

特になし
------

## 5 管理に関する実施方針

今後 10 年の利用頻度と維持費、改修の有無を検証し、除却に向けた検討を進める。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	228	213	245	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	長寿支援課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木温泉ふれあいプラザクリオン	延床面積	4,110 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字屋敷田 83-2	建設年（耐用年数）	平成 2 年 1990（ 47 年）
複合施設名		経過年数	31 年
特記事項	※大規模改修 ※避難所 ※指定管理施設	構造・階数	鉄筋鉄骨コンクリート 3 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を必要に応じて今後も実施
<p>「基本的な方針の考え方」                  指定管理施設として平成 29 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの協定を株式会社西木村総合公社と締結し、令和 4 年度からの指定管理の募集を令和 3 年度に予定しているため、今後も機能を維持しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

平成 29 年度から 31 年度にかけてプール、エレベーター、外壁、屋根、機械室等大規模な改修を行ってきた。今後も機能を維持させながら耐用年数の使用を目標とする。
---

4 管理上の課題等

建物の外部は大規模な改修を行ったが、建物内部の設備も所どころ老朽化してきているため、今後改修が必要な部分が生じると考えられる。
---

5 管理に関する実施方針

西木温泉ふれあいプラザクリオンの管理運営に関する協定書に基づき、市と指定管理者双方で適正な維持管理を図る。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	浄化槽ブロワー配管修繕	462	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		462	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	48,304	48,304	49,199	指定管理料
(合計)	48,304	48,304	49,199	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	130,515	119,350	109,639	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	上桧木内出張所
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	紙風船館	延床面積	498 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字大地田 3-1	建設年（耐用年数）	H15 2003 (22 年)
複合施設名		経過年数	18 年
特記事項	※避難所、出張所併設	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕等を随時実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>紙風船館は市の出張所として行政事務の併設施設となっている。また、各種団体の研修、娯楽、集会及び会議等開催できる地域の公民館的機能とミニ道の駅機能を果たしている。</p> <p>毎年 2 月 10 日開催される上桧木内の紙風船上げでは、観光客等の中核施設となっている。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 22 年】

<p>今後 4 年で耐用年数を迎えることになるが、維持機能の修繕を実施しながら 22 年以上の使用を目標として使用する。</p>
--

4 管理上の課題等

<p>特になし</p>
-------------

5 管理に関する実施方針

<p>目標使用年数までは、大規模改修等は必要ないものと思われる。随時、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	900	942	997	
運用コスト	4,597	4,644	3,213	
修繕コスト	196	379	476	
その他				
(合計)	5,693	5,965	4,686	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	242	262	258	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	12,498	15,459	7,537	

【個別票】

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	かたまえ山森林公園管理事務所 ほか	延床面積	256 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字瀧尻 117-1	建設年（耐用年数）	S56 1981 (20年)
複合施設名		経過年数	40年
特記事項		構造・階数	一部鉄骨造 一部2階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕等を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  深度日本一の田沢湖を眺められる宿泊施設は、観光産業を土台とする仙北市において重要な施設である。設備的な観点から、利用者に不満を与えぬよう施設を良好な状態に保つため、今後も修繕等を行い存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

耐用年数から 20 年経っている。施設の状況を確認しながら、修繕等を行い存続させる。
--

4 管理上の課題等

建築から 40 年経過してることで設備等が老朽化してきており、交換・更新等を必要とするものが増加している。今後も修繕等が発生することが大いに考えられるため、計画的な交換・更新等の検討を続ける。
--

5 管理に関する実施方針

施設や設備の状態を維持することにより、利用量の低下を防ぎ、維持・増加されることにつながるため適正な管理を続けていく。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	トイレ修繕	550	
R 4	屋根塗装、トイレ修繕 等	6,380	設計、工事、工事監理
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		6, 930	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	7,629	7,277	7,412	指定管理料
(合計)	7,629	7,277	7,412	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	21,289	21,356	公園来場者

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	かたまえ山森林公園コテージ(9棟)	延床面積	369 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字瀧尻 117-1	建設年（耐用年数）	H4 1992 (17年)
複合施設名		経過年数	28年
特記事項		構造・階数	木造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕等を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  深度日本一の田沢湖を眺められる宿泊施設は、観光産業を土台とする仙北市において重要な施設である。設備的な観点から、利用者に不満を与えぬよう施設を良好な状態に保つため、今後も修繕等を行い存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 33 年】

耐用年数から 11 年経っている。施設の状況を確認しながら、修繕等を行い存続させる。
--

4 管理上の課題等

建築から 28 年経過してることで設備等が老朽化してきており、交換・更新等を必要とするものが増加している。今後も修繕等が発生することが大いに考えられるため、計画的な交換・更新等の検討を続ける。
--

5 管理に関する実施方針

施設や設備の状態を維持することにより、利用量の低下を防ぎ、維持・増加されることにつながるため適正な管理を続けていく。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	トイレ修繕、給湯器修繕	630	
R 3	屋根外壁塗装、トイレ修繕 等	5,500	設計、工事、修繕
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		6, 130	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト		235	377	給湯器修繕 等
その他	2,462	1,387	2,309	屋根塗装工事 等
(合計)	2,462	1,622	2,686	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	427	455	478	棟数

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	かたまえ山森林公園バンガロー （6棟）	延床面積	119 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字瀧尻 117-1	建設年（耐用年数）	H13 2001（17年）
複合施設名		経過年数	20年
特記事項		構造・階数	木造平屋建（高床式）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕等を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  深度日本一の田沢湖を眺められる宿泊施設は、観光産業を土台とする仙北市において重要な施設である。設備的な観点から、利用者に不満を与えぬよう施設を良好な状態に保つため、今後も修繕等を行い存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 25 年】

耐用年数から 3 年経っている。施設の状況を確認しながら、修繕等を行い存続させる。
---

4 管理上の課題等

建築から 20 年経過してることで設備等が老朽化してきており、交換・更新等を必要とするものが増加している。今後も修繕等が発生することが大いに考えられるため、計画的な交換・更新等の検討を続ける。
--

5 管理に関する実施方針

施設や設備の状態を維持することにより、利用量の低下を防ぎ、維持・増加されることにつながるため適正な管理を続けていく。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	トイレ修繕 等	500	修繕
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		500	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他		59	62	火災報知器設置等
(合計)	0	59	62	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	165	175	193	

【個別票】

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木森林学習交流館「森の学校」	延床面積	358 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字瀧尻 117-1	建設年（耐用年数）	H14 2002 (34年)
複合施設名		経過年数	18年
特記事項		構造・階数	鉄骨造 2階建

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	廃止を検討している山の幸資料館収蔵資料展示場所として存続する
<p>「基本的な方針の考え方」                  深度日本一の田沢湖を眺められる宿泊施設は、観光産業を土台とする仙北市において重要な施設である。設備的な観点から、利用者に不満を与えぬよう施設を良好な状態に保つため、今後も修繕等を行い存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 34 年】

耐用年数まで 16 年残っている。施設の状況を確認しながら、修繕等を行い存続させる。
--

4 管理上の課題等

建築するものが増加してから 18 年経過してること設備等が少しずつ老朽化してきており、交換・更新等を必要とする。今後も修繕等が発生することが考えられるため、計画的な交換・更新等の検討を続ける。
--

5 管理に関する実施方針

施設や設備の状態を維持することにより、利用量の低下を防ぎ、維持・増加されることにつながるため適正な管理を続けていく。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	思い出の潟分校	延床面積	656 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖潟字一の渡 226	建設年（耐用年数）	昭和 27 年 1952 (22 年)
複合施設名		経過年数	68 年
特記事項		構造・階数	木造地上 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 観光施設として、定期的な修繕を計画して存続する。 なお、大規模修繕を実施する場合は、館の趣を損なわぬよう実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 100 年】

耐用年数を経過しているが、できる限り長い年数の使用を目指す。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

適切な維持管理に努める。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5	部分補修	5,000	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15	部分補修	5,000	
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25	部分補修	5,000	
R 26			
R 27			
合 計		15,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	3,015 (2,532)	5,702 (2,649) ※消防設備更新	2,881 (2,757)	浄化槽保守等 (うち会計年度職員 の人件費)
運用コスト	1,874	1,133	943	光熱水費等
修繕コスト	0	0	0	
その他	2,505	0		屋根改修工事
(合計)	7,394	6,835	3,824	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	2,146	2,188	2,439	観覧料・使用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	10,807	10,285	11,826	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画

「個別施設計画」(市営住宅)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
角館東会館	角館町菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
田中住宅(12棟)	角館町雲然	廃止	入居者退去後に除却実施
菅沢住宅(6棟)	角館町菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
さくらぎの里(11棟)	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
さくらぎの里集会所	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
岩瀬住宅(6棟)	角館町西下夕野	廃止	入居者退去後に除却実施
神代団地住宅(4棟)	田沢湖卒田	存続	機能維持のための修繕等実施
武蔵野中央団地(10棟)	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
武蔵野団地(13棟)	田沢湖生保内	廃止	入居者退去後に除却実施
武蔵野団地(長屋建て5戸)	田沢湖生保内	廃止	入居者退去後に除却実施
公園南1号団地住宅(4棟)	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
公園南団地(12戸)	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
玉川住宅(2棟)	角館町西下夕野	廃止	入居者退去後に除却実施
ニュータウン塚野腰(17棟)	西木町西荒井	存続	機能維持のための修繕等実施
ニュータウン塚野腰集会所	西木町西荒井	存続	機能維持のための修繕等実施
松葉住宅(2棟)	西木町桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

市営住宅については、基本的に既存施設の維持管理に努めることとし、老朽化が著しい施設については入居者が退去後に解体します。

市営住宅の立替、新規整備については、人口減少対策などの政策的な判断を含め、中長期的な需要実態の把握に努め、適切な対応を検討します。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館東会館	延床面積	100 m <sup>2</sup>
所在地	角館町菅沢 46-2 他	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1978（30 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項		構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持
需要に対応した維持・改善を行う必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 52 年】

機能維持のための必要最小限の修繕等を実施しながら、今後 10 年以上の使用を目標とする。
--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

継続した適切な維持管理を行う。
-----------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト			96	
その他				
(合計)			96	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	田中住宅（12 棟）	延床面積	372 m <sup>2</sup>
所在地	角館町雲然田中 308-2	建設年（耐用年数）	昭和 37 年 1962（30 年）
複合施設名		経過年数	58 年
特記事項		構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	入居者が退去後除却
入居のある期間は、維持管理を行う。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 未定 年】

退出棟から除却を予定しているため、明確な使用期間を示すことができない。
-------------------------------------

## 4 管理上の課題等

木造で耐用年数を超過しており、老朽化が著しい。耐震診断の結果、耐震性なし
--------------------------------------

## 5 管理に関する実施方針

入居者のある期間は、適切な維持管理を行う。
-----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト		271		
その他				
(合計)		271		

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	15	14	11	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	菅沢住宅（6 棟）	延床面積	6,141 ㎡
所在地	角館町菅沢 46-2 他	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1978 (70 年)
複合施設名		経過年数	～42 年
特記事項		構造・階数	耐火 3 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持
屋根・外壁の改善を行う必要がある。 バリアフリーに配慮した改善を行う必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 93 年】

屋根・外壁改修を行いながら、23 年延長を目指す
--------------------------

4 管理上の課題等

H11～14 年に外壁断熱、屋上防水等の大規模な改修を実施しているが、工事周期を迎えている。
--

5 管理に関する実施方針

引き続き施設の機能維持を図るため、屋根・外壁改修工事などを行い適切な維持管理に努める。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根・外壁改修	10260	
R 4			
R 5	屋根・外壁改修	10260	
R 6			
R 7	屋根・外壁改修	6840	
R 8			
R 9	屋根・外壁改修	3420	
R 10			
R 11	屋根・外壁改修	13680	
R 12			
R 13	屋根・外壁改修	82080	
R 14			
R 15	屋根・外壁改修	10260	
R 16			
R 17	屋根・外壁改修	10260	
R 18			
R 19	屋根・外壁改修	6840	
R 20			
R 21	屋根・外壁改修	3420	
R 22			
R 23	屋根・外壁改修	13680	
R 24			
R 25	屋根・外壁改修	6840	
R 26			
R 27	屋根・外壁改修	10260	
合 計		188,100	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	1667	731	2201	
その他				
(合計)	1667	731	2201	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	164	159	152	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	さくらぎの里（11 棟）	延床面積	2,268 ㎡
所在地	角館町雲然荒屋敷 409	建設年（耐用年数）	平成 8 年 1996（30 年）
複合施設名		経過年数	～24 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
需要に対応した維持・改善事業を行う必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

屋根・外壁改修を行いながら、15 年延長を目指す。
---------------------------

4 管理上の課題等

給湯機が対応年数を過ぎているものがあり対応が必要。
---------------------------

5 管理に関する実施方針

屋根・外壁改修工事を行うなど、適切な維持管理に努める。
-----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4	屋根・外壁改修	17,040	
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11	屋根・外壁改修	13,253	
R 12	屋根・外壁改修	22,720	
R 13			
R 14	屋根・外壁改修	22,560	
R 15			
R 16	屋根・外壁改修	17,040	
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		92,613	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト		20,896	12,970	
修繕コスト	809	869	897	
その他				
(合計)	809	21,765	13,957	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	69	73	61	

【個別票】

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	さくらぎの里集会所	延床面積	69.0 m <sup>2</sup>
所在地	角館町雲然荒屋敷 409	建設年（耐用年数）	平成 8 年 1996 年 (30 年)
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項		構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
需要に対応した維持・改善事業を行う必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

屋根・外壁改修を行いながら、15 年延長を目指す
--------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

屋根・外壁改修工事を行う。
---------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	岩瀬住宅（6 棟）	延床面積	1,423 ㎡
所在地	角館町西下夕野 2 7 他	建設年（耐用年数）	昭和 45 年 1970（45 年）
複合施設名		経過年数	～50 年
特記事項		構造・階数	簡易耐火 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	すべての入居者が退去後除却
入居している間は、維持管理を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

退出棟から除却する。（目標使用年数記入できない。）
---------------------------

4 管理上の課題等

簡易耐火で耐用年数を経過しており、老朽化が著しい。
---------------------------

5 管理に関する実施方針

入居している間は、維持管理を行う。
-------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	224	118	1051	
その他				
(合計)	224	118	1,051	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	40	36	34	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	神代団地（3 棟）	延床面積	252 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖卒田字白旗 73-8	建設年（耐用年数）	昭和 61 年 1986 (30 年)
複合施設名		経過年数	34 年
特記事項		構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設	
基本的な方針	存続	改善し当面維持管理	機能維持
定期点検を行いながら適正な時期に改修を行う。			

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

定期的な施設管理に努め、目標使用年数を目指す。
-------------------------

4 管理上の課題等

木造で建築から 30 年以上経過している
----------------------

5 管理に関する実施方針

定期的な施設の点検と適切な維持補修を行い存続を図る。
----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	166	196	130	
その他				
(合計)	166	196	130	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	8	6	8	

【個別票】

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	武蔵野中央団地（10棟）	延床面積	551 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 102-1	建設年（耐用年数）	平成 8 年 1996（30 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項		構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
定期的な施設点検を行いながら適正な時期に改修を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

屋根・外壁改修を行いながら、15 年延長を目指す。
---------------------------

4 管理上の課題等

小破修繕が見込まれるが、特段の問題はない。
-----------------------

5 管理に関する実施方針

定期的な施設点検と適切な修繕等を行い目標使用年数以上の存続を目指す。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6	屋根・外壁改修	27,200	
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18	屋根・外壁改修	28,400	
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		55,600	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	455	772	1,110	
その他				
(合計)	455	772	1,110	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	16	19	18	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	武蔵野団地（13 棟）	延床面積	447 ㎡
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 49-1 他	建設年（耐用年数）	昭和 35 年 1960（30 年）
複合施設名		経過年数	～60 年
特記事項		構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	入居者が退去後除却
入居している間は、維持管理を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

退出棟から廃止（除却）する。（目標使用年数未定）
--------------------------

4 管理上の課題等

木造で耐用年数を超過しており、老朽化が著しい。耐震診断の結果、耐震性なし
--------------------------------------

5 管理に関する実施方針

入居している間は、維持管理を行う。
-------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	982	106	5	
その他				
(合計)	982	106	5	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	26	21	21	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	武蔵野団地（長屋建 5 戸）	延床面積	256 ㎡
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 265	建設年（耐用年数）	昭和 52 年 1977（45 年）
複合施設名		経過年数	～43 年
特記事項		構造・階数	簡易耐火平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	すべての入居者が退去後除却
入居している間は、維持管理を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

退出棟から廃止（除却）する。（目標使用年記入できない。）
------------------------------

4 管理上の課題等

簡易耐火であると数年の間に耐用年数に達する。耐震診断の結果、耐震性なし
-------------------------------------

5 管理に関する実施方針

入居している間は、維持管理を行う。
-------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	142		109	
その他				
(合計)	142		109	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	6	6	6	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	公園南 1 号団地（4 棟）	延床面積	536 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 105-1058	建設年（耐用年数）	平成 19 年 2007 (30 年)
複合施設名		経過年数	13 年
特記事項		構造・階数	木造平屋・2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	改善が必要 機能維持
10 年後も耐用年数に達しないことから、修繕の柔軟な対応をしながら機能維持を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

屋根・外壁改修を行いながら、15 年延長を目指す
--------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

適切な維持管理に努め、必要に応じて修繕を行うなど、長期に及ぶ機能維持を図る。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10	屋根・外壁改修	17,040	
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22	屋根・外壁改修	17,040	
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		34,080	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	367	858	429	
その他				
(合計)	367	858	429	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	16	20	20	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	公園南団地（12 戸）	延床面積	851 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 102-1	建設年（耐用年数）	昭和 60 年 1985 (60 年)
複合施設名		経過年数	35 年
特記事項		構造・階数	木造平屋・2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設	
基本的な方針	存続	改善が必要	機能維持
定期的な施設点検に努め、適正な時期に改修を行いながら存続する。			

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 83 年】

屋根・外壁改修を行いながら、耐用年数から、さらに 23 年延長を目指す。
--------------------------------------

## 4 管理上の課題等

小破修繕が見込まれるが、大規模な改修まで至っていない。
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

木造施設のため小破修繕が見込まれるが、屋根・外壁改修を行い、引き続き機能維持に努める。
---

## 6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12	屋根・外壁改修	6,840	
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24	屋根・外壁改修	6,840	
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		13,680	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	215	543		
その他				
(合計)	215	543		

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	20	14	14	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	玉川住宅（2 棟）	延床面積	108 m <sup>2</sup>
所在地	角館町西下夕野 46-1	建設年（耐用年数）	昭和 31 年 1956 (30 年)
複合施設名		経過年数	～64 年
特記事項		構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	すべての入居者が退去後除却
入居している間は、維持管理を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

退出棟から廃止（除却）する。（目標使用年数記入不可）
----------------------------

4 管理上の課題等

木造で耐用年数を超過しており、老朽化が著しい。耐震診断の結果、耐震性なし
--------------------------------------

5 管理に関する実施方針

入居している間は、適切な維持管理を行う。
----------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	8			
その他				
(合計)	8			

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	4	4	4	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	ニュータウン塚野腰（17 棟）	延床面積	2,872 ㎡
所在地	西木町西荒井字塚野腰 164-1 他	建設年（耐用年数）	平成 11 年 1999（30 年）
複合施設名		経過年数	～22 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	改善が必要 機能維持
需要に対応した維持・改善事業等を行い機能維持を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

屋根・外壁改修を行いながら、耐用年数から 15 年延長を目指す。
----------------------------------

4 管理上の課題等

給湯機の交換年数が過ぎているものがあるため、対応が必要である。
---------------------------------

5 管理に関する実施方針

屋根・外壁改修工事を行うなど、引き続き適切な維持管理に努める。
---------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	屋根・外壁改修	33,725	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11	屋根・外壁改修	26,506	
R 12	屋根・外壁改修	45,440	
R 13			
R 14			
R 15	屋根・外壁改修	28,400	
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		134,071	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	1,444	2,293	1,657	
その他				
(合計)	1,444	2,293	1,657	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	83	83	80	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	ニュータウン塚野腰集会所	延床面積	70 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西荒井字塚野腰 164-1	建設年（耐用年数）	平成 11 年 1999 ( 30 年)
複合施設名		経過年数	22 年
特記事項		構造・階数	木造平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	改善が必要 機能維持
需要に対応した維持・改善事業を行い機能維持を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

塚野腰 17 棟と同様に、適切な維持に努める。
-------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

適切な維持管理を継続する。
---------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト			6	
その他				
(合計)			6	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 27 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	松葉住宅（2 棟）	延床面積	544 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桜木内字松葉 278-2 他	建設年（耐用年数）	平成 16 年 2004 (30 年)
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	改善が必要
定期的な施設点検を行い適正な時期に改修を行い存続を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

屋根・外壁改修など適切な維持管理を行い 15 年延長を目指す。
---------------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

定期的な施設点検によりの確な維持補修を行い、長期の利用を可能とする適切な維持管理に努める。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8		22,720	
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20		22,720	
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		45,440	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト	16	106	99	
その他				
(合計)	16	106	99	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	15	18	15	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(公園)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
桧木内川河川公園管理棟・東屋	西木町門屋	存続	機能維持のための修繕等実施
角館駅東公園多目的トイレ	角館町上菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
桜並木駐車場管理棟	角館町北野	存続	機能維持のための修繕等実施
姫塚公園公衆便所	田沢湖生保内	存続	大規模改修が見込む場合は、廃止を含む検討実施
生保内公園管理棟・トイレ	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
柏山墓地公園管理棟	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
小先達河川砂防ダム公園トイレ	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
茶立ての清水農村広場(公衆便所)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
太田農村公園便所	田沢湖角館東前郷	存続	機能維持のための修繕等実施
蓮池農村公園便所	田沢湖梅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
小松農村公園公衆便所	田沢湖小松	廃止	除却処分を検討
大沼公園管理棟	田沢湖梅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
大沼公園ポンプ管理棟	田沢湖梅沢	除却	除却済み(R2 実施)
憩いの森農村広場公衆便所ほか	田沢湖梅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
林内作業所(湧尻)便所	西木町西明寺	存続	機能維持のための修繕等実施
旭山農村公園便所	西木町桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
荒町農村公園公衆便所	西木町西明寺	存続	機能維持のための修繕等実施
玉川河川公園公衆便所	角館町岩瀬	存続	機能維持のための修繕等実施
袖野球場便所	西木町小湊野	存続	機能維持のための修繕等実施
八津公衆便所	西木町小山田	存続	機能維持のための修繕等実施

### 3. 施設管理に関する基本的な方針

公園及び付帯施設については、存続のための維持管理に努めます。

また、既に使命を終えた施設や利用頻度の低い施設については解体または廃止に向けた検討を進めます。

なお、地域への譲渡が可能なものについては、地域との調整を進めます。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 28 日

所管課（部署）	建設課（※都市計画係）
---------	-------------

1 施設の概要・沿革

施設名称	桧木内川河川公園管理棟・東屋	延床面積	122.29 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字下川原 87-1	建設年（耐用年数）	平成 14 年 2002（24 年）
複合施設名		経過年数	18 年
特記事項		構造・階数	木造・平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 西木地区及び近隣地域の憩いの場として活用していることから、今後も機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 43 年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」を参考に、建設から 43 年間使用することを目標とする。
--

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。</li> <li>・トイレなどの設備に経年劣化が生じている。</li> </ul>
---

5 管理に関する実施方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化に伴う、外壁塗装を実施する。</li> <li>・その他トイレ等老朽化が見られた場合は修繕を実施する。</li> </ul>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	外壁塗装	1,000	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	646	592	622	
修繕コスト	24	87	167	トイレ修繕等
その他				
(合計)	670	679	789	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	10	10	10	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

所管課（部署）	建設課（※都市計画係）
---------	-------------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館駅東公園多目的トイレ	延床面積	14.56 m <sup>2</sup>
所在地	角館町上菅沢地内	建設年（耐用年数）	平成 20 年 2008（24 年）
複合施設名		経過年数	12 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造・平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」                  都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。                  そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 48 年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から 48 年間使用することを目標とする。
--

4 管理上の課題等

・大きな修繕を必要とする箇所はないが、経年劣化による修繕が見込まれる
------------------------------------

5 管理に関する実施方針

・利用者が快適かつ安全に使用できるように、機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図っていく。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	336	352	325	
修繕コスト		77		トイレ修繕
その他				
(合計)	336	429	325	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	19	19	21	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 11 月 16 日

所管課（部署）	観 光 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	桜並木駐車場管理棟	延床面積	4 m <sup>2</sup>
所在地	角館町北野 地内	建設年（耐用年数）	H16 年 2004（20 年）
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項	※耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好施設
基本的な方針	存続	軽微な補修を重ね維持管理予定
「基本的な方針の考え方」 桜並木駐車場内に位置し、駐車料金徴収事務を行う管理棟であり、引き続き維持管理に努める。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 25 年】

事業の継続と併せた維持管理を行う。
-------------------

4 管理上の課題等

特段の問題はない。
-----------

5 管理に関する実施方針

維持補修をしながら、事業の継続と併せ、適切な維持管理に努める。
---------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1	1	1	火災保険料
修繕コスト				
その他				
(合計)	1	1	1	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	-	-	-	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	観光課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	姫塚公園公衆便所	延床面積	69 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字堂ノ前 92 番 11	建設年（耐用年数）	平成 7 1995（15 年）
複合施設名		経過年数	25 年
特記事項	耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面では良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 当面は維持するものとし、大規模な修繕（費用）が予想される場合は、廃止を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 35 年】

耐用年数を超えているため、劣化の状況を観察しながら方向性を検討する。
------------------------------------

4 管理上の課題等

特に問題はない。
----------

5 管理に関する実施方針

需要頻度、見込まれる維持補修費用等を検証し、今後 10 年以内に廃止に向けた検討を進める。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	193	205	210	清掃人件費
修繕コスト				
その他				
(合計)	193	205	210	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	統計無し

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 28 日

所管課（部署）	建設課（※都市計画係）
---------	-------------

1 施設の概要・沿革

施設名称	生保内公園管理棟・トイレ	延床面積	261.46 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野地内	建設年（耐用年数）	昭和 60 年 1985（24 年）
複合施設名		経過年数	35 年
特記事項		構造・階数	木造造・平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」                  都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。                  そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 43 年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から 43 年間使用することを目標とする。
--

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化に伴う、屋根塗装を実施する。</li> <li>・その他トイレ等老朽化が見られた場合は修繕を実施する。</li> </ul>
--

5 管理に関する実施方針

・利用者が快適かつ安全に使用できるように、機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図っていく。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根塗装	2,000	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		2,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1,577	1,584	1,654	
修繕コスト	368	19	324	
その他				
(合計)	1,945	1,603	1,978	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市民生活課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	柏山墓地公園管理棟	延床面積	17 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字柏山 39-1	建設年（耐用年数）	昭和 60 年 1985（24 年）
複合施設名		経過年数	35 年
特記事項		構造・階数	木造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 墓地公園の機能維持のための管理棟として、修繕を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

<p>すでに耐用年数を超えているが、ハード面は概ね良好である。修繕を行いながら、機能維持をはかり、45 年（今後 10 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。</p>
---

4 管理上の課題等

<p>老朽化しているが、機能維持には問題はない。</p>
------------------------------

5 管理に関する実施方針

<p>目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。 当該施設は、墓地公園の維持管理のために必要な施設であり、大規模な改修も含め、今後とも存続のための対応を創する。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1,193	1,193	1,193	墓地公園全体の管理を業務委託
修繕コスト				
その他				
(合計)	1,193	1,193	1,193	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

※管理棟のみに係る維持経費等の算出は困難

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	小先達河川砂防ダム公園トイレ	延床面積	48 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字下高野 74-1	建設年（耐用年数）	H6（34 年）
複合施設名		経過年数	23 年
特記事項		構造・階数	コンクリートブロック造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 近隣地域の憩いの場として活用されていることから今後も機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 43 年】

機能維持のための必要最小限の修繕等を実施しながら、今後 20 年以上の使用を目標とする。
--

4 管理上の課題等

トイレなどの設備に経年劣化が生じている。
----------------------

5 管理に関する実施方針

公園を快適に利用するための適切な維持補修を行う。
--------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	60	60	61	
運用コスト	822	655	584	
修繕コスト	71	4	38	
その他				
(合計)	953	719	683	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	茶立の清水農村広場(公衆便所)	延床面積	61 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字下田 154-1	建設年(耐用年数)	平成 8 年 1996 ( 15 年)
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 観光客等に対するサービス施設であることから今後も必要であり、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 34 年】

機能維持の修繕を実施しながら今後 10 年以上の使用を目標とする。
-----------------------------------

4 管理上の課題等

特になし
------

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る一方、施設のあり方と運営方法、また、改修工事の可能性も含め、存続のための検討を並行して行う。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	76	83	83	
運用コスト	801	684	855	
修繕コスト	61	14	73	バルブ、扉内鍵、浄化槽送風機、ドア、外灯修理
その他				
(合計)	938	781	1,011	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	10	9	9	行政財産使用料、電気料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	太田農村公園便所	延床面積	15 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖角館東前郷字折橋 87-3	建設年（耐用年数）	H13 2001（15年）
複合施設名		経過年数	19年
特記事項		構造・階数	木造 1階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  当該公園は地域住民の交流の場として利用され、当施設は付帯した公衆便所である。当施設は、地域の内外を問わず利用者も多いため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

<p>すでに耐用年数を超過しているが、機能を維持する補修を行い 30 年（今後 11 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。</p>
--

4 管理上の課題等

<p>3 年前に赤水が発生し、一時的に手当てしたものの以後水量が少なくなるという事態が続いている。現状、使用には問題ないものの再発の可能性を考え、改修を検討する必要がある。</p>
--

5 管理に関する実施方針

<p>目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る一方、利用頻度・利用者数の検証を行い、施設のあり方について検討を行う。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	259	259	267	
運用コスト	259	182	207	
修繕コスト		538		
その他				
(合計)	284	804	474	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	蓮池農村公園公衆便所	延床面積	26 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖梅沢字蓮池観音堂下 47-1	建設年（耐用年数）	H14 2002（15 年）
複合施設名		経過年数	19 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  当該公園は地域住民の交流の場として利用されており、当施設は公園に付帯した公衆便所である。                  当施設は、地域の内外を問わず利用者も多いため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

すでに耐用年数を超過しているが、機能維持の修繕を実施しながら 30 年（今後 11 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。
---

4 管理上の課題等

特になし
------

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
-------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	174	175	179	
運用コスト	77	68	63	
修繕コスト				
その他				
(合計)	251	243	242	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	小松農村公園公衆便所	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖小松字羽根ヶ台 174	建設年（耐用年数）	S62 1987（15年）
複合施設名		経過年数	33 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	使用実態に応じて廃止（除却）を検討する
<p>「基本的な方針の考え方」                  長く地域住民の交流の場として利用され、公園に付帯した公衆便所である。                  しかしながら、当施設は使用実態に乏しく、施設も老朽化が進み崩壊が激しいため、地元の意見を聞きながら廃止（除却）を検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 33 年】

<p>すでに耐用年数を超過しており、他農村公園施設の目標として設定している 30 年をも超過している。そのため今後の存続については地元の意見も聞きながら検討する。</p>
---

4 管理上の課題等

<p>施設の老朽化が激しく、今後利用して行くためには建物自体の改修も見据えた、大規模な改修が必要である。</p>
--

5 管理に関する実施方針

<p>公園の管理は引き続き地元へ委託しつつ、便所については除却を検討する。</p>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	120	120	120	
運用コスト	20	20	23	
修繕コスト				
その他				
(合計)	140	140	143	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	大沼公園管理棟	延床面積	89 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖梅沢字沼頭 4-10	建設年（耐用年数）	H6 1994（24 年）
複合施設名		経過年数	26 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  当該公園は地域住民の交流の場として利用されており、公園に付帯した管理施設である。                  当施設は、地域の内外を問わず利用者が多いため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

<p>すでに耐用年数を超過しているが、機能維持の修繕を実施しながら 40 年（今後 14 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。</p>
--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

<p>目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	174	174	174	
運用コスト	200	170	227	
修繕コスト	30	33	95	
その他				
(合計)	404	377	496	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	大沼公園ポンプ管理棟ほか	延床面積	37 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖梅沢字沼頭 4-10	建設年（耐用年数）	S53 1978（15年）
複合施設名		経過年数	42年
特記事項		構造・階数	コンクリート造 1階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	順次施設を除却する。（R2 除却済み）
<p>「基本的な方針の考え方」                  当施設はもともと近隣へ水を送るためのポンプ施設だったが、地域に上水道が整備されたため、不要となった施設である。よって施設を順次除却する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 一年】

すでに施設としての役割を終えているため除却する。（R2 除却済み）
-----------------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

令和 2 年度以降は管理を行わずに施設除却を行う。
---------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	ポンプ室 (B) 解体工事	1,045	
R 3			
R 4	ポンプ室 (A) 解体工事	1,300	
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		2,345	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	5	5	6	
修繕コスト				
その他				
(合計)	5	5	6	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	憩の森農村広場公衆便所ほか	延床面積	13 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖梅沢字沼頭 4-10	建設年（耐用年数）	H29 2017（15年）
複合施設名		経過年数	3年
特記事項		構造・階数	コンクリート造 1階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  当該公園は地域住民の交流の場として利用されており、当施設は公園に付帯した公衆便所である。                  当施設は、地域の内外を問わず利用者も多いため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

当施設は平成 29 年度に改修工事を終えたばかりであるため、他公園施設と同様に工事年度から 30 年の使用を目標としたい。
---

4 管理上の課題等

課題なし
------

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
-------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	120	120	120	
運用コスト	28	26	22	
修繕コスト				
その他				
(合計)	148	146	142	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	林内作業所（瀉尻）便所	延床面積	27 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字瀉尻 117	建設年（耐用年数）	H13 2001（15年）
複合施設名		経過年数	20年
特記事項		構造・階数	木造 1階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕等を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  当施設はかたまえ山森林公園内のバンガローに係る屋外の公衆便所である。バンガローを運営する期間は、修繕等を行い存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 25 年】

バンガローの存続期間は、施設の状況を確認しながら、修繕等を行う。
----------------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

施設や設備の状態を維持し、バンガロー利用者の利便性向上に努める。
----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	トイレ修繕 等	500	修繕
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		500	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	旭山農村公園便所	延床面積	5 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桧木内字松葉 309-3	建設年（耐用年数）	H2 1990（15年）
複合施設名		経過年数	30年
特記事項		構造・階数	木造 1階建

※経過年数は令和2年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	農村公園存続期間は、付帯施設として存続する
<p>「基本的な方針の考え方」          当該公園は地域住民の交流の場として利用されており、当施設は公園に付帯した公衆便所である。          当施設は、地域の内外を問わず利用者も多いため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 35 年】

すでに耐用年数を超過し、他農村公園施設の目標として設定している30年をも超過している。そのため今後の存続については地元の意見も聞きながら検討する。

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

当面は、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る一方、利用頻度・利用者の検証と併せ、施設を含む公園の在り方について、地域との検討を進める。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	72	72	72	
運用コスト	43	43	49	
修繕コスト				
その他				
(合計)	115	115	121	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	荒町農村公園便所	延床面積	6 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字堂村 11-1	建設年（耐用年数）	H3 1991（15年）
複合施設名		経過年数	30年
特記事項		構造・階数	木造 1階建

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ハード面は良好だが、ソフト面が良好でない施設
基本的な方針	存続	農村公園存続期間は、付帯施設として存続する
<p>「基本的な方針の考え方」                  当該公園は地域住民の交流の場として利用されており、当施設は公園に付帯した公衆便所である。                  機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 35 年】

すでに耐用年数を超過しており、他農村公園施設の目標として設定している30年をも超過している。そのため今後の存続については地元の意見も聞きながら検討する。

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

当面は、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	72	72	72	
運用コスト	74	74	96	
修繕コスト				
その他				
(合計)	146	146	168	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市玉川河川公園公衆便所	延床面積	29 m <sup>2</sup>
所在地	角館町岩瀬下夕野地内	建設年（耐用年数）	平成 22 年 2010 (15 年)
複合施設名		経過年数	10 年
特記事項		構造・階数	木造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を継続
<p>「基本的な方針の考え方」                  スポーツ少年団・中学校・高校・一般の方々のサッカー大会練習場、またグラウンドゴルフ等で年間約 4 千人～6 千人に利用されている玉川河川公園の公衆便所であるので、利用頻度は高い。今後も機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 15 年】

築 10 年であり、あと 5 年で耐用年数を迎える。  
 今後も機能維持のための修繕・改修を適正に行っていく。

4 管理上の課題等

特に課題等はないが、今後も状況に応じた修繕・改修を実施する。

5 管理に関する実施方針

今後も適正な維持管理を行い、公園を利用する利用者の利便性に貢献する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	326	310	309	
修繕コスト	0	36		量水器交換修理
その他	0			
(合計)	326	346	309	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	24	27	29	自販機設置料等

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	袖野球場便所	延床面積	40 m <sup>2</sup>
所在地	西木町小淵野字向山 52-2	建設年（耐用年数）	H9 1997（15年）
複合施設名	西明寺野球場（袖野球場）	経過年数	24年
特記事項		構造・階数	木造 1階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  当施設は野球場に付帯した公衆便所である。                  当施設は、地域の内外を問わず利用者が多いため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

<p>すでに耐用年数を超過しているが、機能維持の修繕を実施しながら 30 年（今後 6 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。</p>
---

4 管理上の課題等

<p>たびたび配管絡みが発生していると思われる漏水が発生している。（上下水道課側からメーターに関する指摘あり）根本的な修繕が今後必要になる可能性がある。</p>
--

5 管理に関する実施方針

<p>目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	18	18	25	
修繕コスト	4	8	0	
その他				
(合計)	22	26	25	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	八津公衆便所	延床面積	23 m <sup>2</sup>
所在地	西木町小山田字八津 60-1	建設年（耐用年数）	H11 1999（15年）
複合施設名		経過年数	21年
特記事項		構造・階数	木造 1階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討

「基本的な方針の考え方」  
 当施設は、八津かたくり園内にある公衆便所である。  
 当施設は、観光シーズンの利用者も多いため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

すでに耐用年数を超過しているが、機能維持の修繕を実施しながら 30 年（今後 9 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	72	72	72	
運用コスト	12	12	32	
修繕コスト				
その他				
(合計)	84	84	104	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画

「個別施設計画」(学校教育施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
角館小学校校舎	角館町西野川原	別途計画策定	
角館小学校渡り廊下	角館町西野川原	別途計画策定	
角館小学校体育館	角館町西野川原	別途計画策定	
角館小学校プール	角館町西野川原	別途計画策定	
白岩小学校校舎	角館町白岩	別途計画策定	
白岩小学校渡り廊下	角館町白岩	別途計画策定	
白岩小学校体育館	角館町白岩	別途計画策定	
白岩小学校プール	角館町白岩	別途計画策定	
生保内小学校渡り廊下 C	田沢湖生保内	別途計画策定	
生保内小学校北校舎	田沢湖生保内	別途計画策定	
生保内小学校渡り廊下 A	田沢湖生保内	別途計画策定	
生保内小学校南校舎及び管理棟	田沢湖生保内	別途計画策定	
生保内小学校渡り廊下 B	田沢湖生保内	別途計画策定	
生保内小学校体育館	田沢湖生保内	別途計画策定	
生保内小学校プール	田沢湖生保内	別途計画策定	
神代小学校校舎	田沢湖神代	別途計画策定	
神代小学校体育館	田沢湖神代	別途計画策定	
神代小学校プール	田沢湖神代	別途計画策定	
西明寺小学校校舎	西木町門屋	別途計画策定	
西明寺小学校体育館	西木町門屋	別途計画策定	
西明寺小学校プール	西木町門屋	別途計画策定	
桧木内小学校校舎	西木町桧木内	別途計画策定	
桧木内小学校体育館	西木町桧木内	別途計画策定	
桧木内小学校プール	西木町桧木内	別途計画策定	
角館中学校校舎	角館町小勝田	別途計画策定	

角館中学校体育館及び柔剣道場	角館町小勝田	別途計画策定	
生保内中学校校舎	田沢湖生保内	別途計画策定	
生保内中学校体育館	田沢湖生保内	別途計画策定	
生保内中学校プール	田沢湖生保内	別途計画策定	
神代中学校管理棟	田沢湖神代	別途計画策定	
神代中学校教室棟	田沢湖神代	別途計画策定	
神代中学校特別教室棟	田沢湖神代	別途計画策定	
神代中学校 PC 教室棟	田沢湖神代	別途計画策定	
神代中学校体育館	田沢湖神代	別途計画策定	
神代中学校体育館増築部	田沢湖神代	別途計画策定	
西明寺中学校校舎	西木町上荒井	別途計画策定	
西明寺中学校技術室	西木町上荒井	別途計画策定	
西明寺中学校校舎増築部	西木町上荒井	別途計画策定	
西明寺中学校 PC 教室	西木町上荒井	別途計画策定	
西明寺中学校体育館	西木町上荒井	別途計画策定	
桧木内中学校校舎	西木町桧木内	別途計画策定	
桧木内中学校体育館	西木町桧木内	別途計画策定	
桧木内中学校 PC 教室	西木町桧木内	別途計画策定	
桧木内中学校特別教室棟	西木町桧木内	別途計画策定	
上桧木内スクールバス車庫	西木町上桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
角館学校給食センター	角館町小勝田	除却	除却
田沢湖学校給食センター	田沢湖生保内	譲渡・貸与	譲渡または貸与
西木学校給食センター	西木町桧木内	譲渡・貸与	譲渡または貸与
総合給食センター	西木町西荒井	存続	機能維持のための修繕等実施

### 3. 施設管理に関する基本的な方針

<p>学校教育施設については、学校施設長寿命化計画で基本的な方針を検討しています。</p> <p>旧町村単位で配置されていた3つの学校給食センターについては、総合給食センターの整備により、民間団体・企業等への譲渡の可能性を探ることとし、需要が見込めない老朽化施設については解体の方向で進めます。</p>
---

## 【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 21 日

所管課（部署）	学校教育課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	上桧木内スクールバス車庫	延床面積	75 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字大地田 50	建設年（耐用年数）	平成 16 年 2004（17 年）
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項		構造・階数	W 造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面ともに良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 本施設は教育委員会保有のスクールバスの車庫であり、児童生徒の通学などに必要不可欠な施設であるための修繕を実施する。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

近隣に上桧木内出張所があるが車庫がなく、現段階では集約できる可能性は低い

## ※ 公民連携の検討について

市立学校施設の性質上、公民連携にはなじまない

## ※ 民間等への譲渡の検討について

市有地（旧学校敷地）内のため、民間等に譲渡出来る可能性は低い

## ※ 国・県協働の検討について

国・県有施設との協働の可能性は低い。

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

西木地区の学校が存続する限り必要な施設であり、機能維持のための修繕等を行い使用する。

## 4 管理上の課題等

建築後、10 年以上経過しており、今後効率的かつ効果的な改修が必要である。

## 5 管理に関する実施方針

建物の機能維持に必要な修繕（屋根の塗り替え等）  
設備の機能維持に必要な修繕（シャッターの更新等）

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	なし		
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0		0	
運用コスト	103	100	101	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	103	100	101	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合給食センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館学校給食センター	延床面積	494 m <sup>2</sup>
所在地	角館町小勝田中川原 117-39	建設年（耐用年数）	S62 1987 (31 年)
複合施設名		経過年数	34 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造 2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除却
「基本的な方針の考え方」 老朽化が著しく安全性の確保が困難であるため除却。		

※ 集約・複合化の検討について

令和 2 年 4 月、総合給食センターの新設に伴い廃止済。
-------------------------------

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

譲渡困難。（老朽化が著しく安全性の確保が困難。）
--------------------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	解体設計・工事 (実施年度未定)		
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	106,181	106,031	99,015	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	111,743	107,095	99,500	旧 3 施設合計

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合給食センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖学校給食センター	延床面積	831 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字上清水 673-2	建設年（耐用年数）	H4 1992（38）
複合施設名		経過年数	29 年
特記事項		構造・階数	RC 造一部 2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	譲渡または貸与
<p>「基本的な方針の考え方」 耐用年数に達していないため民間団体等の希望があれば譲渡または貸与を考慮するが、他に活用方策がなければ除却を検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

令和 2 年 4 月、総合給食センターの新設に伴い廃止済。
-------------------------------

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

民間団体等の希望があれば考慮する。
-------------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	84,121	83,669	74,893	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合給食センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木学校給食センター	延床面積	370 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桧木内字高屋 31-1	建設年（耐用年数）	H14 2002 (31年)
複合施設名		経過年数	19年
特記事項		構造・階数	鉄骨造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	譲渡または貸与
<p>「基本的な方針の考え方」 耐用年数に達していないため民間団体等の希望があれば譲渡または貸与を考慮するが、他に活用方策がなければ除却を検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

令和 2 年 4 月、総合給食センターの新設に伴い廃止済。
-------------------------------

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

民間団体等の希望があれば考慮する。
-------------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	54,722	53,372	51,805	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	総合給食センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	総合給食センター	延床面積	1,899.19 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西荒井字番屋 175	建設年（耐用年数）	R2 2020 (31 年)
複合施設名		経過年数	1 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造一部 2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	存続
「基本的な方針の考え方」 適切に管理を行っていく。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 31 年】

耐用年数と同数とする。
-------------

## 4 管理上の課題等

特になし
------

## 5 管理に関する実施方針

長寿命化に向けた適切な維持管理を行う。
---------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考:維持管理経費等の状況)

(単位:千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画

「個別施設計画」(文化施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
中川コミュニティセンター	角館町川原中道	存続	機能維持のための修繕等実施
中川コミュニティセンター体育館	角館町川原中道	存続	機能維持のための修繕等実施
旧中川小学校プール	角館町川原中道	廃止	解体
角館交流センター	角館町上菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
角館東地区公民館	角館町外ノ山	部分廃止	体育館存続の検討
勤労青少年ホーム	角館町外ノ山	存続	機能維持のための修繕等実施
西長野交流センター	角館町西長野	部分廃止	10年後目途に体育館存続と譲渡の可能性検討
下延コミュニティセンター	角館町下延	譲渡検討	地元への譲渡検討
八割コミュニティセンター	角館町八割	譲渡検討	地元への譲渡検討
外町交流広場	角館町岩瀬町	存続	機能維持のための修繕等実施
雲沢集落センター	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
白岩集落センター	角館町白岩	存続	機能維持のための修繕等実施
中川集落センター	角館町川原中道	除却	除却
旧白岩駐在所	角館町白岩	譲渡	地元への譲渡検討
就業改善センター	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖総合開発センター	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
市民会館	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
旧田沢地区コミュニティホーム	田沢湖田沢	除却	機能を他施設に集約し、除却を検討
田沢交流センター(管理・教室棟)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢出張所車庫(兼消防ポンプ置場)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
西木総合開発センター	西木町上荒井	存続	中央公民館機能へ

西木公民館	西木町門屋	除却	除却
桧木内地区公民館	西木町桧木内	廃止検討	他施設への機能集約を検討
多世代交流施設「山鳩館」	西木町上桧木内	廃止	他施設への機能移転を検討

### 3. 施設管理に関する基本的な方針

文化施設については、地域のコミュニティ機能の維持を目的に維持補修に努めますが、運動施設を併設する施設については、運動施設機能を残した規模縮小の可能性について検討を進めます。

また、類似する機能を持つ施設については、機能を一施設に集約し、老朽化が著しく維持管理費が高む施設は解体します。

地域の集落センターについては、地域への譲渡の可能性について協議を進めます。

## 【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	中川コミュニティセンター	延床面積	2,075 ㎡
所在地	角館町川原中道 41	建設年（耐用年数）	平成 6 年 1994（47 年）
複合施設名		経過年数	27 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

## 「基本的な方針の考え方」

令和 2 年 3 月 31 日を以て閉校となった「中川小学校」を、同年 7 月 1 日から「中川コミュニティセンター」の名称で地域コミュニティ活動の拠点施設とした。施設に大きな欠陥もなく、小規模な修繕程度で維持できると考えられるため、引き続き管理していく。

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 47（今後 10 年以上使用）】

耐用年数も残っており、建物の状況も良好なため、使用年数を今後 10 年以上とする。

## 4 管理上の課題等

今後、施設の一部が経年劣化により修繕が必要となる事態が発生する心配がある。

## 5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕をしながら、適正な維持管理を図る。
- ・経年劣化への対応として、予防保全型管理の実施と、計画的な修繕による建物の長期利用を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	638	646	501	旧中川小学校体育館分含む
運用コスト	3,716	4,193	3,699	旧中川小学校体育館分含む
修繕コスト	866	1,224	8	旧中川小学校体育館分含む
その他			10,738	旧中川小学校冷房設備工事
(合計)	5,220	6,063	14,856	旧中川小学校体育館分含む

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				令和元年度まで小学校のため実績なし

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				令和元年度まで小学校のため実績なし

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	中川コミュニティセンター体育館	延床面積	1,025 ㎡
所在地	角館町川原中道 4 1	建設年（耐用年数）	平成 6 年 1994（47 年）
複合施設名		経過年数	27 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」  
 令和 2 年 3 月 31 日を以て閉校となった「中川小学校」を、同年 7 月 1 日から「中川コミュニティセンター」の名称で地域コミュニティ活動の拠点施設とした。施設に大きな欠陥もなく、小規模な修繕程度で維持できると考えられるため、引き続き管理していく。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47（今後 10 年以上使用）】

耐用年数も残っており、建物の状況も良好なため、使用年数を今後 10 年以上とする。

4 管理上の課題等

今後、施設の一部が経年劣化により修繕が必要となる事態が発生する心配がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕をしながら、適正な維持管理を図る。
- ・経年劣化への対応として、予防保全型管理の実施と、計画的な修繕による建物の長期利用を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				旧中川小学校校舎分に含む

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				令和元年度まで小学校 体育館のため実績なし

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				令和元年度まで小学校 体育館のため実績なし

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧中川小学校プール	延床面積	494 m <sup>2</sup>
所在地	角館町川原中道 74	建設年（耐用年数）	昭和 54 年（ 年）
複合施設名		経過年数	47 年
特記事項	※耐震化不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	中川小学校が閉校となり、利用する機会がなくなったため。
<p>「基本的な方針の考え方」                  令和元年度いっばいで中川小学校が閉校となったのに伴い、利用者もいなくなり、プールも老朽化して、維持管理にコストがかかるため、除却に向けて検討すべきと考える。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

プールは現在使用中止にしているが、雨水が溜まった場合の排水等で、電気料などの維持管理費が負担となっている。。
--

5 管理に関する実施方針

解体をして、できるだけ早く除却するべきと考える。
--------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4	解体実施設計	734	
R 5	除却工事	3,000	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		3,734	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	45	47	49	
運用コスト	410	452	367	
修繕コスト	43	233	99	
その他				
(合計)	498	732	515	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

## 【個別票】

更新日：令和 3 年 3 月 1 日

所管課（部署）	生涯学習課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市角館交流センター	延床面積	1,837 m <sup>2</sup>
所在地	角館町上菅沢 77-30	建設年（耐用年数）	昭和 63 年 1988 年 (22 年)
複合施設名		経過年数	32 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面では良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	大規模改修を実施 機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数を過ぎているものの、建物全体としては不良とまで言えない施設である。しかし、多目的ホール・ステージにある吊り物や照明が危険な状態であったり、キュービクル内高圧機器の更新及び改修等を要する箇所が多々ある。角館庁舎に隣接しており、今後も利用者の増加が見込まれるため、大規模改修を実施し、存続を図る。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化の検討は行っていない。

## ※ 公民連携の検討について

公民連携の検討は行っていない。

## ※ 民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

## ※ 国・県協働の検討について

国・県協働の検討は行っていない。

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

大規模改修を実施し、60 年（今後 28 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、建替の可能性も含めた検討をする。

## 4 管理上の課題等

- ・多目的ホール・ステージの吊り物や照明の保守点検を行った結果、落下の危険性が指摘された。
- ・キュービクル内の高圧機器が耐用年数を過ぎており、電気保安協会から停電の危険性が指摘されている。
- ・事務室や研修室のブラインドの紐が切れており、交換が必要である。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、大規模改修も含め、吊り物や照明、トイレの改修やキュービクル内高圧機器の更新、床の貼りかえ、ブラインドの交換のほか、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	トイレ手洗い場修繕、PCB分析等	※310	実施済
R 3	トイレ修繕	158	
R 4	トイレ修繕、キュービクル内機器更新	9,156	
R 5	トイレ修繕、ブラインド交換	857	
R 6	トイレ修繕	136	
R 7	大規模改修	459,250	
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		469,867	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他	11,513	11,513	11,726	指定管理料
(合計)	11,513	11,513	11,726	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	42,159	38,270	37,702	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 12 日

所管課（部署）	角館公民館
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	角館東地区公民館	延床面積	4,678 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市外ノ山 11	建設年（耐用年数）	昭和 54 年 1979（47 年）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化未実施	構造・階数	RC・3 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	部分廃止	体育館のみ存続が可能か検討を進める。
「基本的な方針の考え方」 体育館は改修等により存続とし、他の施設機能は他施設に集約・複合化を検討する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

周辺公共施設への機能集約化、複合化について検討を進める。

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 67 年】

体育館の改修工事による機能維持が可能かを検討する。

## 4 管理上の課題等

公共施設等総合管理計画・仙北市地域防災計画のほか、秋田県耐震改修促進計画（第 2 期計画）でも市町村指定避難所になっている施設であるが、体育館は屋根の雨漏りが著しく耐震補強等も未定であり、水道は飲料水としては不適で冷暖房もない。また、施設内外の面積が広く正規職員 2 人で維持管理・環境整備等を行うのが困難である。

## 5 管理に関する実施方針

体育館の改修工事による機能維持と併せ、管理棟部分の機能移転の可能性について調整を進め、管理棟部分の除却について検討する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4	体育館屋改修工事	29,550	
R 5	駐車場舗装補修工事	1,300	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		30,850	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,254	1,274	1,335	
運用コスト	2,458	3,783	4,175	H30～臨時職員雇用
修繕コスト	1,404	1,104	360	男女トイレ修繕等
その他	0	254	0	側溝蓋設置工事
(合計)	5,116	6,413	5,869	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	185	198	222	パソコン教室（ハローワーク離職者等再就職訓練）

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	20,912	18,242	10,924	R 元年野球場所管替

## 【個別票】

更新日：令和 3 年 3 月 1 日

所管課（部署）	生涯学習課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市勤労青少年ホーム	延床面積	726 m <sup>2</sup>
所在地	角館町外ノ山 19	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 1982 年 (31 年)
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	鉄骨構造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	大規模改修含む維持管理を継続、公民館機能集約の可能性を検討
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>建物の老朽化が著しい状況にあるが、利用者数や稼働率から見ても、隣接するテニスコートを含め、体育施設としての機能の維持は必要である。</p> <p>また、将来的に公民館的機能の集約化の可能性について、並行して検討を進める。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

周辺の体育施設・集会施設等との集約を検討する。
-------------------------

## ※ 公民連携の検討について

公民連携の検討は行っていない。
-----------------

## ※ 民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。
--------------------

## ※ 国・県協働の検討について

国・県協働の検討は行っていない。
------------------

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

周辺の施設と集約されなかった場合には、耐用年数を過ぎているため、大規模改修を実施し、60 年（今後 22 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、建替について検討する。
---

## 4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>軽運動室の内壁が雨漏りにより腐食しているため改修が必要となるが高額となる。</li> <li>和室にエアコンの設置を検討する。</li> <li>避難所に指定されているため、多機能トイレの改修を行う。</li> </ul>
--

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、大規模改修も含め、冷房設備設置、多目的トイレ改修のほか、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	軽運動室屋根改修 (防水) 工事	※3,729	実施済
R 3	玄関モルタル補修、玄関証明設置工事	120	
R 4	大規模改修		
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			※60年目
R 26			
R 27			
合 計		3,849	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他	4,303	4,303	4,303	指定管理料
(合計)	4,303	4,303	4,303	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	8,597	8,851	8,577	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西長野交流センター	延床面積	2,868 m <sup>2</sup>
所在地	角館町西長野中泊 402	建設年（耐用年数）	平成 3 年 1997（47 年）
複合施設名		経過年数	29 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面は良好な施設
基本的な方針	部分廃止	部分廃止後、譲渡を含めた検討をする
<p>「基本的な方針の考え方」                  体育館の使用頻度が高く、修繕を継続しながら存続していく。                  旧校舎の部分については、10 年後を目途に部分廃止を検討し、その後、譲渡についても検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

体育館の使用頻度が高く、修繕をしながら今後 10 年以上使用する。 旧校舎の部分については、10 年後を目途に廃止を検討する。
--

4 管理上の課題等

屋根の損傷が激しく、施設内の所々で雨漏りが発生しており、屋根の改修が必要となる。
--

5 管理に関する実施方針

当面は、適切な維持管理に努めながら、施設のあり方について地域を含め検討を進める。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5	体育館棟の屋根修繕	20,000	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		20,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	767	799	801	
運用コスト	1,594	1,694	1,482	
修繕コスト	2,765	1,176	306	
その他	3,382	7,925		平成 30 年度消防用設備等改修工事施工
(合計)	8,508	11,594	2,589	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	5,140	6,703	6,470	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	下延コミュニティセンター	延床面積	505 ㎡
所在地	角館町下延段添 198	建設年（耐用年数）	平成 2 年 1990（22 年）
複合施設名		経過年数	31 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要 ※指定管理	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	譲渡検討	今後、10 年後を目途に地域への譲渡を検討
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数を経過しているが、施設に大きな欠陥もなく、小規模な修繕程度で維持できると考えられるため、引き続き指定管理者制度を活用して管理していく。</p> <p>今後、10 年後を目途に地域への譲渡を検討していく。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 41 年】

建物の耐用年数を超過しているが、建物の状況をみると十分に使用できることから、使用年数を今後 10 年以上とする。目標使用年数経過後は、建物の状況や利用者数を見ながら、以後の方針を決定する。
--

4 管理上の課題等

大きな欠陥もなく健全であるが、耐用年数を超過しているため、今後は経年劣化による建物や設備の損傷等が懸念される。
---

5 管理に関する実施方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標使用年数までは、機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。</li> <li>・経年劣化への対応として、予防保全型管理の実施と、計画的な修繕による建物の長期利用を図る。</li> </ul>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	889	889	905	指定管理料
(合計)	889	889	905	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	813	995	1,065	下延農村公園分含む

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	八割コミュニティセンター	延床面積	185 m <sup>2</sup>
所在地	角館町八割西ケ沢 195	建設年（耐用年数）	平成 8 年 1996（22 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要 ※指定管理	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面は良好な施設
基本的な方針	譲渡検討	今後、10 年後を目途に地域への譲渡を検討する。
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数を経過しているが、施設に大きな欠陥もなく、小規模な修繕程度で維持できると考えられるため、引き続き指定管理者制度を活用して管理していく。</p> <p>今後、10 年後を目途に、地域への譲渡を検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 34 年】

建物の耐用年数を超えているが、建物の状況をみると十分に使用できることから、使用年数を今後 10 年以上とする。目標使用年数経過後は、建物の状況や利用者数を見ながら、以後の方針を決定する。
---

4 管理上の課題等

FF 式暖房設備器具が老朽化し、更新が必要となってきた。
------------------------------

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までには、暖房設備の更新等、必要最小限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	FF 式暖房設備器具の更新 (1 台)	266	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		266	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	103	103	103	指定管理料
(合計)	103	103	105	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	409	310	373	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 26 日

所管課（部署）	商工課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	外町交流広場	延床面積	145 ㎡
所在地	角館町岩瀬町 10	建設年（耐用年数）	平成 20 年 2008（50 年）
複合施設名		経過年数	12 年
特記事項	存続	構造・階数	鉄筋コンクリート・1F

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハート面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 角館地区中心市街地活性化と観光交流サービスの向上のための施設として、まちづくり交付金を活用して設置。 施設管理は指定管理者制度を適用し、NPO 立町商店会が行っている。修繕して存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域住民、NPO 立町商店会と協議のうえ、目標使用年数を設定する必要があるが、耐用年数を目標とする。
--

4 管理上の課題等

適切な管理と運営が行われており、特に課題等はない。
---------------------------

5 管理に関する実施方針

・必要最小限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,150	2,150	2,190	指定管理料
運用コスト	22	22	23	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,172	2,172	2,213	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	45,404	38,289	40,255	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	雲沢集落センター	延床面積	581 m <sup>2</sup>
所在地	角館町雲然田中 437-13	建設年（耐用年数）	S59 1984（47年）
複合施設名		経過年数	36年
特記事項	避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート・2F

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持。地域に同機能施設がなく存続が必要

「基本的な方針の考え方」  
 建築後 30 年を経過しているが、耐用年数経過前で比較的良好な状態にあり、農林業の振興及び農業団体育成保護のため今後も必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

建物の耐用年数以上使用することを目標とし、目標使用年数経過後は、建物の状態や利用状況を見ながら以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

屋根の老朽化により、応急修繕により機能維持をしているが、建物自体は健全である。しかし、開錠・施錠の管理人の選定に苦慮している。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最小限の修繕を実施し、建物を維持する。  
 地域活性化拠点施設であり、基本的に耐用年数以上の利用を目標とする。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	屋根修繕工事	627	
	屋根東面 2 階屋根軒先修繕	499	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,126	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	197	197	199	
運用コスト	1,952	1,952	2,360	
修繕コスト	72	72	0	
その他	0	0	1,126	
(合計)	2,221	2,221	3,685	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	5,712	3,716	4,039	

【個別票】

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	白岩集落センター	延床面積	464 m <sup>2</sup>
所在地	角館町白岩上西野 123	建設年（耐用年数）	S45 1975（47年）
複合施設名		経過年数	45年
特記事項	避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート・2F

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持。地域に同機能施設がなく存続する

「基本的な方針の考え方」  
 建築後40年を経過しているが、耐用年数経過前で比較的良好な状態にあり、農林業の振興及び農業団体育成保護のため今後も必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 48年】

建物の耐用年数以上使用することを目標とし、目標使用年数経過後は、建物の状態や利用状況を見ながら以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

外壁の老朽化が進んでおり、大規模な修繕が望ましい。建物自体は健全である。しかし、開錠・施錠の管理人の選定に苦慮している。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最小限の修繕を実施し、建物を維持する。  
 地域活性化の拠点施設であり、基本的に耐用年数以上の使用を目標に機能維持を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	10	10	10	
運用コスト	631	720	639	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	641	730	649	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	36	34	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,371	1,169	1,254	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	中川集落センター	延床面積	488 ㎡
所在地	角館町川原中道 6 6	建設年（耐用年数）	S53 1978（38 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート造・2F

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除却と併せ譲渡について協議を継続する
<p>「基本的な方針の考え方」                  令和 2 年 6 月末、旧中川小学校へ機能移転し施設の譲渡を目的に協議してきたが、アスベスト含有が疑われ協議が頓挫している。引き続き譲渡に向けた対応と協議を継続する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

今後、引き続き民間への有償譲渡について、関係部署と協議をすすめる。
-----------------------------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	317	317	0	
運用コスト	715	715	232	
修繕コスト	275	248	0	
その他	0	0	0	
(合計)	1,307	1,280	232	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	3,409	2,300	1,952	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧白岩駐在所	延床面積	81 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市角館町白岩上西野 123-2	建設年（耐用年数）	昭和 62 年 1987 年 (24 年)
複合施設名		経過年数	33 年
特記事項	平成 24 年県より譲渡	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ハード面は良好だが、ソフト面が良好でない施設
基本的な方針	廃止	地域への譲渡を検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  現在、民間団体（白岩陶芸組合）に無償貸付けし利用を継続している。施設に係る維持管理費及び補修費等も団体で行っており、譲渡の方向で検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

現在使用している民間団体と譲渡に向けた検討を行う。
---------------------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 36 年】

譲渡に向けた検討の期間を 3 年とする。
----------------------

4 管理上の課題等

現在のところ、問題は何もない。
-----------------

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	就業改善センター	延床面積	1,014 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖神代字古館野 404-1	建設年（耐用年数）	S53 1978（47年）
複合施設名		経過年数	42年
特記事項	避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート造・2F

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討

「基本的な方針の考え方」

補助事業等を活用し、外壁工事をしている。建築後 40 年を経過しているが、農林業の振興及び農業団体育成保護のため今後も必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 52 年】

建物の耐用年数以上使用することを目標とし、目標使用年数経過後は、建物の状態や利用状況を見ながら以後の方針を決定する。

## 4 管理上の課題等

施設全体が老朽化しているため、利用者のニーズに対応した修改善等が必要である。

## 5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最小限の修繕を実施し、建物を維持する。  
利用率が高いため、利用者の要望に応えながら機能維持していく。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	受水槽取替工事 防災連動制御盤修繕 浄化槽蓋交換修繕	7,238 152 99	
R 3	調理室内装工事	—	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		7,489	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	250	250	250	
運用コスト	7,251	7,374	7,524	
修繕コスト	33	9	426	
その他	0	0	0	
(合計)	7,534	7,633	8,200	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	1,367	1,130	1,246	利用料・JA 負担金

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	17,208	17,362	14,617	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖総合開発センター	延床面積	1,452 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 27	建設年（耐用年数）	S49 1974（47年）
複合施設名		経過年数	46年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造 2階建

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持。地域に同機能を有する施設がないため

「基本的な方針の考え方」

田沢湖生保内地区における市民活動の拠点として中核の施設となっている。産業及び社会の開発並びに市民の健康及び福祉の増進に寄与するため必要な施設であり、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 56 年以上】

今後1年で耐用年数を迎えることになるが、機能維持のための修繕を実施しつつ、今後10年以上は建物を使用する。目標使用年数経過後は、建物の状況や利用者数を見ながら以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

建物の老朽化が進行。間もなく耐用年数を迎えるが、今後、存続させていくためには大規模改修（耐震補強）が必要であり、多額の費用が必要となる。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額（千円）	備考
R 2			
R 3			
R 4	耐震補強工事	1,000	
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	43	32	43	
運用コスト	5,983	6,233	6,504	
修繕コスト				
その他				
(合計)	6,026	6,265	6,547	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	62	59	59	会議室利用料 自販機設置料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	25,012	23,686	19,524	

【個別票】

所管課（部署）	生涯学習課（市民会館）
---------	-------------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市民会館	延床面積	2,803 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 105-1	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980（47 年）
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	※避難場所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート 3 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面・ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	存続	機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」                  市の芸術文化向上の一翼を担う施設として、広く市民に親しまれ楽しんでいただくために、建物や設備の計画的な修繕・更新を実施しながら、長寿命化に努める。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

平成 26 年から 27 年にかけて、事務事業移転室を中心に指定管理者制度を検討したが、各種設備機器の更新が必要という結論で断念。

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

今後 7 年で耐用年数を迎えるが、必要最小限の修繕を実施し 60 年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、大規模改修等存続について検討する。

4 管理上の課題等

各種設備機器の更新時期が近い又は超えているものもあり、早急な対応が必要だが、それぞれが高額なため未実施個所が多い。  
 現状、専任職員が 1 人のみの配置となっており、管理運営上 2 人以上の専任職員が望ましい。

5 管理に関する実施方針

各種設備については、令和 3 年度を検討期間とする活性化委員会を軸とした改修検討会議を開催し、多機能型フリースペースや親子休憩室、座席数の削減等の改修に併せて、老朽化した内部設備の更新や修繕を実施する基本構想計画を策定する予定。財源については、地方創生拠点整備交付金を見込んでいる。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	地下重油タンク FRP ライニング施工 修繕、非常用自家発電設備修繕等	2,660	完了済
R 3	市民会館改修 基本構想	350	
R 4	市民会館改修 実施設計		※未定
R 5	市民会館改修 改修工事		※未定
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			※耐用年数
R10			
R11			
R12			
R13			
R14			
R15			
R16			
R17			
R18			
R19			
R20			
R21			
R22			
R23			
R24			
R25			
R26			
R27			
合 計		3,010	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	5,171	5,339	5,240	主に保守点検
運用コスト	17,534	18,743	19,819	舞台管理委託、光熱水費等
修繕コスト	3,646	4,642	928	各種設備修繕
その他 (改修・更新等)	611	0	0	スフリンクラー警報装置等
その他 (備品購入)	1,038	942	44	電球、マイク等
(合計)	28,000	29,666	26,031	※千円以下切捨

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	343	96	185	設備使用料
利用料収入	29	26	25	自動販売機設置

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	14,477	8,590	6,994	JA は H29 まで
催事回数	133	124	166	コース練習等含

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧田沢地区コミュニティホーム	延床面積	495 ㎡
所在地	田沢湖田沢字高屋 151	建設年（耐用年数）	昭和 50 年 1975（34 年）
複合施設名		経過年数	50 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除却に向けた地域との話し合いを継続する。
「基本的な方針の考え方」 地域の交流の場としての利用がされているが、地域のコミュニティの拠点としては、田沢交流センターがその役割を担うことは十分可能であり、施設は除却し田沢交流センターに集約する方向で検討したい。 ※「むらの喫茶店たざわ」無償貸付け：毎週火・土 2 日間営業 10：30～14：30		

※ 集約・複合化の検討について

田沢交流センターとの集約を図る。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 55 年】

除却に向けた方針を地域と議論する期間を 5 年とする。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

5 年を目途に適切な管理を行う。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	3	3	3	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	3	3	7	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	田沢出張所
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢交流センター（管理、教室棟）	延床面積	1,932 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字大山 7	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980（47 年）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	※避難所指定 出張所併設	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討

「基本的な方針の考え方」

出張所、公民館、集会所等田沢地域の重要な複合施設である。  
機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

幼稚園、小中学校がなくなり、田沢地区の歴史が分かるような資料館的な役割を検討する。

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

機能維持の修繕を実施しながら 60 年（今後 19 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

4 管理上の課題等

給排水設備が老朽化し改修が必要となる可能性がある、天井、床下配管のため同改修は大規模、高額となる。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	603	618	678	
運用コスト	6,233	6,558	6,626	
修繕コスト	111	134	72	トイレ床排水、屋上煙突屋根、玄関出入口戸車 等
その他	0	1,675	0	玄関屋根防水シート改修
(合計)	6,947	8,985	7,376	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	65	64	8	使用料、自動販売機設置料、電気料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	4,452	3,032	1,940	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	田沢出張所
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢出張所車庫（兼消防ポンプ置場）	延床面積	46.27 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字大山 7	建設年（耐用年数）	平成 17 年 2005（17 年）
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」 積載車が入っており、消防活動の重要拠点であるため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

機能維持の修繕を実施しながら 30 年（今後 14 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。
---

4 管理上の課題等

特になし。
-------

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	西木市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木総合開発センター	延床面積	905.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上荒井字古堀田 47	建設年（耐用年数）	昭和 50 年 1975（47 年）
複合施設名		経過年数	45 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	他施設の機能を集約する
「基本的な方針の考え方」 令和 3 年度から仙北市中央公民館として活用される。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

耐用年数を考慮しながら、ハード機能維持等の修繕を図りながら、今後 10 以上の使用を検討する。
---

4 管理上の課題等

小破修繕は見込まれるが、特段の課題等は現時点では想定していない。
----------------------------------

5 管理に関する実施方針

適切な維持補修により、目標使用年数以上の利用を目指す。
-----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1, 048	1, 533	2, 513	
運用コスト	2, 547	2, 478	2, 414	
修繕コスト	432	8, 674	365	
その他				
(合計)	4, 027	12, 685	5, 292	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	西木公民館
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木公民館	延床面積	671.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字漆原 89-2	建設年（耐用年数）	昭和 43 年 1968 年（50 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設	
基本的な方針	廃止	R3.3.31 で施設閉鎖 除却予定	
「基本的な方針の考え方」 R3 年 4 月 1 日より、西木庁舎に移転。その後除却。			

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

R3 年 3 月 31 日 迄。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,725	2,578	2,562	
運用コスト	1,639	1,787	1,776	
修繕コスト				
その他				
(合計)	4, 364	4, 365	4, 338	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	45	51	72	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	5,654	5,826	5,683	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	西木公民館
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	桧木内地区公民館	延床面積	529.0 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桧木内字松葉290-1	建設年（耐用年数）	昭和 43 年 1968 年（50 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設は 53 年経過しているが、地区住民の利用度も高い。
基本的な方針	廃止検討	機能移転の可能性を検討
「基本的な方針の考え方」 他施設への機能移転について検討を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

地域全体の公共施設についての機能集約化について検討を行う。
-------------------------------

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

機能移転の議論を 7 年以内とし、この期間は適切な管理に努める。
----------------------------------

4 管理上の課題等

2 階の集会室に冷房設備がなく、夏場は何をするにもかなり暑くエアコンの設置を検討する。
---

5 管理に関する実施方針

当面、適切な維持管理に努める。
-----------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,709	2,710	2,718	
運用コスト	710	716	728	
修繕コスト	0	43	65	
その他				
(合計)	3,419	3,469	3,511	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	24	17	17	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,967	2,362	2,356	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	長寿支援課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	多世代交流施設 山鳩館	延床面積	1,701 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字大森 37	建設年（耐用年数）	昭和 42 年 1967 （ 22 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止検討	他施設との統合を検討
<p>「基本的な方針の考え方」 平成 11 年より多世代交流施設山鳩館として利用している。 老朽化が著しく長く存続するためには大規模な改修を要するため、他施設への機能移転の方向で検討する。</p>		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 63 年】

今後 10 年以内を目途に他施設への機能移転を目指す。
-----------------------------

## 4 管理上の課題等

施設の老朽化により屋根の改修が必要となっているが、改修は高額となる。また、旧保育所部分については、今後の利用等について検討する必要がある。
---

## 5 管理に関する実施方針

機能移転まで安全を確保しながら、適切な維持管理に努める。
------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	山鳩館事務室側屋根塗装及び修繕	502	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		502	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	453	426	454	
運用コスト	1,597	1,363	1,595	光熱水費等
修繕コスト				
その他				
(合計)	2,050	1,789	2,049	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	172	150	187	生きがい通所利用料・調理室使用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	571 人／24 回	504 人／19 回	586 人／22 回	通所／調理室

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(社会教育施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
総合情報センター	角館町田町上丁	存続	機能維持のための修繕等実施
角館工芸指導所	角館町外ノ山	存続	機能維持のための修繕等実施
角館樺細工伝承館	角館町表町下丁	存続	機能維持のための修繕等実施
角館伝統的建造物群保存地区管理事務所	角館町東勝楽丁	存続	機能維持のための修繕等実施
旧石黒(恵)家	角館町表町上丁	存続	機能維持のための修繕等実施
旧岡田家	角館町東勝楽丁	廃止検討	改築含む利活用を検討
平福記念美術館	角館町表町上丁	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖郷土史料館	田沢湖田沢	除却	除却済み(H30実施)
田沢湖図書館	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
山の幸資料館	田沢湖西明寺	除却	森の学校へ機能移転を検討、除却
田沢湖クニマス未来館	田沢湖湯	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

社会教育施設については、大規模改修を含め、計画的な維持補修に努めます。

旧岡田家については、老朽化が著しい状況にありますが、寄贈された経緯があり、解体し新築修景の可能性について検討を進めます。

また、山の幸資料館については、雨漏りからの腐食、屋根の一部崩落などがあり、同エリアに位置する「森の学校」への機能移転を図ります。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 21 日

所管課（部署）	総合情報センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市総合情報センター	延床面積	3034 m <sup>2</sup>
所在地	角館町田町上丁 23	建設年（耐用年数）	平成 12 年 2000 年 （ 50 年）
複合施設名		経過年数	21 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート（一部 2 階）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面ともに良好
基本的な方針	存続	機能維持のための大規模改修を検討
<p>「基本的な方針の考え方」 市の情報システム管理の中核施設、また教育施設（学習資料館・文学館）がセンター内に配置しており継続する方針となっている。 この方針に基づき機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

この施設の耐用年数までには、まだ 30 年位あり、また目標使用年数経過後はその後の存続等については検討する。
--

4 管理上の課題等

冷温水発生機（ボイラー式冷暖房機）の更新、屋根の修繕等必要だと思われる。 屋根修繕は、劣化し過ぎと高コストになるため数年後には施行を推奨されている。
---

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、冷暖設備等は必要最低限の修繕等実施し管理を図るが、これから 30 年間の維持は難しいことから、いずれ更新が必要となる。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	冷温水発生機操作盤改修整備	2,640	修繕完了済
R 3	冷温水発生機分解整備、サーバー室冷房更新	8,500	令和3年度当初予算要求予定
R 4			
R 5	LED照明へ更新	9,500	検討中
R 6	屋根修繕	14,259	検討中
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		34,899	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	139,867	146,117	164,015	
運用コスト	37,421	38,311	40,864	
修繕コスト	1,261	1,738	3,456	
その他				
(合計)	178,549	186,166	208,335	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料収入	13,298	14,112	11,603	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	47,496	46,517	46,279	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 26 日

所管課（部署）	商工課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館工芸指導所	延床面積	612 m <sup>2</sup>
所在地	角館町外ノ山 18	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（31 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハート面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	屋根修繕を要検討 機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」                  樺細工、本市特産木工芸品等の生産技術向上とその育成振興を図るための施設として設置。                  施設管理は指定管理者制度を適用し、角館工芸協同組合が行っている。                  当面修繕しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 51 年】

<p>樺細工等の精算振興に必要であり、当面、使用目標年数を 51 年（今後 11 年）とし維持管理を行う。</p>
---

4 管理上の課題等

<p>・以前水道料金が尋常でない金額となったことがあり、水道業者から調べてもらった経緯がある。                  （調査したが原因は不明）</p>
---

5 管理に関する実施方針

<p>地元産業振興の拠点施設であり、適切な維持補修を行い施設運営を図る。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	68	64	52	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	129	116	95	

【個別票】

所管課（部署）	角館樺細工伝承館
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館樺細工伝承館	延床面積	2,349 m <sup>2</sup>
所在地	角館町表町下丁 10-1	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1978（50 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	避難指定場所	構造・階数	鉄筋コンクリート一部 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面は良好
基本的な方針	存続	機能維持のため（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  角館の伝統工芸品樺細工の振興と観光の拠点施設という二つの使命を持つ施設である。                  武家屋敷地区のランドマークであり、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

<p>平成 29 年に屋根改修を行っている。機能維持の修繕を実施しながら 60 年（今後 18 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その存続等について検討する。</p>
---

4 管理上の課題等

<p>冷房設備の老朽化、機能低下が著しい。本年度（令和 2 年）夏期、冷房設備を稼働中も室温 30°を越える状態であり、早急な冷房設備改修が必要。</p>
---

5 管理に関する実施方針

<p>目標使用年数までは、冷房設備更新、館内照明の LED 化と、必要最低限の更新・修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。</p>
---

## 6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	冷房設備の更新	96,280	実施設計、工事、設計工事監理
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		96,280	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,060	2,407	1,946	
運用コスト	8,399	8,650	8,414	
修繕コスト	1,013	5,932	2,710	
その他	65,730			屋根改修工事、エアコン設置工事
(合計)	74,202	16,989	13,070	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	9,938	10,114	9,954	観覧料、使用料、図書等頒布代金

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	96,538	94,696	103,853	入館者、研修室利用者

## 【個別票】

所管課（部署）	文化財保護室
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	角館伝統的建造物群保存地区 管理事務所	延床面積	162㎡
所在地	仙北市角館町東勝楽丁6番1	建設年(耐用年数)	昭和56年 1981 (24年)
複合施設名		経過年数	39年
特記事項		構造・階数	木造・1階

※経過年数は令和2年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	存続	利用団体が営利を目的とした活動はしておらず、施設を譲り受け維持管理はできない。
「基本的な方針の考え方」 利用団体及び伝建群関係団体等と協議した結果、営利を目的とする活動拠点ではないため、維持管理はできなく、伝建群の拠点として市が直営で管理する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

当面、目標使用年数を45年（今後6年）とする。
-------------------------

## 4 管理上の課題等

<p>ハード面では、屋根の傷みが激しく、雨漏り等が発生する恐れもあるため早期に改修しなければならない。</p> <p>ソフト面では、応接室をかくのだて歴史案内人組合の事務所として、事務室の一角を角館北地域自主防災会の倉庫として永続的に使用されている。</p> <p>また、地域のパッチワーク教室として月1回使用されているが、公民館的活用の是非について検討する必要がある。</p>
---

## 5 管理に関する実施方針

<p>屋根の改修について、文化庁の補助事業の対象となるので、補助金を活用し実施する。</p> <p>パッチワーク教室について、角館公民館又は旧石黒（恵）家の活用を促すなど、使用団体と協議を進める。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根葺き替え	8,245	国庫補助金65%
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		8,245	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	63	60	67	光熱水費、汲取等
修繕コスト	—	—	40	鬼板修繕
その他	—	—	—	
(合計)	63	60	107	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	174人	186人	136人	

## 【個別票】

所管課（部署）	文化財保護室
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	旧石黒（恵）家	延床面積	224.37㎡
所在地	仙北市角館町表町上丁1番地	建設年(耐用年数)	昭和10年(24年)
複合施設名		経過年数	39年
特記事項		構造・階数	木造・一部2階建て

※経過年数は令和2年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	伝統的建造物として保存・活用を図る。

## 「基本的な方針の考え方」

仙北市の観光拠点である伝統的建造物群保存地区の一角にあり、観光客への一般公開と市民による利活用がなされており、建物の保存と公開が両立されている。今後修理の機会はあるが文化財の活用拠点として後世に継承するべく存続させていく。

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

<p>壁の亀裂など今後文化財修理を要する。 料理教室など市民の利用頻度が高い台所に冷暖房設備がなく、エアコンの設置を検討する。 また冬期間は、足がかじかむほど床が冷たく、断熱材を入れるなどの対策が必要である。</p>
--

## 5 管理に関する実施方針

必要最低限の修理等を実施し、冷暖房設備の設置等を検討する。
-------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	3,836	4,159	4,308	管理人人件費ほか
修繕コスト	—	59	38	小破修繕
その他	—	—	—	
(合計)	3,836	4,218	4,346	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料収入	6	1	3	部屋使用料

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	2,092人	1,977人	2,107人	部屋利用者
入館者数	7,159人	5,015人	5,033人	観光客等

## 【個別票】

所管課（部署）	文化財保護室
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	旧岡田家	延床面積	416.2㎡
所在地	仙北市角館町東勝楽丁24番	建設年(耐用年数)	昭和33年(24年)
複合施設名		経過年数	62年
特記事項		構造・階数	木造亜鉛メッキ鋼板葺・2階建

※経過年数は令和2年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	廃止検討	改築含む利活用を検討
「基本的な方針の考え方」 市に無償譲渡された建物であるが、傷みもあり今後は、解体し新築修景の上、利活用を図っていく。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

一部に天井の落下、雨漏りがある。
------------------

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R10			
R11			
R12			
R13			
R14			
R15			
R16			
R17			
R18			
R19			
R20			
R21			
R22			
R23			
R24			
R25			
R26			
R27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	52	52	52	自家用電気工作物保安
運用コスト	117	93	81	需用費、光熱水費
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	169	145	133	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	角館町平福記念美術館
---------	------------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	角館町平福記念美術館	延床面積	1,451 m <sup>2</sup>
所在地	角館町表町上丁 4-4	建設年（耐用年数）	昭和 63 年 1988（50 年）
複合施設名		経過年数	33 年
特記事項		構造・階数	R C 造・一部二階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設	
基本的な方針	存続	空調機器の更新（大規模改修）を実施・検討	機能維持
「基本的な方針の考え方」 樺細工伝承館、新潮社記念文学館などと共に仙北市の観光の一翼を担う施設である。 建物自体は屋根改修工事等を経て建設当初の機能を維持した状態にある。一方、空調機器は老朽化が進んでいるため、なるべく早期に更新したい。			

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

建物自体は東日本大震災の影響も受けなかった堅牢な施設である。平成 24 年度から 27 年度にかけて屋根改修工事を、30 年度に展示室屋根防水補修工事を行っている。他に回廊に続くスロープや階段のタイル補修等を実施して外観の保持を図っている。空調設備をはじめ老朽化している館内設備を適宜更新することで、この先長く使用できるものと思われる。

## 4 管理上の課題等

今年度、空調設備の心臓部である冷温水発生機の不具合箇所整備・部品交換等の大規模修繕を行ったが、空調設備の他の部位も老朽化が進んでおり装置全体の更新が望まれる。空調設備の更新にあたっては、現行方式（冷暖房切替型）にするか冷暖房別個の方式にするか、環境にやさしい燃料消費の少ない方式か、ダクトの耐久性（更新する装置の出力に対応可能か）などを調査・検討する。

## 5 管理に関する実施方針

貴重な作品を扱っている施設であり雨漏りの発生は絶対にあってはならないため、屋根の状態については注意を払う必要がある。機械設備は館の運営に支障が出ないよう順次更新したい。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4	冷温水発生機更新	47,366	実施設計、工事、設計工事監理
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		47,366	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,421	1,426	1,495	
運用コスト	19,124	19,031	21,936	
修繕コスト	875	464	265	冷温水発生機関係
その他	670	375	0	ハンドドライヤー取付
(合計)	22,090	21,296	23,696	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	2,386	2,279	1,647	入館料+自販機設置

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	13,433	13,198	11,256	入館者数

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖郷土史料館	延床面積	311 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字春山 地内	建設年（耐用年数）	昭和 44 年 1969（不明）
複合施設名		経過年数	51 年
特記事項	平成 30 年解体済み	構造・階数	鉄骨造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	平成 30 年解体済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	100	100	100	
運用コスト	1,950	1,982	1,853	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	2,050	2,082	1,953	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,181	1,287	1,109	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	生涯学習課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖図書館	延床面積	756 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 105-1	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（50 年）
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面・ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 市民の教育と文化の発展に必要な施設であり、機能維持のための修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

平成 26 年から 27 年にかけて、事務事業移転室を中心に指定管理者制度を検討したが、各種設備機器の更新や角館の学習資料館との同時委託の検討が必要という結論で断念。
---

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

今後 12 年で耐用年数を迎えるが、必要最小限の修繕を実施し 60 年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、大規模改修等存続について検討する。
---

4 管理上の課題等

ボイラー式の暖房設備が老朽化し、蒸気配管の改修が必要となっているが、天井、床下配管のため大規模で高額となる。FF 式暖房や外部灯油配管方式での更新を検討する。寄贈品（特に美術品）の保管場所が不足しているので、新設又は改修による専用所蔵庫の確保を検討する。 現状、専任職員が 1 人のみの配置となっており、管理運営上 2 人以上の専任職員が望ましい。
---

5 管理に関する実施方針

各種設備については必要最小限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	児童図書用書架修繕	35	済
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			※耐用年数
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		35	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	720	720	729	
運用コスト	5,568	4,288	3,686	H29 フィルム DVD 化
修繕コスト	279	1,270	103	H30 車庫修繕等
その他 (改修・修繕等)	3,045	0	0	ボイラー更新等
その他 (備品購入)	3,090	2,658	2,981	H29 入館者カウンター
(合計)	12,702	8,936	7,499	※千円以下切捨
【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	42	58	41	自動販売機設置等
【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	12,938	22,321	22,173	
蔵書数	49,148	41,886	39,954	
貸出冊数	15,442	18,043	18,884	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	山の幸資料館	延床面積	469 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字潟尻 117	建設年（耐用年数）	H1 1989（24 年）
複合施設名	かたまえ山森林公園	経過年数	31 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	機能移転と併せ除却を検討

「基本的な方針の考え方」  
 当施設はかたまえ山森林公園内に存在する施設である。  
 研修室の一部が雨漏りから腐食が進行し、屋根の一部が崩れ落ちている。当該部分を修復しない限り施設としての利用は困難であるため、修繕を行うか、行わずに除却へ向かうかの検討が必要である。森の学校への機能移転を図る。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

機能移転までの期間を目標使用年数とする。
----------------------

4 管理上の課題等

当施設は指定管理を行っている施設であるが、利用実績に乏しく、指定管理者からも今後の指定管理上における最大の課題であるとして問題提起されている施設である。今後の利用促進・保守については指定管理者も交えた協議が必要である。
---

5 管理に関する実施方針

森の学校への機能移転を目指し、当面は維持管理に努める。
-----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根塗装工事	5,707	
R 4	バルコニー及び屋根修繕工事	13,000	
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		18,707	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	(7,629)	(7,277)	(7,412)	0内はかたまえ山 森林公園指定管理 料の数字
運用コスト				
修繕コスト		78		
その他				
(合計)	0	78	0	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	21	19	34	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖クニマス未来館	延床面積	687 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖潟字ヨテコ沢 4	建設年（耐用年数）	平成 29 年 2017 年 (60 年)
複合施設名		経過年数	3 年
特記事項		構造・階数	木造地上 1 階・地下 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 観光、教育施設として、定期的な修繕を計画して存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切な維持管理に努め、できる限り長い年数の使用を目指す。
------------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

適切な維持管理に努める。
--------------

## 6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19	大規模修繕	10,000	20年経過。展示を含む改修。
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		10,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	6,595 (6,005)	7,535 (6,820)	8,010 (7,129)	自動ドア等 (うち会計年度職員 の person 費)
運用コスト	4,754	4,570	3,443	光熱水費等
修繕コスト	0	0	440	床修繕
その他	0	0	0	
(合計)	11,349	12,105	11,893	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	5,721	3,772	3,469	観覧料・使用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	25,003	18,164	16,300	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画

「個別施設計画」(運動施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
落合運動公園落合球場	角館町西野川原	存続	機能維持のための修繕等実施
武家屋敷小野崎家・武道館	角館町表町上丁	存続	機能維持のための修繕等実施
雲然野球場	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
雲然トレーニングセンター	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
生保内公園野球場	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
生保内市民体育館	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
生保内武道館	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢交流センター(屋内運動場)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢市民体育館	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
神代武道館	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
神代市民体育館	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
西明寺球場(袖野球場)	西木町小湊野	存続	機能維持のための修繕等実施
西木総合健康増進センター (吉田球場)	西木町桧木内	廃止検討	利用状況により廃止を検討
西木総合健康増進センター (吉田体育館)	西木町桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
西木林業者等健康増進施設 (体育館)	西木町門屋	転用	コミュニティセンターへ転用
旧上桧木内小学校	西木町上桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

運動施設については、人口減少と少子化により利用頻度が年々減少し、特に近年は、小学校の統廃合もあり、スポーツ少年団の活動も減少傾向にあります。

将来的には、利用状況や人口の推移も見据えた検討を進める必要がありますが、当面は一部廃止や転用などを除き、適切な維持管理に努めます。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 28 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	落合運動公園落合球場	延床面積	18,364 m <sup>2</sup>
所在地	角館町西野川原地内外	建設年（耐用年数）	平成 9 年 1997（50 年）
複合施設名		経過年数	23 年
特記事項	※避難場所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート・2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討

「基本的な方針の考え方」  
 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。  
 そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から 60 年間使用することを目標とする。

4 管理上の課題等

- ・老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。
- ・機能向上のため、スコアボードの電光掲示板化を検討する。

5 管理に関する実施方針

- ・老朽化等による補修等を要する場合も含め、適切な維持管理に努める。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	535	536	544	
運用コスト	5,416	6,860	7,167	
修繕コスト	521	214	204	
その他				
(合計)	6,472	7,610	7,915	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	104	141	207	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	4,529	5,810	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 21 日

所管課（部署）	角館公民館
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	武家屋敷小野崎家・武道館	延床面積	1,363 ㎡
所在地	仙北市表町上丁 6 番地	建設年（耐用年数）	平成 12 年 2000（22 年）
複合施設名	角館公民館	経過年数	20 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	木造・平屋

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面において、老朽化度による屋根・外壁・板塀等の改修工事が必要。
基本的な方針	存続	市民の活動拠点として、機能維持のため修繕等を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 文化施設（小野崎家）・社会教育施設（公民館）・生涯スポーツ・社会教育スポーツ施設（武道館・弓道場）と多様な複合施設であり、市民の様々な活動の場や文化（観光）施設として大きな役割を果たしていることから、機能維持のため修繕等を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

今後 2 年で耐用年数を迎えるが、令和 3 年度以降に屋根・外壁等の改修を行い、機能維持のための修繕等も実施しながら 40 年以上の使用を目標とする。
---

4 管理上の課題等

小破修繕が見込まれるが、現時点での課題等は見受けられない
------------------------------

5 管理に関する実施方針

武家屋敷に位置する多様な複合施設であり、適切な維持管理に努め、市民のニーズに応える機能維持に努める。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4	角館公民館屋根・外壁塗装改修工事	16,041	文化庁補助金活用 (国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金)
R 5	武道館屋根・外部塗装改修工事	30,220	文化庁補助金活用 (国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金)
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		46,261	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,456	1,253	1,383	
運用コスト	3,798	4,755	3,874	
修繕コスト	2,926	586	587	内側サッシ取付・外壁塗装
その他	5,087	287	0	駐車場舗装・区画線工事
(合計)	13,266	6,878	5,843	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	41	87	48	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	26,402	26,560	26,241	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	雲然野球場	延床面積	13,303 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市角館町雲然田中 264-1	建設年（耐用年数）	昭和 61 年 1986（ 年）
複合施設名		経過年数	34 年
特記事項		構造・階数	

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面共に良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を継続
「基本的な方針の考え方」 市内野球団体の利用が多い施設である。 引き続き適正な維持管理を行いたい。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

築 34 年と比較的新しく、使用にあたり大きな問題は無い。 今後も機能維持のための改修・修繕を適正に行っていく。
---

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設しているトイレ・倉庫が老朽化しており、現在、仮設トイレ・プレハブの借用により対応している。令和 3 年度以降は、隣接する体育館のトイレを借用し、プレハブについては中古品購入を検討している。</li> <li>・外野が日陰になりやすく、コケが大量発生している。</li> </ul>
--

5 管理に関する実施方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も適正な維持管理を継続する。</li> </ul>
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	126	47	112	
修繕コスト	27	0	1,747	ダックアウト修理他
その他	0	0	498	簡易外野フェンス購入
(合計)	153	47	2,357	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,505	1,876	962	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	雲然トレーニングセンター	延床面積	947 m <sup>2</sup>
所在地	角館町雲然田中 437-13	建設年（耐用年数）	S61 1986（34 年）
複合施設名	雲沢集落センターの一部	経過年数	34 年
特記事項		構造・階数	鉄骨コンクリート

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討

「基本的な方針の考え方」

建築後 34 年となり、耐用年数経過したが比較的良好な状態にあり、農林業者の体力増強及び相互の連帯感を高めるため必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 39 年】

大きな修繕予定箇所がないことから、建物の耐用年数を経過したが、建物の状態や利用状況を見ながら以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

現在大規模な修繕計画もなく、建物自体は健全であるが、開錠・施錠の管理人の選定に苦慮している。

5 管理に関する実施方針

必要最小限の修繕を実施し、建物を維持する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	給水ポンプ修繕	246	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		246	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	149	151	151	
運用コスト	144	169	185	
修繕コスト	61	56	246	
その他	0	0	0	
(合計)	354	376	582	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	1	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	12,326	10,686	935	

【個別票】

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	生保内公園野球球場	延床面積	16,052 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野地内	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（50 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	※避難場所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート・2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」                  都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。                  そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から 60 年間使用することを目標とする。
--

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。
-------------------------

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は修繕を実施する。
---------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	216	184	185	
運用コスト	5,404	5,543	5,316	
修繕コスト	633	3,326	326	H30 トイレ改修等
その他				
(合計)	6,253	9,053	5,827	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	88	369	134	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	3,376	20,804	—	H30 高橋優フェス

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	生保内市民体育館	延床面積	1,387 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 105-1	建設年（耐用年数）	昭和 42 年 1967 年 (34 年)
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項	※避難所指定※耐震化未実施	構造・階数	鉄骨造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	老朽化し耐震未実施だが、利用度・稼働率・効率性は良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を継続
<p>「基本的な方針の考え方」                  経年劣化が著しく、特に屋根の雨漏りなどが顕著であるが、地域住民の利用頻度が高く、生保内地区のスポーツ活動の中心となっている。                  今後も機能維持のための修繕・改修を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 55 年】

築 53 年となっており、耐用年数（34 年）を大幅に経過しているが、今後も機能維持の改修・修繕を適正に行っていく。
--

4 管理上の課題等

令和 3 年度予算に屋根、トイレの大規模改修及び照明の LED 化を計上している。また、直射日光を避けるための遮光カーテン設置も計上し、利用者の利便性の向上を図る。
--

5 管理に関する実施方針

総合体育館構想と並行し、今後の当施設のあり方について検討しつつ、適正な維持管理を継続する。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	ブレーカー、水銀灯、ガラス修理	53	
R 3	屋根修理、トイレ改修、天井 LED 化、遮光カーテン設置工事等	56,238	R3 年度予算要求(予定)
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		56,291	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	293	116	243	
運用コスト	1,590	1,472	1,506	
修繕コスト	340	277	195	水銀灯、消化ホース等
その他			9	消火器購入
(合計)	2,223	1,865	1,953	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	196	177	168	自販機設置料等

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	5,165	4,598	3,107	

【個別票】

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	生保内武道館	延床面積	497 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 105・I	建設年（耐用年数）	昭和 51 年 1976 年 (34 年)
複合施設名		経過年数	44 年
特記事項	※避難所指定※耐震化未実施	構造・階数	鉄骨造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	老朽化し耐震未実施だが、利用度・稼働率・効率性は良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を継続
<p>「基本的な方針の考え方」                  経年劣化が著しく、特に屋根の劣化が顕著であるが、スポーツ少年団や地元中学校の部活動により、積極的に活用されている。                  今後も機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

築 4 4 年で耐用年数（34 年）を経過しているが、今後は機能維持のための改修・修繕を適正に行っていく。
---

4 管理上の課題等

経年劣化の著しい屋根については、定期的に修繕が必要である。
-------------------------------

5 管理に関する実施方針

今後も適正な維持管理を継続する。
------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	屋根修繕	264	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		264	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	11	11	11	
運用コスト	730	605	629	
修繕コスト	159	116	19	電気設備修繕等
その他				
(合計)	900	732	659	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	4	1	16	有料使用料等

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	4,174	2,716	2,222	

【個別票】

所管課（部署）	田沢出張所
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢交流センター（屋内運動場）	延床面積	810 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字大山 7	建設年（耐用年数）	平成 4 年 1992（34 年）
複合施設名		経過年数	28 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	鉄骨造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  グラウンドゴルフやスポ少のトレーニング等年間約 3 千人の利用がある。特に冬期間は暖房設備があるため、ほぼ毎日のように利用されている。                  機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

田沢地区に 3 カ所の体育館があるが、利用状況を見ながら集約を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

機能維持の修繕を実施しながら 40 年（今後 12 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

4 管理上の課題等

屋根の経年劣化が激しく、早急に対応する必要がある。  
 照明設備、外壁、給排水設備等経年劣化による不具合が発生する可能性があり、施設の機能維持のための修繕を計画的に実施、検討する必要がある。

5 管理に関する実施方針

屋根の塗装工事を実施する。  
 目標使用年数までは必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根の塗装工事	10,000	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		10,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	108	108	110	
運用コスト	118	53	142	
修繕コスト	138			暖房機修繕
その他				
(合計)	364	161	252	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	42	41	33	使用料、暖房料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	3,348	3,141	2,928	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢市民体育館	延床面積	1,147 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字高屋 59	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980 年 (34 年)
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	※避難所指定※耐震化未実施	構造・階数	鉄骨造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	老朽化し耐震未実施だが、利用度・稼働率・効率性は良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  経年劣化が著しく、特に屋根・上下水道設備の劣化が顕著であるが、地域住民の利用頻度が高く、田沢地区のスポーツ活動の中心となっている。                  今後も修繕・改修を実施し、維持管理に努めていく。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

築 40 年で耐用年数（34 年）を経過しているが、今後は機能維持のための改修・修繕を適正に行い、長寿命化を図っていく。
--

4 管理上の課題等

経年劣化の激しい外装、屋根、上下水道設備などは、定期的に修繕が必要な状況となっているため、 <u>大規模改修を検討する。</u>
--

5 管理に関する実施方針

目標使用年数まで必要最低限の修繕等を実施し適正な維持管理を図る。
----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	玄関ドアフロアヒンジ交換修理	98	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		98	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	44	138	143	
運用コスト	1,422	1,420	1,295	
修繕コスト	121	1,375	136	電球、屋根、消火ホース等
その他	9	9	27	消火器購入代
(合計)	1,596	2,942	1,601	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	30	33	0	自販機設置料等

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	3,128	2,715	2,458	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	神代武道館	延床面積	456 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖神代字野中清水 283-2	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 1982 年 (34 年)
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	鉄骨造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	老朽化し耐震未実施だが、利用度・稼働率・効率性は良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  経年劣化が著しく、特に屋根・浄化槽の劣化が顕著であるが、スポーツ少年団や地元中学校の部活動により、積極的に活用されている。                  今後も機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

築 38 年で耐用年数（34 年）を経過しているが、今後は機能維持のための改修・修繕を適正に行っていく。
--

4 管理上の課題等

経年劣化の著しい屋根と浄化槽については、定期的に修繕が必要である。
-----------------------------------

5 管理に関する実施方針

今後も適正な維持管理を継続する。
------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	屋根修繕	357	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		357	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	69	74	75	
運用コスト	192	250	225	
修繕コスト		22	131	照明、浄化槽等
その他				
(合計)	261	346	431	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	3	1	電話使用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	4,044	3,868	2,770	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	神代市民体育館	延床面積	1,232 ㎡
所在地	田沢湖神代字野中清水 259	建設年（耐用年数）	昭和 49 年 1974 年 (34 年)
複合施設名		経過年数	46 年
特記事項	※避難所指定※耐震未実施	構造・階数	鉄骨造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	老朽化し耐震未実施だが、利用度・稼働率・効率性は良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を継続
<p>「基本的な方針の考え方」                  経年劣化が著しく、地域住民の利用頻度が高く、神代地区のスポーツ活動の中心となっている。                  今後も機能維持のための修繕・改修を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

築 46 年となっており、耐用年数（34 年）を大幅に経過しているが、今後も機能維持のための改修・修繕を適正に行っていく。
---

4 管理上の課題等

経年劣化の激しい外装、屋根、浄化槽などは、ほぼ毎年修繕が必要な状況となっている。また、令和 3 年度には利用者からの要望により、直射日光を避けるための遮光カーテンの設置工事を計上している。
--

5 管理に関する実施方針

今後も適正な維持管理を継続する。
------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	浄化槽用ブロアー交換、屋根等修理	349	
R 3	屋根等修理、遮光カーテン交換修理	1,228	R 3年度予算要求(予定)
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,577	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,059	236	121	
運用コスト	2,565	2,440	2,485	
修繕コスト	208	199	338	浄化槽、屋根等
その他				
(合計)	4,382	2,875	2,917	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	109	102	8	自販機設置料等

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	7,286	7,959	6,866	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	西明寺野球場（袖野球場）	延床面積	10,492 m <sup>2</sup>
所在地	西木町小湊野字向山 52-2	建設年（耐用年数）	昭和 61 年 1986 年 ( 年)
複合施設名		経過年数	34 年
特記事項		構造・階数	

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	施設状態は良好だが、利用者が少ない。
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を継続。
「基本的な方針の考え方」 利用者は年間 40 件程度であるが、今後の利用頻度増加が見込まれる。現在は、500 歳野球や西明寺地区の野球チームが使用している。 今後も機能維持のための修繕・改修を実施しながら存続させる。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

築 34 年で比較的新しいが、施設の劣化は顕著である。また、グラウンドの土状態も劣化し雑草が目立ってきている。今後も機能維持のための改修・修繕を適正に行っていく。
---

## 4 管理上の課題等

平成 30 年度に得点板、ベンチを修理している。破損箇所は無いが、今後も順次劣化箇所について修繕を継続する。
--

## 5 管理に関する実施方針

今後も適正な維持管理を継続する。
------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	141	71	212	
修繕コスト		192	10	得点板修理他
その他				
(合計)	141	263	222	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	4	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	67	120	450	

【個別票】

所管課（部署）	スポーツ推進課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木総合健康増進センター（吉田球場）	延床面積	17,874 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桧木内字吉田 6-6	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 1982 年 ( 年)
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項		構造・階数	

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	老朽化はしていないが、利用者が少ない。
基本的な方針	廃止検討	今後利用者が増加しなかった場合、廃止等に向け検討する。
「基本的な方針の考え方」 使用にあたり大きな問題は無いが、スポ少野球や部活動の統合により、野球での使用はほとんど無く、地域の方々がグラウンドゴルフで利用している。 今後利用者が増加しなかった場合、廃止等の可能性を含めて検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

築 38 年と充分利用可能な施設ではあるが、利用頻度等の状況を考慮し、廃止を含めて検討する。
--

4 管理上の課題等

利用者によるグラウンド整備を原則としているため、利用者の減少により徐々に荒れてきている。
--

5 管理に関する実施方針

利用頻度、利用者数などを検証し、今後も減少傾向が見込まれる場合は廃止の方向で地域との検討を始める。なお、それまでの期間は適正な維持管理を継続する。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	6	10		
修繕コスト				
その他				
(合計)	6	10		

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	スポーツ振興課
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木総合健康増進センター（吉田体育館）	延床面積	1,791 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桧木内字吉田 123	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 1982 年 (34 年)
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項	※避難所指定※耐震化未実施	構造・階数	鉄骨造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	老朽化し耐震未実施だが、利用度・稼働率・効率性は良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を継続
<p>「基本的な方針の考え方」                  経年劣化が著しく、特に屋根の劣化が顕著であるが、地域住民の利用頻度が高く、桧木内地区のスポーツ活動の中心となっている。                  今後も機能維持のための修繕・改修を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

築 39 年で耐用年数（34 年）を経過しているが、今後は機能維持のための改修・修繕を適正に行っていく。
--

4 管理上の課題等

経年劣化の激しい屋根については、定期的な修繕が必要である。
-------------------------------

5 管理に関する実施方針

今後も適正な維持管理を継続する。
------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	接地修繕、照明スイッチ移設工事等	3,678	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		3,678	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,601	1,627	1,561	
運用コスト	1,087	1,155	1,059	
修繕コスト	508	755	1,346	屋根、消防設備等
その他				
(合計)	3,196	3,537	3,966	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	32	30	21	自販機設置料等

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	2,041	2,323	1,427	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保 健 課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	西木林業者等健康増進施設（体育館）	延床面積	586 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町門屋字屋敷田 84	建設年（耐用年数）	昭和 59 年度（22 年）
複合施設名		経過年数	36 年
特記事項	避難所	構造・階数	木造（W）

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	転用	コミュニティセンターへ転用
「基本的な方針の考え方」 仙北市西木保健センターと併設している体育館であり、令和 3 年度よりコミュニティセンター機能へ転用される。令和 2 年度分の管理費等は西木保健センター管理運営費により支払い。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 58 年】

目標使用年数を過ぎているが、体育館としては特に問題なく利用されている。 令和 3 年度にはコミュニティセンター機能へ転用され、体育館内の照明取替えなどを定期的に行い、そのほか施設の維持管理を実施する。
---

## 4 管理上の課題等

令和元年度にトイレの水流不具合を修繕したが、建築年数からも水回りの設備に同様の不具合が発生する可能性も考慮しながら、施設の維持管理を実施する。
---

## 5 管理に関する実施方針

令和 3 年度にはコミュニティセンター機能へ転用され、目標使用年数までは、施設内の設備点検、設備不具合などの修繕を行う。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			教育委員会へ移管
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	業務管理委託料
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	38	43	0	水銀灯交換
その他	0	0	0	
(合計)	38	43	0	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,500	1,500	1,500	

【個別票】

所管課（部署）	上桧木内出張所
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧上桧木内小学校	延床面積	1,717 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字大地田 50	建設年（耐用年数）	S54 1979（47 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	※避難所指定、	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	耐震性の有無、床面積に対する利用者数
基本的な方針	存続	機能維持のため随時修繕を実施

「基本的な方針の考え方」  
 校舎部分は市のイベント等(上桧木内の紙風船上げ含む)の資材保管場所となっている。  
 体育館部分はスポ少や地域住民の運動等で利用している。また、紙風船の制作等にも利用している。  
 この方針に基づき機能維持のため修繕しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

今後 5 年で耐用年数を迎えることになるが、維持機能の修繕を実施しながら 47 年以上の使用を目標として使用する。使用年数（耐用年数）経過後に、その後の存続等について検討する。

4 管理上の課題等

特になし
------

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

## 6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	43	43	43	
運用コスト	773	725	773	
修繕コスト	301	1,392	301	
その他				
(合計)	1,117	2,160	1,117	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	2,160	2,138	2,562	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(その他公共施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
武家屋敷通りポケットパーク公衆トイレ	角館町小人町	存続	機能維持のための修繕等実施
桜並木ポケットパーク公衆トイレ	角館町北野	存続	機能維持のための修繕等実施
清せい館	角館町小人町	存続	機能維持のための修繕等実施
角館総合技術センター	角館町	除却	解体済み(H28 実施)
生保内川癒しの溪流公衆トイレ	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖斎場	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
医師住宅	西木町上荒井	存続	機能維持のための修繕等実施
生田駅共同便所	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
大沢公衆便所	田沢湖潟	存続	機能維持のための修繕等実施
戸瀬地区屋外便所	田沢湖玉川	存続	機能維持のための修繕等実施
ふるさと会館(長者館)	田沢湖田沢	除却	関係機関等の協議実施
秋田内陸線西明寺駅便所	西木町門屋	存続	機能維持のための修繕等実施
秋田内陸線松葉駅便所	西木町桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
秋田内陸線上桧木内駅便所	西木町上桧木内	存続	機能維持のための修繕等実施
羽後太田駅前自転車置場	田沢湖角館東前郷	存続	機能維持のための修繕等実施
プレハブ車庫	西木町桧木内	廃止	機能を移転し廃止する
旧西明寺診療所	西木町門屋	譲渡	民間団体への譲渡検討
西長野プール	角館町西長野	除却	除却(H30 解体済み)
旧角館東小学校プール	角館町外ノ山	除却	除却(H30 解体済み)
上桧木内小学校プール	西木町上桧木内	除却	除却(H30 解体済み)
角館中学校プール	角館町小勝田	除却	除却(H30 解体済み)

### 3. 施設管理に関する基本的な方針

その他の公共施設では、公園に附帯するトイレについては機能を維持し、また秋田内陸線駅に附帯するトイレについても適切な維持管理に努め利用者の向上を図ります。

また、旧西明寺診療所については、民間団体への譲渡について検討を進めます。

玉川地区の「ふるさと会館(長者館)」については、現在は利用しておらず、老朽化が顕著になっていますが、玉川ダム建設時に秋田県がダム移転者の交流施設として、また生活再建を目的に整備し、その後、合併前の田沢湖町に移譲された経緯があり、解体の可能性について協議を進めます。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観 光 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	武家屋敷通りポケットパーク公衆トイレ	延床面積	87 m <sup>2</sup>
所在地	角館町小人町 3 番	建設年（耐用年数）	平成 9 年 1997（15 年）
複合施設名		経過年数	23 年
特記事項	※耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設	
基本的な方針	存続	令和元年度にトイレ洋式化ほか建築工事实施	機能維持
「基本的な方針の考え方」 角館町の観光スポットに位置する、利便性のある公衆トイレとなっている。 令和元年度に大規模改修したことから、今後も継続的に維持管理し快適な利用を促進する。			

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 35 年】

令和元年度にトイレ洋式化及び建築工事を実施したため、今後も継続して維持管理に努める。
--

4 管理上の課題等

多目的トイレのつまりが多々発生しており、職員で対応している。令和元年度の改修にはなかった、汚水の配管の改修や令和 2 年度未実施の屋根改修を検討課題とする。
--

5 管理に関する実施方針

配管及び屋根改修を計画実施し、適正な維持管理に努める。
-----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	434	400	389	
修繕コスト				
その他			22,295	R1 大規模改修
(合計)	434	400	22,684	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	統計なし

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観 光 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	桜並木駐車場ポケットパーク公衆トイレ	延床面積	42 m <sup>2</sup>
所在地	角館町北野 地内	建設年（耐用年数）	平成 16 年 2004（24 年）
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項	※耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好施設
基本的な方針	存続	令和 2 年度内 トイレ洋式化ほか改修予定 機能維持
「基本的な方針の考え方」 桜並木駐車場前に位置する、利便性のある公衆トイレとなっている。 令和 2 年度に大規模改修予定であり、今後も継続的に維持管理し快適な利用を促進する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 24 年】

耐用年数の 24 年とし、以降も継続して維持を図る。
----------------------------

4 管理上の課題等

令和 2 年度の改修で解消される予定
--------------------

5 管理に関する実施方針

改修後も、適正な維持管理に努める。
-------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	トイレ洋式化	1,253	改修工事
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,253	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	434	400	384	
修繕コスト				
その他				
(合計)	434	400	384	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	統計なし

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観 光 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	清せい館	延床面積	21 m <sup>2</sup>
所在地	角館町小人町 3 番	建設年（耐用年数）	平成 7 年 1995（15 年）
複合施設名		経過年数	25 年
特記事項	※耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	令和 3 年度内 トイレ洋式化改修計画中
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 桧木内川堤沿いに位置する、利便性のある公衆トイレとなっている。 継続的に維持管理し快適な利用を促進する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

適切な維持管理に努める。
--------------

4 管理上の課題等

便器の洋式化が進んでいない。
----------------

5 管理に関する実施方針

利用者に適正な維持管理に努める
-----------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	トイレ洋式化	500	実施設計
R 4		1,000	工事監理・工事
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,500	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	434	400	384	
修繕コスト				
その他				
(合計)	434	400	384	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	統計なし

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	商 工 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館総合技能センター	延床面積	619 m <sup>2</sup>
所在地		建設年（耐用年数）	S57 1982（ 年）
複合施設名		経過年数	34 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造り

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード・ソフトとも老朽化が著しい状況
基本的な方針	除却	H28 除却済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 26 度	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
利用料収入	123	141	121	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	建設課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	生保内川癒しの溪流公衆トイレ	延床面積	17 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字下台 84-1	建設年（耐用年数）	H21 2009（15 年）
複合施設名		経過年数	11 年
特記事項		構造・階数	木造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ハード面は良好
基本的な方針	存続	機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」                  近隣地域の憩いの場、砂防の学習施設として活用されていることから今後も機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 21 年】

機能維持のための必要最小限の修繕等を実施しながら、今後 10 年以上の使用を目標とする。
--

4 管理上の課題等

冬期間（11 月下旬～4 月中旬）は閉鎖しているが冬を越すたびにトイレの水回りの修繕費がかかっている。
---

5 管理に関する実施方針

トイレ等故障等利用者の利便性を確保するため適切な維持管理を実施する。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	442	446	411	
修繕コスト			7	
その他				
(合計)	442	446	418	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市民生活課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖斎場	延床面積	175 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 76	建設年（耐用年数）	平成 11 年 1999（24 年）
複合施設名		経過年数	21 年
特記事項		構造・階数	木造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 大曲仙北広域市町村圏組合が運営する斎場とともに、主に市民が利用する斎場であり、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 35 年】

今後 3 年で耐用年数を迎えることになるが、ハード面は概ね良好である。火葬炉関連設備については、消耗部品などの交換や修繕を行いながら、機能維持をはかり、34 年（今後 13 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。
--

4 管理上の課題等

火葬炉関連設備については、火気を使用するため劣化が避けられず、定期的な点検及び修繕が必要。
---

5 管理に関する実施方針

火葬炉関連設備については、火気使用による劣化が避けられないが、大規模な破損・故障となる前に、適切な修繕を行っていく。目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	火葬炉エグゼクターノズル取替・拡散装置内筒天板補修	440	
R 3	耐火台車ベッド交換	600	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,040	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	3,334	3,534	3,544	業務委託、他
修繕コスト	33	74	34	
その他				
(合計)	3,367	3,608	3,578	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	50	100	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	88	108	96	火葬件数

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保 健 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	医師住宅	延床面積	195 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町上荒井字道目木 165-6	建設年（耐用年数）	平成 12 年 2000（22 年）
複合施設名		経過年数	20 年
特記事項		構造・階数	木造（W）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 仙北市西木西明寺診療所 市川先生の住宅である。建築してから 20 年経過しており、修繕等が必要な箇所が発生する可能性があるため、適切な維持管理を徹底する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 22 年】

目標使用年数まで 2 年だが、最近では流し台用水栓、給湯機交換修繕、浴室漏水修繕などを実施しており、今後も機能維持の修繕をしながら目標使用年数を目指す。
--

4 管理上の課題等

特に水回り設備の不具合が目立つため、迅速に修繕を実施する。
-------------------------------

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、住宅内の設備不具合などの修繕を適時・的確に行い、適正な維持管理を図る。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	41	0	562	給湯機交換等
その他	0	0	0	
(合計)	41	0	562	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	2	2	2	市川先生夫妻

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市民生活課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	生田駅共同便所	延床面積	7 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖神代字街道南 72-4	建設年（耐用年数）	昭和 58 年 1983（15 年）
複合施設名		経過年数	37 年
特記事項		構造・階数	木造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 共同便所の機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

<p>すでに耐用年数を超えており、損傷や破損などがあるが、機能維持のための修繕を行いながら 40 年（今後 3 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。</p>
---

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

<p>目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。</p>
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	8	8	8	
修繕コスト	8			
その他	30	30	30	管理謝礼
(合計)	46	38	38	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	観 光 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	大沢公衆トイレ	延床面積	18 ㎡
所在地	田沢湖潟中山 地内	建設年（耐用年数）	平成 7 年 1995（24 年）
複合施設名		経過年数	25 年
特記事項	※耐震診断不要	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討予定
「基本的な方針の考え方」 田沢湖畔に位置する、利便性のある公衆トイレとなっている。 機能維持のため継続的に管理修繕を行っていき存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

耐用年数からさらに 16 年を当面の目標とする。
--------------------------

4 管理上の課題等

何度も修繕したきたがブロワーが不調であり、長年の課題である
-------------------------------

5 管理に関する実施方針

田沢湖畔において重要な役割を担っているため、適切な維持管理に努め、観光客への利便性の確保を図る。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6	修繕	500	
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		500	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	248	298	276	
修繕コスト				
その他				
(合計)	248	298	276	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	統計なし

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	戸瀬地区屋外便所	延床面積	25 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖玉川下欠沢国有林	建設年（耐用年数）	平成 2 年 1990（60 年）
複合施設名		経過年数	29 年
特記事項	ふるさと会館（長者館）に隣接	構造・階数	木造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 ポンプ類の更新等を適宜行い、40 年目を目処に大規模改修を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切な維持管理に努め、できる限り長い年数の使用を目指す。
------------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

戸瀬公園において必要な施設であり、適切な維持管理を継続する。
--------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	ポンプ等修繕	100	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13	大規模修繕	5,000	
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23	ポンプ等修繕	100	
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		5,200	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	317	317	365	浄化槽保守
運用コスト	226	175	173	電気料・保険料
修繕コスト	0	205	5	屋根・漏水等
その他	0	0	0	
(合計)	543	697	543	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	ふるさと会館（長者館）	延床面積	333 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖玉川下欠沢国有林	建設年（耐用年数）	平成 1 年 1989（20 年）
複合施設名		経過年数	30 年
特記事項		構造・階数	木造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面ともに改善の検討を要する施設
基本的な方針	除却	県から移譲された施設であり、玉川移転者の交流施設であるが、老朽化が著しく協議を経て廃止を検討する。
「基本的な方針の考え方」 存続とするが、活用方針が定まっておらず、場合によっては廃止の方向も考慮する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

検討の余地あり。
----------

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 35 年】

休館状態にあるが具体的な施設利用の方針が決まっていないため、今後 5 年間に方向性を示す。
---

## 4 管理上の課題等

現在、使用しておらず供用開始するためには費用を要する。
-----------------------------

## 5 管理に関する実施方針

利用方針等が決まるまで、適切な維持管理に努める。
--------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	95	0	0	
運用コスト	20	20	21	保険料等
修繕コスト	0		495	屋根修繕
その他	0	0	0	
(合計)	115	20	516	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	秋田内陸線西明寺駅便所	延床面積	4 m <sup>2</sup>
所在地	西木町門屋字六本杉地内	建設年（耐用年数）	平成 7 年 1995（24 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項		構造・階数	木造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 駅の付帯施設として存続が妥当。必要となる修繕を行い維持していく。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切な維持管理を行い、60 年の使用を目指す。
-------------------------

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

利用者の利便性を確保する適切な維持管理に努める。
--------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8	大規模修繕	800	
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		800	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	181	169	198	光熱水費・清掃委託
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	181	169	198	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	秋田内陸線松葉駅便所	延床面積	4 m <sup>2</sup>
所在地	西木町桧木内字松葉地内	建設年（耐用年数）	平成 7 年 1995（24 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項		構造・階数	木造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設
基本的な方針	存続	
「基本的な方針の考え方」 駅の付帯施設として存続が妥当。R 元年にインバウンド対策として大規模改修（洋式化）を行った。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切な維持管理を行い、使用年数 60 年を目指す。
---------------------------

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

利用者の利便性を確保するため、適切維持管理に努める。
----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11	ポンプ等修繕	100	
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20	ポンプ等修繕	100	
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		200	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	196	195	200	光熱水費・清掃委託
修繕コスト	0	9	0	
その他	0	0	1,413	洋式化改修工事
(合計)	196	204	1,613	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	秋田内陸線上桧木内駅便所	延床面積	4 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字中泊地内	建設年（耐用年数）	平成 7 年 1995（24 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項		構造・階数	木造平屋建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
「基本的な方針の考え方」 駅の付帯施設として存続が妥当。必要となる修繕を行い維持していく。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切な維持管理を行い、使用年数 60 年を目指す。
---------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

利用者の利便性を確保するため、適切な維持管理に努める。
-----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9	大規模修繕	800	
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		800	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	275	274	285	光熱水費・清掃委託
修繕コスト	36	34	0	水道管等
その他	0	0	0	
(合計)	311	308	285	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管財課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	太田駅前自転車置場	延床面積	20 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖角館東前郷字折橋 87-3	建設年（耐用年数）	昭和 59 年 1984（15 年）
複合施設名		経過年数	36 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能を維持する
<p>「基本的な方針の考え方」                  利用者数（乗降者数）などによる検討は必要であるが、内陸線が運航している以上は利用者の利便性を確保する必要がある。最低限の維持費による機能を維持する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 46 年】

当面の使用年数として 10 年を想定している。
-------------------------

4 管理上の課題等

老朽化しておりある程度の維持費（補修費）は発生するが、特に管理上の問題はない。
---

5 管理に関する実施方針

利用者等の検証を行いながら、適切な維持管理に努める。
----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 20 日

所管課（部署）	桧木内出張所
---------	--------

1 施設の概要・沿革

施設名称	プレハブ車庫	延床面積	17 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町桧木内字松葉 290-2	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 1982（31 年）
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項		構造・階数	鉄筋構造

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	機能移転
「基本的な方針の考え方」 機能を移転し廃止する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

今後 2 年以内に廃止に向けた作業を進める。
------------------------

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

廃止までは維持管理に努める。
----------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	保 健 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧西明寺診療所	延床面積	185 m <sup>2</sup>
所在地	仙北市西木町門屋字屋敷田 87-1	建設年（耐用年数）	平成 1 年 1989（24 年）
複合施設名		経過年数	31 年
特記事項		構造・階数	木造（W・1F）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	譲渡検討	譲渡を検討
「基本的な方針の考え方」 民間への譲渡を検討		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 32 年】

目標使用年数も経過しており、建物の老朽化も激しいため、現在、行政使用財産の許可をしている(株)大応に譲与する予定である。
--

4 管理上の課題等

建物の老朽化が激しく、雨漏りや屋根の錆が目立つ。
--------------------------

5 管理に関する実施方針

建物の老朽化が激しく、市では修繕などは実施せず、(株)大応に譲与する予定である。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	10	10	10	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西長野プール	延床面積	544 m <sup>2</sup>
所在地	角館町西長野字中泊 149-1	建設年（耐用年数）	昭和 54 年 1979（不明）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	平成 30 年除却済み	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	平成 30 年除却済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧角館東小学校プール	延床面積	952 m <sup>2</sup>
所在地	角館町外ノ山 11	建設年（耐用年数）	昭和 54 年 1979（不明）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	平成 30 年除却済み	構造・階数	鉄筋コンクリート造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	平成 30 年除却済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧上桧木内小学校プール	延床面積	678 m <sup>2</sup>
所在地	西木町上桧木内字大森 37	建設年（耐用年数）	昭和 51 年 1976（不明）
複合施設名		経過年数	44 年
特記事項	平成 30 年除却済み	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	平成 30 年除却済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	財政課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館中学校プール	延床面積	978 m <sup>2</sup>
所在地	角館町小勝田倉前 73	建設年（耐用年数）	昭和 46 年 1971（不明）
複合施設名		経過年数	49 年
特記事項	平成 30 年除却済み	構造・階数	コンクリートブロック造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	平成 30 年除却済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(医療系施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
旧市立角館総合病院	角館町上野	除却	除却実施(管理棟除く)
市立田沢湖病院	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
医師住宅(5棟)	角館町下夕野	除却	除却実施
市立角館総合病院	角館町岩瀬	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

旧市立角館総合病院は、新病院開院に伴い解体の準備を進めています。市立田沢湖病院は、平成15年新築開院で経過年数は18年になっていますが、現在のところ大規模改修は見込まれず、引き続き、安心安全な医療サービスを提供するため、適切な維持管理に努めます。

市立角館総合病院が所管する医師住宅(5棟)については、現在入居者もおらず、また老朽化が進んでいるため、早い段階での解体を行います。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧市立角館総合病院	延床面積	10,980.71 m <sup>2</sup> （管理棟除く）
所在地	角館町上野 18	建設年（耐用年数）	S44（47 年）
複合施設名		経過年数	48 年
特記事項		構造・階数	RC・5F

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	
基本的な方針	廃止	管理棟部分を残し除却する
「基本的な方針の考え方」 新病院開院に伴い除却するが、管理棟部分については、「(仮称) 公文書センター」として整備する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

敷地については、「(仮称) 公文書センター」利用敷地以外については、プロポーザル方式による公売を検討している。
---

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

アスベストの存在が確認されており、出来るだけ早い除却が求められている。
-------------------------------------

5 管理に関する実施方針

除却工事まで安全確保を図る。
----------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			R1 実施設計
R 3		20,000	解体設計変更、土壌汚染調査
R 4		460,000	解体工事開始(監理業務含む)
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		480,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市立田沢湖病院
---------	---------

1 施設の概要・沿革

施設名称	市立田沢湖病院	延床面積	5,145.44 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字浮世坂 17 - 1	建設年（耐用年数）	平成 15 年 2003（39 年）
複合施設名	田沢湖健康増進センター 他	経過年数	18 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討

「基本的な方針の考え方」

二次医療圏唯一の障がい者施設等一般病床で運営し、慢性期医療を担っている。また、在宅医療をはじめ、地域医療の充実に重要な役割を担う医療施設となっている。地域医療構想及び仙北市地域医療計画の方針に基づき機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

機能維持のための修繕を実施しながら 50 年を使用目標とする。なお、耐用年数経過後は併設する田沢湖健康増進センター及び田沢湖歯科診療所の施設の評価を併せてその後の存続等について検討する。

4 管理上の課題等

- ・空調設備、消防設備及び通信設備等が老朽化し、高額な修繕が必要となっている
- ・部品供給が終了した設備については修繕対応ができなく、更新が必要となっている。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは必要最低限の修繕や更新を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	空調設備改修	5,390	実施予定
R 3			
R 4	電話交換設備更新	19,800	実施検討
R 5	火災報知器受信機更新	8,622	実施検討
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		28,422	※R2 分除く

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	7,304	7,441	6,938	
運用コスト	912,612	881,900	873,655	
修繕コスト	4,135	4,003	8,920	
その他				
(合計)	924,052	893,345	889,513	決算数値 (税抜)

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	888,568	893,588	912,537	決算数値 (税抜)

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	48,629	47,318	48,223	入院外来延患者数

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市立角館総合病院
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	医師住宅（市立角館総合病院）	延床面積(5棟)	545.1 m <sup>2</sup>
所在地	角館町西下夕野 27	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980（20 年）
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除却予定（3 年以内を目標）
「基本的な方針の考え方」 老朽化が著しいこと、また今後この住宅を利用する予定も無いことから、防犯及び管理等を考慮すると、建物を除却処分することが望ましい。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

現在遊休地となっていることから、土地の処分（売却）が望ましい。
---------------------------------

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 3 年】

当該敷地内の一部に私有地登記があり、関連諸課題を解決する期間を 3 年程度見込み、その後解体する。
---

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

既存建物について、除却までの期間、適切な管理を行う。
----------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	19	9	0	漏水修理
その他	0	0	0	
(合計)	19	9	0	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	84	84	84	家賃として/1件

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	市立角館総合病院
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	市立角館総合病院	延床面積	16,034 m <sup>2</sup>
所在地	角館町岩瀬	建設年（耐用年数）	H29（39年）
複合施設名		経過年数	4年
特記事項		構造・階数	RC3階建て

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I型	ハード面・ソフト面とも良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 平成29年3月新築し、仙北市の中核病院として地域医療を担っている。適切な維持補修を行い引き続き、この役割を担う。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

適切な管理を行い目標使用年数まで維持する。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

適切な維持管理に努める。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	4,176,257	4,784,181	4,015,091	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	3,770,185	3,724,013	3,828,946	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	178,337	163,498	161,352	